第8次笠岡市総合計画
実施計画兼施策評価シート

実施計画：令和8～11年度

施策評価：令和7年度実績

令和8年9月

目　次（施策）

暮らしを支える

地域内経済循環の向上により，市民ひとりひとりが豊かさを実感できるまちへ

企業誘致の推進・・１
地場産業の育成と事業承継・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
地域の資源を活用した観光振興・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
だれもが働ける雇用の創出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

すべての人々が，住み慣れた地域で，共に支え，助け合いながら，その人らしく暮らし続けられる社会へ

健康づくりの推進・・２３
医療体制の整備・・・２９
高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
市民に寄り添う支援・・・４１

まちを整える

市民の暮らしや産業の発展に不可欠な道路・治水・港湾・上下水道などの社会基盤を持続可能な形で整備

安全で健全な上下水道の管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
魅力的なまちづくりと定住促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
道路・河川・港湾・漁港の適切な維持管理及び整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
市民の移動手段の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５

市の豊かな自然環境を守り，市民が安全・安心かつ快適に暮らすことができる地域社会を構築

快適な生活環境を守る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７１
安全・安心な暮らしと災害に強いまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７
地域コミュニティの充実と広域連携の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８３

こどもを守り人を育む

こどもが健やかに育ち，子育て家庭が安心してこどもを産み育てられる環境を整備

すべてのこどもの成長を支える環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９１
安心して子育てをするための家庭支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９７
子育てを地域で見守り支えあうまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０３

笠岡で学び「たい」，笠岡で学んでよかったと思える教育の推進と環境の整備

自立と共生を目指した「たい」のあふれる学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０９
文化・芸術の振興と探究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１５
生涯学習環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２１
多様な生き方の尊重と理解促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２７
楽しさや喜びにつながるスポーツの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３５

（行政経営）

３つの基本理念に関わる横断的な施策

安定した財政基盤の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４１
ＤＸを活用した市民サービスの向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４７
公共施設の適正な管理集約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５３
行政改革と人材育成の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５７

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-(1)-①企業誘致の推進 ◎総合戦略
目指すまちの姿	企業を呼び込み多様なしごとが生まれ育つ豊かなまち

主担当課
商工観光課

主な施策
①新たな用地整備に向けた土地利用検討チームによる検討 ②交通結節拠点を中心に新規用地確保するための農用地区域除外や土地利用規制変更の措置を支援 ③企業誘致や事業用地の造成を促進する支援 ④ハローワーク等と連携した地元求職者とのマッチング支援 ⑤産業立地に係るアンケート調査等を基にした企業訪問 ⑥近隣自治体と連携し，未事業化区間の整備を国に要望

関係課
建設管理課
建設事業課

ＫＧＩ◎ 新設法人数 **（法人/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	47	50	53	56	60
実績	44	38				
達成率	－	80.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☐順調☑遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　１億円以上の設備投資企業数(課税年度) **（企業/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	23	24	25	26	27
実績	22	31				
達成率	－	134.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ◎ 3,000㎡以上の事業用地造成件数(R6年からの累計) **（件）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	0	1	2	2	2
実績	0	0				
達成率	－	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	130,000	164,193	290,306	282,570	232,570	969,639
	実績	130,000	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	130,000	164,193	250,306	257,570	182,570	854,639
	実績	130,000	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　土地調整事業【該当施策No①②⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
・土地利用の検討		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・土地利用調整		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

企業ニーズに応じた民間活力によるオーダーメイド方式での事業用地の造成を，官民連携のもとで進めます。

2　企業誘致促進事業【該当施策No③⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	130,000	164,193	290,306	282,570	232,570
	実績	130,000				
うち一般財源	計画	130,000	164,193	250,306	257,570	182,570
	実績	130,000				
・企業立地促進奨励金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・事業用地造成促進奨励金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・改良土の無償提供		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・企業訪問		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

企業の進出と事業活動の活性化を促進するため，企業立地奨励金や事業用地造成奨励金の交付，事業用地造成に必要な改良土の無償提供，そして企業誘致に向けた訪問を行います。

3　企業・雇用情報提供事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
・企業・雇用情報提供		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市内企業の企業情報や雇用募集情報を提供することで，人材確保を支援します。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

これまで，民間事業者や経済団体を対象とした「サウンディング型市場調査」で得られた進出意欲を踏まえ，市長による企業訪問を通じて，本市の企業立地促進奨励金や立地環境の優位性等について情報提供してきました。また，令和6年度から8年度にかけては交通結節拠点エリアの事業用地化に向けた土地利用調整や，各種奨励金の見直し等を進めてきた結果，この度，外食大手企業の新規食品製造工場の建設が決定しました。

指標の実績：

「新設法人数」の推移は減少傾向を示したものの，一方で「1億円以上の設備投資企業数」は，令和６年の22件から令和７年には31件へと増加しました。さらに，「3,000㎡以上の事業用地造成件数」については，令和8年度と9年度にそれぞれ1件が予定されており，令和11年度の目標値である「2件」は達成される見込みです。

自己評価理由：

「新設法人数」の推移は減少傾向を示したものの，「1億円以上の設備投資企業数」は増加しており，これは企業の投資意欲の向上を示すとともに，個別企業の成長戦略や事業拡大への積極的な動きが市内経済に波及していると捉えています。これらの大規模投資の増加を鑑みますと，本市における経済環境は全体として堅調に推移していると考えており，上記の新規食品製造工場の建設決定も含めると「順調」であると評価しています。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

KPIである「新設法人数」は，令和４年度47法人，令和５年度41法人，令和６年度44法人，令和７年度38法人と推移しており，近年，軟調な傾向にあることを課題として認識しています。

対応：

「新設法人数」については，企業立地促進奨励金や新規創業事業費補助金の活用，そして，既存支援拠点の「かさおか創業サポートセンター」「岡山県よろず支援拠点」に加え，令和８年度から開始した「笠岡市中小企業伴走支援補助事業※」の活用を進めることで，目標達成を目指します。

※小規模事業者が経営課題を早期に解決することで，生産性向上や持続的成長を実現し，最終的には，市全体の地域経済の活性化に大きく貢献していくことを目指します。

・笠岡商工会議所内に事業事務局となる「伴走支援連携チーム」を設置

・事業者の潜在的課題を掘り起こす「プッシュ型支援」

・専門家派遣等によるきめ細やかな「伴走支援」を一体的に実施

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
企業誘致・設備投資： 1億円以上の設備投資企業や新規創業企業の増加は評価。公的産業用地完売を受け，財政事情はあるが新たな適地確保を要望。商業施設の誘致も期待。	「事業用地造成促進奨励金」や「改良土の無償提供」等を通じて，民間活力による適地確保に努めます。また，「商業施設」につきましては，老朽化に伴い閉鎖した笠岡市中心部のショッピングセンターに，新たな大型スーパーが出店予定です。
市民満足度： 「企業誘致・雇用の創出」の満足度低下要因の把握と，次年度の新たな取組を求める。誘致の進捗経過も評価に反映を提案。	知名度のある外食大手企業の新規食品製造工場の建設が決定したことで市民満足度の改善が見込まれることに加え，新たな取組として令和８年度からは大規模投資向けの奨励金を増額した「企業立地促進奨励金」や「事業用地造成促進奨励金」を，併せて今年度からは「改良土の無償提供」をそれぞれ開始しました。誘致の進捗経過につきましては，相手企業との調整を要しますが，可能な範囲で評価シートに反映してまいります。
U・Iターン促進： 若者向けに企業・子育て情報を発信し地方創生へ。笠岡市のU・Iターン率の他市町比較を確認したい。	市内高校への出張企業ガイダンス等による職業選択支援や，子育て応援情報リーフレット作成を通じたホームページ等による情報提供を実施しています。なお，U・Iターン率のデータは不明ですが，企業誘致による雇用創出を通じて地方創生を推進してまいります。
土地利用： 庁内チームの取組に期待。	整備が進む（仮称）篠坂スマートインターチェンジ等の広域交通結節拠点の周辺には，まとまった大規模用地を確保しやすい環境にあります。こうした土地を中心に，土地利用検討チームによる検討を引き続き進めます。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調　○	順調	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント

・新設法人数の実績は減少していますが，他は順調です。
・新設法人数は目標に達していないですが，1億円以上の設備投資企業数が増加していることは市内の経済に波及していることから順調と考えます。
・篠坂地区に大手食品製造工場ゼンショーＨＤが建設予定とのこと。新たな雇用の創出，市内の農業振興への寄与が期待されます。
・サウンディング型市場調査を生かした効率的な企業訪問，必要とする企業への情報提供が成果に繋がり市民にとっても嬉しい成果をもたらしてくれました。交通結節拠点エリアへの新規食品製造工場の建設のために奨励金の見直し等もされてきたとのことで，事業への取り組みをしっかりされていることを理解しました。
マルナカ跡にスーパー出店もあり島民も安心しています。
「笠岡市中小企業伴走支援補助事業」にも期待しています。引き続き笠岡市の経済の更なる活性化をお願いします。
・篠坂スマートIC付近の企業誘致，おめでとうございます。今まで尽力された結果と思います。順調とは思いますが，ここで歩みを止めず，引き続き篠坂スマートIC付近，茂平周辺，倉敷福山道路の笠岡東IC付近の土地活用を推し進めて頂きたい。働く場所が無ければ，どんなに教育環境を整えても，子は都会の大学・職場へ行き，笠岡市へは戻りません。近年浅口市では耕作放棄地に大きな工場がいくつも建設されている。笠岡市でも，用途地域の変更など市としてできる最大限の努力を行って頂きたい。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-(1)-②	地場産業の育成と事業承継	◎総合戦略
目指すまちの姿	域内産業が発展するまち		

主担当課
商工観光課

関係課
農政水産課

主な施策

①笠岡商工会議所，岡山県産業振興財団等と協力・連携した事業推進
②企業（産業支援）コーディネーターによる事業者支援
③市ホームページ等を活用した地元中小企業の情報発信
④創業支援・空き店舗等活用による支援
⑤産業支援に係る補助金による支援
⑥先端設備導入に係る支援
⑦事業承継のための支援
⑧小規模農業者の生産性向上と持続的発展促進によるものづくり支援
⑨担い手となる農業者の育成・確保
⑩耕作放棄地発生防止のための農地の保全及び農業用施設の維持管理などの地域共同活動の支援
⑪アマモ場再生や種苗放流，プラごみ回収，笠岡地区海洋牧場の運営支援等の漁業振興

ＫＧＩ　総人口1人当たりの市民所得　（千円/年）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	3,090	3,120	3,160	3,220	3,290
実績	3,039	2,948				
達成率	－	95.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　市内農業産出額　（千万円/年）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	1,142	1,165	1,188	1,211	1,234
実績	1,118	1,405				
達成率	－	123.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　設備投資額（中央値）　（千万円/年，法人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000
	－	497	503	509	515	520
実績	21,132	43,678				
	491	504				
達成率	－	198.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	－	101.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　市内漁協漁獲量　（ｔ）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	860	870	880	890	900
実績	842	888				
達成率	－	103.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	149,108	161,115	132,983	164,383	161,083	619,564
	実績	137,339	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	82,671	84,177	82,722	99,122	95,822	361,843
	実績	75,740	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 創業支援【該当施策No①④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
	実績	4,700				
うち一般財源	計画	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
	実績	4,700				
・創業サロン運営		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・創業塾開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡商工会議所との協働により，創業相談ワンストップ窓口・創業塾を一体的に運営し，新規創業を促進する。

2 企業コーディネーター派遣【該当施策No②⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,800	4,974	5,200	5,400	5,600
	実績	5,045				
うち一般財源	計画	4,800	4,974	5,200	5,400	5,600
	実績	5,045				
・企業巡回		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

専門知識を有するコーディネーターを市内事業者に派遣し，経営課題の整理・補助金申請・販路開拓等をサポートする。

3 新規創業・空き店舗等活用支援【該当施策No①④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	4,000				
うち一般財源	計画	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	4,000				
・新規創業補助 ・空き店舗等活用補助		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

創業塾の受講者を対象に，新規創業・空き店舗等活用の経費を補助することで開業を促進する。

4 中小企業設備投資・DX支援【該当施策No⑤⑥⑦⑧】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,600	8,631	10,000	10,000	10,000
	実績	1,420				
うち一般財源	計画	1,600	4,316	3,334	3,334	3,334
	実績	1,420				
・先端設備計画認定		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・伴走支援委託		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

先端設備導入計画認定（固定資産税課税免除），経営改善支援により，物価高騰・人件費上昇に対応を迫られている市内小規模事業者の生産性向上を促進する。

5 畜産業者支援【該当施策No⑤⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	20,230	10,316			
	実績	20,237				
うち一般財源	計画	0	0			
	実績	0				
・飼料価格高騰対策支援事業補助金		⇨	⇨			

左欄の事業内容

飼料価格高騰の影響を受け収益減している畜産農家に対し，飼料購入費の一部を支援することで，経営の安定化を図る。

6 漁業者支援【該当施策No⑤⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,348	2,388	2,388	2,388	2,388
	実績	2,339				
うち一般財源	計画	2,348	2,388	2,388	2,388	2,388
	実績	2,339				
・漁船安定操業対策事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

漁船保険料の一部を補助し，漁業者の負担軽減と安定的な漁業経営を支援する。

7 担い手育成・農地集積推進事業【該当施策No⑨】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	36,624	51,935	35,511	35,511	35,511
	実績	35,216				
うち一般財源	計画	28,299	31,119	28,686	28,686	28,686
	実績	28,686				
・新規就農者育成総合対策		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・農業委員会関係事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・園芸総合対策事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

・新規就農者に向けた経営発展への支援や経営開始への支援を行う。
・権利の移転及び設定などの農地法に基づく制度の運用，農業経営基盤強化促進法による農用地の有効利用のあっせん等による農業の持続性を確保する。
・地域園芸農業の更なる発展に向けて園芸作物の供給力強化を支援する。

8 農地保全事業【該当施策No⑩】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	34,601	33,894	36,194	37,394	33,894
	実績	32,732				
うち一般財源	計画	10,007	9,632	11,932	13,132	9,632
	実績	9,341				
・多面的機能支払交付金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・中山間地域等直接支払交付事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・農業振興地域整備事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・地域農業再生協議会補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

・農業用水路・ため池・農道等の保全管理を行う地域共同活動組織に対し，交付金を支給。農村環境の維持と地域コミュニティの活性化を図る。
・棚田などの小区画・不整形な農地の維持管理を支援する。
・農業振興地域の整備に関する法律に基づき，農業振興を図るべき地域の整備や保全を行う。
・草刈機等の貸出事業を実施し，耕作放棄地の発生の抑止及び解消を支援する。

9 有害鳥獣被害対策事業【該当施策No⑩】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	34,670	29,270	29,270	29,270	29,270
	実績	27,703				
うち一般財源	計画	22,132	17,782	17,782	17,782	17,782
	実績	17,425				
・侵入防止柵設置補助		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・捕獲奨励金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

イノシシ等による農作物被害を防止するため，侵入防止柵設置補助，捕獲従事者（猟友会）による有害鳥獣捕獲，若手捕獲従事者の育成を実施する。

10 漁場環境保全事業【該当施策No⑪】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,535	9,007	3,720	33,720	33,720
	実績	3,947				
うち一般財源	計画	2,785	3,266	2,700	17,700	17,700
	実績	2,784				
・笠岡地区海洋牧場の運営支援		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・各種稚魚放流費		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・種苗放流費		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・ガラモ場造成事業			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
海ゴミ回収，アマモ場再生，海底耕うんの実施，ヒラメやクルマエビ等各種稚魚の放流，笠岡地区海洋牧場の運営支援，ガラモ場の造成等の事業を実施することで，海洋環境改善及び漁獲量の回復と水産業の持続可能性を確保する。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1.創業支援（事業1）：よろず相談及び創業サロン延べ288件，創業塾受講者23名
2.企業コーディネーター派遣（事業2）：訪問延べ289件，相談対応116件
3.新規創業・空き店舗等活用支援（事業3）：新規創業3件，空き店舗活用1件
4.中小企業設備投資・DX支援（事業4)：先端設備等導入計画認定12件
5 畜産業者支援（事業5）：飼料価格高騰対策支援事業補助金交付 22件
6 漁業者支援（事業6）：漁船安全操業対策事業補助金交付 市内２漁協
7.担い手育成・農地集積推進事業（事業7）：認定農業者３人，認定新規就農者１人（新規認定）
農地利用集積面積40.0ha
8.農地保全事業（事業8）：取組組織（多面13組織，中山間４組織）
対象面積（多面951ha，中山間13.1ha）
9.鳥獣害対策（事業9）：侵入防止柵申請97件，捕獲1,095頭
10.漁業振興（事業10）：アマモ種まき
【播種場所】白石島・神島沖【参加人数】88名【播種量】6.3kg（42万粒）
稚魚放流
【魚種】ガザミ・クルマエビ・オニオコゼ・ヨシエビ・メバル・クロメバル
【尾数】92万尾
海ごみ回収（年２回実施）
【場所】小飛島海岸（１回目）・白石島海岸（２回目）
【参加人数】54名（1回目）・85名（2回目）

指標の実績：
KGI（総人口1人当たりの市民所得）：3,039千円/年→2,948千円/年と微減。現状値をやや下回っているが，他方では雇用における有効求人倍率が微増しているなど，他に経済状況の悪化を示す兆候がないことから，一時的なものであると考えられる。（達成率95.4%）【〇順調】
KPI①（市内農業産出額）：1,118千万円/年→1,405千万円/年と増加（達成率123.0%）【〇順調】
KPI②（設備投資額（中央値））：21,132千円/法人→43,678千円/法人と増加（達成率198.5%）
491法人→504法人と増加（達成率101.4%）【〇順調】
KPI③（市内漁協漁獲量）：842ｔ→888ｔと増加（達成率103.3%）【〇順調】

自己評価理由：
4指標のうち3指標は順調に推移しており，目標を大きく上回って達成している指標もあることから，施策全体としては「〇順調」と判定。

自己評価

達成状況
R7年度
〇順調

課題と次年度への対応（リカバリー）**※「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
農業振興： 市民意識調査の満足度低下を受け改善を要望。第一次産業の重要性は増しており，かさおかブランド創出にも注力を期待。	・市民意識調査における農業振興の満足度低評価につきましては，重く受け止めております。本市の農業は，少子高齢化等による担い手不足，耕作放棄地の増加，農業用施設管理の負担増加，有害鳥獣被害など，複数の課題を抱えており，これらが市民満足度に反映されているものと考えております。本市といたしましては，「担い手となる農業者の育成・確保」，「耕作放棄地等の発生を防ぐため，農地の保全及び農業用施設の維持管理などの地域の共同活動を支援」を施策として掲げ，それらの課題に総合的に取り組んでまいります。 ・現在，かさおかブランド事業は終了しており，新規及び更新の認定もしておりません。
鳥獣被害： 豚熱でイノシシ捕獲頭数は減少傾向だが対策継続を要望。過去3年1,500頭超で高止まりのため，笠岡工業高校の溶接技術を活かした箱わな活用を提案。以前のドローン実証試験の進捗確認も求める。柵の補助金需要増への対応も必要	・有害鳥獣対策につきましては，鳥獣被害対策実施隊，地域住民組織，市が三位一体となり，一頭でも多くのイノシシを捕獲することに努めてまいります。 ・笠岡工業高校の溶接技術を活かした箱わなにつきましては，令和元年度から笠工テクノ工房に依頼し，これまで70基以上もの箱わなを製作いただき，市内全域で活用させていただいております。 ・ドローンを活用した有害鳥獣対策につきましては，現在のところ実用段階には至っておりませんので，引き続き研究・検討を進め活用ができるようになりましたらご報告させていただきます。 ・防護柵の補助制度につきましては，引き続き継続し，防護柵設置の促進に努めてまいります。
耕作放棄地： 増加の一途で早急な対策が必要。農地転用の可否を確認したい。担い手減少下で農業用施設維持管理費の増加が懸念。	・農地の保全するため，農地の集積・集約を進める方法として農地中間管理機構活用を推進し，農業委員会による農地の状況把握に努めます。また，農地の維持管理を支援するため，草刈り機の貸出事業や多面的機能支払交付金，中山間地域等直接支払制度を活用し農地の維持管理と遊休農地の発生防止を図ってまいります。 ・国は，食料安全保障の観点から優良農地の確保を優先しつつ，無秩序な開発を防ぐために農地転用を規制しています。当市農業委員会でも，農地の保全と有効活用のバランスを取りながら，地域の実情に応じた土地利用を推進してまいります。
かさおかブランド： あり方について再検討を要望。	現在，かさおかブランド事業は終了しており，新規及び更新の認定もしておりません。
事業承継： 経営革新計画策定企業からの選定を提案。	企業コーディネータの巡回等の機会を捉えて，事業承継に意欲のある事業者とのマッチングを推進します。
商工業振興： 事業者・関係団体の自助努力の意識醸成が必要。	笠岡商工会議所と連携し，積極的に小規模事業者に対する働きかけを行って，経営改善に意欲のある事業者を支援してまいります。
漁獲高の動向： 海面漁業は稚魚放流やアマモ場保全の効果でR5より回復し評価。一方，養殖漁業は引き続き低調で支援強化を要望。漁獲量低下を踏まえた市のサポート内容の精査と，各種団体との協働継続が必要。	令和7年度については，養殖漁業の漁獲量が回復の兆しを見せており，海面漁業・養殖漁業の漁獲量が共に維持できるよう，関係機関とも引き続き連携を図りながら支援に努めてまいります。

アマモ場再生：関わったこどもたちにも良い成果。SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」と絡め，市のこどもたちへ現状をより周知してほしい。おかやまコープ等との協働継続にも期待	稚魚放流やアマモ場の再生活動等に参加されたこどもたちには，活動を通じて，海の現状についてもお伝えしているところです。引き続き，おかやまコープ等の「美しく豊かな海づくりに関する協定」関係者と連携して，海洋環境保全活動に取り組むとともに，積極的に周知を図ってまいります。
漁業体験： 市の事業は終了したが，NPOや地元の尽力で継続されており感謝。市としての寄り添いを継続要望。	情報発信や関係者との調整などの支援を継続いたします。
養殖漁業： 地球温暖化による海水温上昇で海面漁獲量が減少傾向のため，養殖漁業を拡大する施策を期待。	水産資源は海水温上昇等の様々な要因によって減少傾向にあると考えられます。県水産課や水産研究所などの専門機関と連携しながら，環境に適した支援策の検討に努めてまいります。
資源管理： 「魚が捕れない」との声があり，引き続き資源管理への取組を要望。	「美しく豊かな海づくりに関する協定」の関係者によるアマモ場の再生活動や稚魚の放流活動などを通じて，海の環境改善や水産資源の保護に取り組んでまいります。
寺間遊水池： CODが徐々に上昇。専門的知識の導入による改善を期待。	引き続き，寺間遊水池を含めた笠岡湾干拓地の水質調査を行い，水質の改善に努めてまいります。令和８年度については，岡山大学との共同事業によって水質汚濁原因の調査を行うなど，専門的見地からの分析も進めていくこととしております。
農道離着陸場： R5策定の活性化ビジョンの第8次総合計画での位置づけを確認したい。	活性化ビジョンについては，令和７年度を以って推進期間が終了し，現在結果のとりまとめを行っております。現時点では，県の所有施設であるため，総合計画には位置付けておりません。
笠岡湾干拓地： 県内有数の農畜産物生産地として評価。トレードオフである臭気・水質問題への継続的取組を要望。	令和７年３月に完成した臭気対策ロードマップを基に対策を進めるとともに，水質についても引き続き調査・研究を行ってまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・総人口１人辺りの市民所得は微減だが，他の３指標は目標を大きく上回っていますので，順調です。
・全てのKPIで目標達成しており順調としました。
新規創業，空き店舗の活用は重要なことと思いますが，公金投入の効果をしっかりと見極め，市にとってもプラスとなる企業に成長していただけるよう開業後もサポートをお願いしたいと思います。
農業委員の活躍が関係しない市民には見えにくいので，耕作放棄地・有害鳥獣被害対策などと絡めて広報されてはいかがでしょうか。
産業も大切ですが同時に環境も心配。寺間遊水池のCODなど専門的調査の報告など見える化してほしいです。事業承継については今後も続く笠岡市の課題だと思います。引き続きよろしくお願いいたします。
・順調。引き続き，新規創業・空き店舗等活用支援を推し進めて頂きたい。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-(1)-③	**地域の資源を活用した観光振興**	**◎総合戦略**
目指すまちの姿	地域がまちを知り，地域へ訪れる人の創出につながるまち		

主担当課
商工観光課

関係課

主な施策

①民間事業者や地域が主体となり，観光を通じて住民の暮らしと地域経済を豊かにする持続可能なまちづくりを推進
②日本遺産を通じた観光・交流促進事業を推進
③笠岡市観光協会の自走に向けた運営等支援
④官民連携による，本市の「歴史資源」「文化資源」「自然資源」「産業資源」をいかした，観光資源開発・調査・商品開発の推進
⑤近隣市町と積極的な連携を図り，緊密な協力体制を構築
⑥笠岡市観光協会等との連携による，本市最大の観光スポットである道の駅笠岡ベイファームを拠点とした，市内周遊を促すツアー造成や映画ロケ地を観光資源として活用する「ロケツーリズム」を推進
⑦景観作物の栽培管理を適切に実行
⑧道の駅笠岡ベイファームのリニューアルを推進

ＫＧＩ◎ 市内観光客数（1～12月） **（千人/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200
実績	969	973				
達成率	－	97.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　道の駅来場者数（1～12月） **（千人/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	740	780	820	860	900
実績	698	696				
達成率	－	94.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　市内宿泊者数（1～12月） **（千人/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	25.5	26.0	26.5	27.0	28
実績	25	23.3				
達成率	－	91.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　道の駅平均客単価（1～12月） **（円/年）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	680	760	840	920	1000
実績	636	659				
達成率	－	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	54,013	103,933	120,708	67,708	57,708	350,057
	実績	53,383	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	44,353	59,918	114,558	61,558	57,708	293,742
	実績	37,071	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 観光振興事業【該当施策No①③④⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	32,995	46,620	46,620	46,620	36,620
	実績	32,995				
うち一般財源	計画	32,995	40,120	41,120	41,120	36,620
	実績	32,995				
・運営補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・専門家派遣			⇨	⇨	⇨	

左欄の事業内容

観光協会へ登用する民間人材の専門的ノウハウを活用し，民間事業者等との連携により，体験プログラムや観光商品の開発，情報発信を強化する。

また，道の駅笠岡ベイファームを拠点とした周遊観光を推進し，観光客誘致と地域経済の活性化を図る。

2 日本遺産推進事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,520	4,590	4,590	4,590	4,590
	実績	3,890				
うち一般財源	計画	2,260	0	3,940	3,940	4,590
	実績	1,630				
・構成市町連携		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・情報発信		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・遊歩道等整備		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

日本遺産を核とした観光・交流を促進するため，構成市町と連携した広報活動を展開し，関連施設・遊歩道の整備等を進め，国内外からの誘客と地域の魅力向上を図る。

3 広域連携事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698
	実績	1,698				
うち一般財源	計画	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698
	実績	1,698				
・構成市町等連携負担金及び会費		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

近隣自治体や広域的な団体等と連携し，地域の魅力を一体的に発信する事業に取り組み，広域での観光客誘致と地域間の交流促進を図る。

4 景観作物管理事業【該当施策No⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800
	実績	14,800				
うち一般財源	計画	7,400	0	14,800	14,800	14,800
	実績	748				
・景観作物管理		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

道の駅周辺に広がる景観作物（菜の花，ポピー，ひまわり，コスモス等）の適切な栽培管理を行い，年間を通じて美しい景観を維持・創出し，道の駅を訪れる観光客への魅力向上を図る。

5 道の駅リニューアル事業【該当施策No⑧】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	36,225	53,000	－	－
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	18,100	53,000	－	－
	実績	0				
・基本計画策定			⇨			
・ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞﾘｰ業務				⇨	⇨	
・基本設計					⇨	⇨

左欄の事業内容

道の駅笠岡ベイファームの魅力をさらに向上させるため，施設の改修や増築，機能を拡充する。休憩・情報発信・地域連携機能の強化を図り，地域のハブとなるような拠点を目指す。

6 観光施設整備事業【該当施策No⑨】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	10,872	9,561	10,000	10,000	10,000
	実績	8,073				
うち一般財源	計画	3,683	3,862	5,000	5,000	5,000
	実績	3,603				
・観光施設整備		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・観光施設管理		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・案内看板設置		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
誰もが快適に利用できるよう，観光施設の適正な管理や改修，遊歩道の修繕等を推進し，観光客の利便性向上を図る。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

第8次笠岡市総合計画に基づき，「地域の資源を活用した観光振興」を施策として掲げ，令和7年度は計画に沿って各事業・取組を推進した。

具体的には，笠岡市観光協会や民間事業者との連携による体験プログラム・観光商品の開発や情報発信，日本遺産を核とした構成市町との連携による広報活動の展開，近隣自治体との広域連携による一体的な周遊促進事業の展開，道の駅周辺の景観作物（菜の花・ポピー・ひまわり・コスモス等）の適切な栽培管理，観光施設の適正な管理・改修や案内看板の整備等を実施した。これらにより，観光客誘致と地域の魅力向上に向けた取り組みを進めることができた。

指標の実績：

KGI：市内観光客数（1～12月）

現状（R6）：969千人/年

目標（R7）：1,000千人/年

実績（R7）：973千人/年

KPI：道の駅来場者数（1～12月）

現状（R6）：698千人/年

目標（R7）：740千人/年

実績（R7）：696千人/年

KPI：市内宿泊者数（1～12月）

現状（R6）：25.0千人/年

目標（R7）：25.5千人/年

実績（R7）：23.3千人/年

KPI：道の駅平均客単価（1～12月）

現状（R6）：636円/年

目標（R7）：680円/年

実績（R7）：659円/年

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

自己評価理由：

観光協会・民間事業者との連携，日本遺産を通じた広報活動，広域連携，景観作物の管理，観光施設の整備等，計画に掲げた各事業を着実に実施した。市内観光客数や道の駅平均客単価は前年から増加するなど，着実な進捗が見られる。一部目標値に届かない項目もあるが，令和8年度以降は観光協会へ登用する民間人材の専門的ノウハウを活用し，道の駅を拠点とした周遊観光の推進等に取り組んでいくことで目標達成につなげていきたいと考えており，「順調」と評価した。

課題と次年度への対応（リカバリー）**※「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
観光振興（トリリオンゲーム）： 聖地巡礼の県外客に向け，出演者ゆかりの店・商品PRを市と事業者が連携して展開。笠岡土産の差し入れ等，撮影に配慮したPR手法を提案。	映画の撮影誘致を契機とした観光振興の重要性を本市も認識しております。市としましても，撮影に最大限配慮しつつ，出演者ゆかりの店舗や関連商品の情報発信（パネル展等）等について，市内事業者や観光関係団体と緊密に連携し，今後も実施してまいります。来訪者の皆様に本市の魅力を最大限に感じていただけるよう，効果的な聖地巡礼コンテンツの創出に努めてまいります。
道の駅： 来場者数の増加を期待。R7実施の干拓地バスツアーは良い試み。	バスツアーについては，干拓地の魅力発信を目的とし，新たな試みとして 実施しました。今後も，道の駅を拠点とした地域回遊性を高める企画を検討し，さらなる来場者誘致と笠岡湾干拓地の魅力発信に取り組んでまいります。
観光客数： 総合指標は減少したが，カブトガニ博物館・竹喬美術館の入館者数増加は評価。	カブトガニ博物館や竹喬美術館の入館者数が増加している点は，各施設の魅力向上に向けた取り組みや，効果的な企画が評価されているものと認識しております。今後は，他の観光施設や地域全体の魅力向上につながる施策を検討するとともに，本市全体の観光客数増加に向けた新たな取り組みも検討してまいります。
べいふぁーむ・ドッグラン： 花の種類変更や新企画でリピーター獲得を提案。ドッグランは大会・イベント企画や，市外有料化など利用促進策を要望。	道の駅については，来場者の皆様が年間を通じて長く花畑を楽しめるよう播種時期を工夫した栽培管理や，民間事業者と連携した，新たなイベントを実施してまいります。また，ドッグランにつきましては，利用者ニーズや他事例も参考にしながら，利用促進策を検討してまいります。
道の駅・情報発信： 来場者減が気になる。ぐるっと博廃止後，店舗一覧を作成し道の駅で配布する案を提案。観光協会のイベントは市外向け発信やSNS活用強化を要望。高いイメージの改善，売れ残り防止，市民出展の仕組みづくり，子育て世代への花情報発信（LINE等）を要望。	道の駅の来場者数の減少については，市としても重要な課題と捉えております。ご提案いただきました，市内店舗一覧の道の駅での配布については，「ぐるっと博」廃止後も残ったパンフレットを道の駅で今も継続的に配布させていただいております。 観光協会と連携したイベントの市外向け発信やSNS活用強化については，観光客を誘客するうえで，必要不可欠であるため，連携を強化し，積極的に取り組んでまいります。 また，商品の「高いイメージ」の改善や売れ残り防止策については，現在も施設内の農産物をレストランの食材として活用する等の商品の施設内循環を実施しており，今後もフードロス削減に向けた取り組みを運営事業者と検討してまいります。 市民の皆様が気軽に作品を出展できる仕組みづくりは，地域との連携強化や新たな魅力創出に繋がるものであり，具体的な導入方法を検討いたします。 子育て世代への花情報LINE配信は，ターゲット層への効果的な情報伝達手段として有効であり，市のLINE公式アカウント等の活用を推進し，きめ細やかな情報発信に努めてまいります。
聖地巡礼・連携： 映画撮影を観光増の好機として活用。笠岡諸島関係者との連携も要望。	映画ロケという機会を最大限に活かすため，笠岡諸島の魅力を発信し，観光誘客に繋げるべく，笠岡諸島関係者や民間事業者との連携を今後も継続して実施してまいります。
笠岡諸島： 団体旅行交通費補助は市民が島の魅力を知る重要なツール。財政が厳しくても継続を要望。	団体旅行交通費補助が「市民が島の魅力を知る重要なツール」というご意見を真摯に受け止めながら，今年度，実施予定の船賃無料デーの利用者アンケートの結果等も参考にし，より効果的かつ持続可能な形で来訪を促進させる新たな施策や仕組みを検討してまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調　○	順調	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント

・道の駅来場者数が94.1%，市内宿泊者数が91.4%で「順調」ではなく，「遅延」ではないかと考えます。
・市内観光客数や道の駅来場者数は目標にほぼ達成しています。市内宿泊者数はやや少ないが，ほぼ目標通りで順調と考えます。また，マルナカの跡地にハローズやホテルが出来るようなので，宿泊数も期待できそうです。
・人気のテレビ番組で笠岡市が取り上げられることが多くなっているように感じています。市では難しいかもしれませんが，観光協会でいち早く情報を手に入れて，市のPRや観光振興に有効に役立ててほしいです。
・ロケツーリズムについては全国に向けてSNSなどを今以上に上手く活用し，話題性，ストーリー性などを持たせてあらゆる年齢層に楽しんでもらえる観光に繋げてほしいです。
日本遺産に関してはまだまだ観光資源として生かしきれていない感があります。認定取り消しにならないように更に頑張ってほしい。ミステリーツアーや推理イベントなど体験型のツアーも面白そうだと思います。
観光客の7割が行く道の駅なので，更に平均客単価が上がるよう，分析し売り上げにも繋げてほしいです。R8年夏の民間による昆虫のイベントやプールなどのように賑わえる要素を増やしてほしいです。
8年度観光協会で登用する民間人材に期待しています。
・順調。引き続き，道の駅リニューアル工事に期待しております。レストランの充実と，市内飲食店のPRを行い，市内飲食店にお客様が流れるようにして頂きたい。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-(1)-④	だれもが働ける雇用の創出 ◎総合戦略
目指すまちの姿	働きたい人が，いつでも，だれでも，いつまでも地元で働けるまち	

主担当課
商工観光課

関係課
地域福祉課
子育て支援課

主な施策

①ハローワーク等と連携した就労支援
②出張企業ガイダンスを開催
③笠岡雇用開発協会等を中心とした就職面接会を開催
④本市ホームページを通じた地元中小企業に関する情報を発信
⑤高梁川流域等と連携した企業説明会へ協力
⑥障がい者の就労支援：希望や適性・特性に応じた職業選択ができるよう就労支援を促進
⑦再就職等に関する情報を周知・啓発するとともに，男性の育児参画を推進

ＫＧＩ　笠岡市の年間有効求人倍率(就業地別)　(倍)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	1.32	1.34	1.36	1.38	1.40
実績	1.30	1.31				
達成率	－	99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　高校生出張企業ガイダンス参加企業数(延べ数)　(社)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	45	45	46	46	47
実績	44	46				
達成率	－	102.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　育児休業給付金受給資格確認件数　(件)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	-	200	212	224	236	248
実績	166	183				
達成率	－	91.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	5,000	5,330	5,330	5,330	5,330	21,320
	実績	5,183	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	1,591	1,672	1,672	1,672	1,672	6,688
	実績	1,632	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 地域内就職の促進【該当施策No①②③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	150	150	150	150	150
	実績	150				
うち一般財源	計画	150	150	150	150	150
	実績	150				
・高校生就職ガイダンス開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・企業説明会及びセミナー開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡雇用開発協会及び井笠地域雇用対策推進協議会との協働により，市内高等学校に対する企業説明会及び就職支援セミナーを開催し，高校生の地域内就職を促進する。

2 進路選択の機会提供

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	300	300	300	300	300
	実績	299				
うち一般財源	計画	300	300	300	300	300
	実績	299				
・モノづくり出前教室支援		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡工業高校が市内中学校で行う作業体験を支援することで，中学生が進路を考える機会を提供する。

3 障がい者の就労支援【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,550	4,880	4,880	4,880	4,880
	実績	4,734				
うち一般財源	計画	1,141	1,222	1,222	1,222	1,222
	実績	1,183				
・障がい者就労支援		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

ハローワーク笠岡等と連携し，障がい者の就労相談，ハローワークへの同行，事業所への見学，面接同行などを就職支援を行う。また，事業所を訪問し，障がい者の求人開拓や障がい者が働きやすい環境づくりのための支援を行う。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1.地域内就職の促進（事業1）：就職ガイダンス・いかさ1回　60事業所，高校9校107名参加
企業説明会1回　21事業所，高校4校48名参加
出張企業ガイダンス2回　延べ46事業所，高校2校211名参加
2.進路選択の機会提供（事業2）：ものづくり出前授業4回，中学4校183名参加
3.障がい者の就労支援（事業3）：支援実人数50人，支援延べ件数530件

指標の実績：
KGI（笠岡市の年間有効求人倍率（就業地別））：1.30倍→1.31倍と微増（達成率99.2%）。現状値からは伸長しており【〇順調】
KPI①（高校生出張企業ガイダンス参加企業数（延べ数））：44社→46社と増加（達成率102.2%）【〇順調】
KPI②（育児休業給付金受給資格確認件数）：166件→183件と増加。R7目標200件には未達（達成率91.5%）も，現状値からは伸長しており【〇順調】

自己評価理由：
KPI②（育児休業給付金受給資格確認件数）のR7実績が目標値に届いていないものの，施策全体としては【〇順調】と判定。育児休業の申請数は年々増加傾向にあるため，今後の推移を見守りたい。

自己評価

達成状況 R7年度
〇順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
雇用情勢： 有効求人倍率は前年並み。賃金上昇圧力を踏まえ推移を注視しつつ雇用推進を要望。立地促進奨励金による近隣・笠岡市民の正社員雇用は目的に沿った成果。	市内高校生を対象とした出張企業ガイダンスでは，高校生が仕事に対する理解をより一層深めることができるような運営方法を取り入れながら，引き続き地域内就職を推進します。
（再掲）市民満足度： 「企業誘致・雇用の創出」の満足度低下要因の把握と，次年度の新たな取組を求める。	知名度のある外食大手企業の新規食品製造工場の建設が決定したことで市民満足度の改善が見込まれることに加え，新たな取組として令和８年度からは大規模投資向けの奨励金を増額した「企業立地促進奨励金」や「事業用地造成促進奨励金」を，併せて今年度からは「改良土の無償提供」をそれぞれ開始しました。
雇用率向上： 事業者の障がい者雇用率の上昇は評価。	ハローワーク笠岡等と連携を強化し，引き続き，だれもが働ける雇用の創出に向け，支援に取り組んでまいります。
疑問点： 年3千万円超を要する「勤労者福祉事業」の現代的必要性と効果。	本事業決算額には，勤労者融資資金預託金が２千万円含まれており，サンライフ笠岡管理委託料としては，1,451万円です。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・概ね順調です。 ・育児休業給付金受領資格確認件数は年々増加していますので，目標値には達してないが，この目標値にも疑問があります。 ・子育て中の親，介護中の労働者，地域貢献しながら働く高齢者，様々な状況でも自分らしく働ける環境作りを引き続きお願いしたいです。特に男性の育児参画を推進するためにも，育児休暇の取得などに力を入れてほしい。結婚・子育ての理想の形（頑張りすぎず，自分らしく生きる姿）を若者たちに見せることで笠岡市の婚姻率，出生率にもつながるのではないかと思います。 笠岡市に就職する若者が増えることを願っています。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-⑵-①	健康づくりの推進
目指すまちの姿	地域でのふれあいを大切にいきいきとこころ豊かに暮らせるまち	

主担当課
健康推進課

関係課
子育て支援課

主な施策

①健康づくりに関する指導の実施と正しい知識の普及啓発を推進(食生活，運動・身体活動，飲酒・喫煙，睡眠，口腔，慢性腎臓病)
②健診・各種がん検診の普及と受診勧奨及び受診しやすい体制づくりを推進
③重症化予防のための保健指導を実施
④各種がん検診精密検査対象者への保健指導を実施
⑤介護予防・身体機能の維持に向けた運動の推進
⑥こどもの頃からの規則正しい生活リズムの推進
⑦妊娠・出産・育児に関する保健指導を実施し，切れ目ない相談支援体制づくりを推進

ＫＧＩ◎ 健康寿命と平均寿命の差の縮小 （年）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小
	－	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小	現状より縮小
実績	男性1.3	男性1.4				
	女性2.8	女性2.8				
達成率	－	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!
	－	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!

達成状況　R7年現在
☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ がん検診精密検査受診率（(現状はR5(2023)年データ) （%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	83.8	84.4	84.9	85.5	86.0
実績	83.3	77.2				
達成率	－	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ １日30分以上，週２日以上運動をしている者の割合 （%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	44.2	45.6	46.9	48.3	49.6
実績	42.9	40.9				
達成率	－	92.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
□順調☑遅延 □要修正

ＫＰＩ 朝食を毎日食べる者の割合（中学２年生） （%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	76.8	78.9	81.0	83.1	85.2
実績	74.7	75.6				
達成率	－	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	206,768	222,855	222,435	222,435	222,435	890,160
	実績	206,768	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	157,836	178,416	178,516	178,516	178,516	713,964
	実績	157,836	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 健診事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	196,484	209,809	209,809	209,809	209,809
	実績	196,484				
うち一般財源	計画	154,326	173,386	173,386	173,386	173,386
	実績	154,326				
・特定健診事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・後期高齢者健診事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・がん検診事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・歯科健診事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・受診勧奨事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・予防接種事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人間ドック受診者補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・アピアランスケア助成事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民の健康意識を高め，各種けんしん事業，予防接種事業など生活習慣病や感染症の予防等を進めることで，健康増進を図る。

2 保健指導事業【該当施策No③④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	7,295	7,228	7,228	7,228	7,228
	実績	7,295				
うち一般財源	計画	1,095	390	390	390	390
	実績	1,095				
・糖尿病性腎症等重症化予防事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・健康教育・相談		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・訪問指導		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

電話や面談，家庭訪問など多様な手法を用いて，個人の健康状態や生活状況に応じたきめ細やかな支援を行うことで，生活習慣の見直しや適切な医療受診等につなぎ，健康寿命の延伸を図る。

3 組織育成事業【該当施策No①②⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,943	2,531	2,531	2,531	2,531
	実績	1,943				
うち一般財源	計画	1,943	2,531	2,531	2,531	2,531
	実績	1,943				
・愛育委員協議会		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・栄養改善協議会		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・ヘルスアップ推進		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

地域に密着した健康づくりの担い手の育成と支援を行う。地域住民同士が声をかけあい協力し合うことで，健康づくりを支える環境を整える。

4 健康づくり事業【該当施策No①⑤⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,046	3,287	2,867	2,867	2,867
	実績	1,046				
うち一般財源	計画	472	2,109	2,209	2,209	2,209
	実績	472				
・地域で行う健康増進事業		―	⇨	⇨	⇨	⇨
・健康づくりイベント		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・自殺対策事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

子どもから高齢者までの幅広い世代が，身体的・精神的・社会的健康を包括的に進めることができるよう，正しい知識の普及や指導を実施することで，健康意識の向上に努める。

5 母子健診事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画					
	実績					
うち一般財源	計画					
	実績					
・健康診査の実施						
・保健指導の実施						

左欄の事業内容

3-(1)-②
「安心・安全な妊娠・出産・育児を推進し，こどもが健やかに育つまち」へ記載

6 こども家庭センター事業【該当施策No⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画					
	実績					
うち一般財源	計画					
	実績					
・こども家庭センターの運営						
・妊婦等包括相談支援事業						

左欄の事業内容

3-(1)-②
「安心・安全な妊娠・出産・育児を推進し，こどもが健やかに育つまち」へ記載

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

各種健診の受診率向上のため，愛育委員協議会と連携し特定健診対象者等へ受診券や健診器材の個別配布，ナッジ理論を活用した通知による受診勧奨を行った。ポスター，ホームページ，SNS等複数の媒体で情報発信を行い，予約しやすいよう公式LINEやホームページを整備した。

地区公民館会場や保健センターでの集団健診では，①特定健診・後期高齢者健診と各種がん検診を同日実施する，②平日だけでなく日曜日の健診枠を設ける，③女性限定健診の枠を設ける等，受診しやすい環境づくりに取り組み，受診率向上に寄与した。

生活習慣病重症化予防のため，特定健診受診者のうち生活習慣病リスクが高い対象者に対して訪問，不在の際は電話連絡を行い，生活習慣改善に関する情報提供や指導，医療機関受診勧奨を行った。また各種がん検診精密検査については，対象者全員へ訪問を実施，未受診者に対しては電話や通知による受診勧奨を実施した。

愛育委員協議会，栄養改善協議会，ヘルスアップ推進会と連携し，様々な年代を対象に回覧や講習会，教室等を開催し健康づくりに関する情報提供を行った。

指標の実績：

・保健指導の実施

対象者全員に対して訪問を実施し，対面できた者に対して健康状態および生活状況を踏まえた保健指導を実施した。

糖尿病性腎症重症化予防　対象者 115人　保健指導実施 83人（実施率72.2%）

慢性腎臓病（CKD）予防　対象者 38人　保健指導実施 32人（実施率84.2%）

・各種がん検診精密検査受診率

肺がん検診 90.2%（174人中157人），胃がん検診 91.5%（59人中54人）

大腸がん検診 61.3%（204人中125人），乳がん検診 85.7%（35人中30人）

子宮がん検診 50.0%（6人中3人）

未受診者に対して電話連絡を行った際に未受診理由について把握すると，必要性を感じない，翌年の検診で様子をみたいといった意見が半数を占めていた。

・普及啓発活動

親子料理教室，生活習慣病予防講習会，高齢者料理教室等　208回

体操教室等　1,089回

自己評価理由：

計画どおり実施することができ，概ね目標を達成することができた。一方で普及啓発の対象は高齢者が多い状況にあることから，今後さらに健康づくりの取り組みを推進していくためには，働く世代に対して，より効果的な情報提供や働きかけが必要だと感じた。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）**※「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
指標全般： 健康寿命・平均寿命は判断が難しい指標。笠岡市の数値が全国比でどうか，両者の差が短い人生が望ましい。	令和７年度の国の健康寿命は男性79.7歳，女性84.1歳，平均寿命は男性81.1歳，女性87.2歳です。健康寿命と平均寿命の差を国と比較すると，男性は同程度，女性は短くなっております。今後も健診受診率の向上や生活習慣の改善を通じて，両者の差の縮小に取り組んでまいります。
運動習慣者数の減少： 健康ポイント事業参加者は大幅増の一方，運動習慣者は減少。減少要因の分析を求める。成人の週1回以上スポーツ実施率の全国平均52.5%に比べ笠岡市は低めとみられ，ニュースポーツ普及や暑熱環境への配慮を要望。	健康ポイント事業は多くの方に参加していただき市民の主体的な健康づくりに大きく寄与していたと感じております。本事業は廃止となりましたが，それを補完する新たな健康増進施策を検討していきたいと考えております。また，運動習慣者の減少や全国平均との比較については，真摯に受け止め，関係課と連携しながら今後の施策に反映してまいります。
健康ポイント事業： 財政健全化で廃止されたが，金額を抑えてでも再開を希望。継続有無と，廃止後の代替施策・啓発方法に関心。	健康ポイント事業は廃止となりましたが，それを補完する新たな健康増進施策を検討していきたいと考えております。
達成目標： 指標はほぼ上昇しており，職員の取組を評価。継続を要望。	ご評価いただき，ありがとうございます。引き続き，市民の健康づくりの推進を図ってまいります。
今後の課題： 高齢化進行下で健康づくりの推進は重要。在宅看取り対応の病院・診療所数や社会活動開催箇所数など，関係各所との連携強化を期待。多種多様な感染症への迅速な対応も要望。	高齢化が進行する中，市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境の整備，社会とのつながりづくりは，大変重要であると認識しております。ご指摘の在宅医療を支える体制の充実や多様な社会活動の場の提供については，関係部署・関係機関との連携を一層強化してまいります。 また，感染症への迅速な対応につきましても，近年経験した感染症拡大の教訓を踏まえ，国や県，医療機関等と密に連携を図り，危機管理体制の強化に努めてまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・がん検診精密検査受診率は92.1％は，「遅延」ではないかと考えます。 ・普及啓発活動に働く世代の人が多く，参加できるような工夫が必要と考えます。 ・1日30分以上，週2日以上運動をする人の割合が昨年度よりも下がっていますが，ウォーキングをする人の姿はよく見ます。また，忙しい人には「運動（競技）」というとハードルが高いので，家事・日常生活の中でできるトレーニングなどの「ながら運動」を浸透させてはどうでしょうか。 愛育委員，栄養委員，福祉委員の新たななり手発掘も難しくなっていると聞きます。地域でのサポートとして大変ありがたい存在なので持続可能な形でお願いしたい。 R8年度からの事業費が上がる理由を教えてください。（1.検診事業，3.組織育成事業，4.健康づくり事業） ・自己評価の理由にあるとおり，多忙な働く世代に向けた効果的な情報発信や訴求が必要です。引き続き，取組を進めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-⑵-②	医療体制の整備
目指すまちの姿	住む場所や時間に限らず，だれもが安心して医療を受けることができるまち	

主担当課
健康推進課

関係課
市民病院
警防課

主な施策

①老朽化した市民病院の建替えを再検討し，福山市民病院や地域の医療機関と連携して，地域の医療を守るとともに，市民のための医療機関の役割として，必要な医療の提供を継続

②地域の医療の維持・確保及び医師確保のため，岡山大学大学院医歯薬学総合研究科に寄附講座を継続して開設

③島しょ部での医療確保のために診療所での医療DXの取組を推進

④救急車の適正利用を推進するため，広報・啓発活動を行い，救急車を利用すべきか相談できる#7119の利用促進

⑤地域内の医療機関相互の機能分担及び連携強化，県や近隣自治体との協力体制の構築により，休日・夜間・非常時における救急医療体制，県南西部医療圏全体や県境を越えた医療体制の整備・確保に努める。

⑥平時から自分の健康を守るための意識啓発を行い，非常時への備えを促し，正確な情報の発信・伝達に努める。

ＫＧＩ　地域医療の推進や救急救命活動に関する講演会などの参加者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	230	240	240	240	245
実績	171	435				
達成率	－	189.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　管内医療機関への収容率　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	45.8	46.1	46.4	46.7	47.0
実績	45.6	45.0				
達成率	－	98.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　救急出動件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	4,663	4,673	4,682	4,691	4,700
実績	4,653	4,594				
達成率	－	101.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	97,213	98,489	138,568	164,267	1,001,407	1,402,731
	実績	94,811	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	31,836	37,245	35,416	35,416	35,416	143,493
	実績	30,019	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 病院建設事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,300	3,300	45,208	70,907	908,047
	実績	3,300				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
・経営シミュレーションの検証		⇨				
・経営シミュレーションの実施			⇨			
・新病院建設の基本設計				⇨		
・建設管理業務				⇨	⇨	⇨
・新病院建設の実施設計					⇨	
・新病院建設						⇨

左欄の事業内容

R7：経営シミュレーションの検証
R8：経営シミュレーション
R9：基本設計，CM業務
R10：実施設計，CM業務
R11：設計監理，病院建設，CM業務

2 救急安心センター事業（＃7119）【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,200	1,929	100	100	100
	実績	1,163				
うち一般財源	計画	1,200	1,929	100	100	100
	実績	1,112				
・＃7119		⇨	⇨	（岡山県事業に移行）	⇨	⇨

左欄の事業内容

住民が，けがや体調不良で救急車を呼ぶべきか迷った際に，専門の相談員が無料で電話相談に応じる事業の利用を進めることで，適正な医療や救急車の利用につなげる体制を整備する。

3 医療体制整備事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	6,903	6,740	6,740	6,740	6,740
	実績	6,895				
うち一般財源	計画	6,078	5,976	5,976	5,976	5,976
	実績	6,069				
・在宅当番医制事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・県南西部二次救急医療体制整備事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・井笠圏域二次救急医療体制整備事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

休日・年末年始等の医療体制を確保する。また，広域連携により重症救急患者を受け入れる二次救急医療体制を整備する。

4 島しょ部医療体制整備事業【該当施策No③】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	53,810	54,520	54,520	54,520	54,520
	実績	51,453				
うち一般財源	計画	24,558	29,340	29,340	29,340	29,340
	実績	22,838				
・離島救急患者及び医師輸送補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・へき地診療所運営事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・直営診療所運営事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

開設されている診療所を継続して運営し，地域の医療環境を確保する。診療所への医師派遣を継続するとともに，オンライン診療などを活用し，持続的な医療体制を整備する。

5 地域健康・安心づくり推進事業【該当施策No⑥】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画					
	実績					
うち一般財源	計画					
	実績					
・まちづくり出前講座		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・地域で行う健康増進事業			⇨	⇨	⇨	⇨
・健康づくりイベント		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民が気軽に健康に関する知識を学び，実践に繋げられる機会を提供する。

※地域で行う健康増進事業，健康づくりイベントは「1-(2)-①健康づくりの推進」へ記載。

6 医師確保事業【該当施策No②】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
	実績	32,000				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				
医師確保事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

R7：内科医師2名，産婦人科医師1名派遣

R8：内科医師2名，産婦人科医師1名派遣

R9：内科医師2名，産婦人科医師1名派遣

R10：内科医師2名，産婦人科医師1名派遣

R11：内科医師2名，産婦人科医師1名派遣

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1.将来にわたり持続可能な経営を実現するため，再検討会議を令和8年1月及び3月の計2回開催し，規模縮小と福山市民病院や地域の医療機関と連携などを前提とした適正な病院規模とあり方について検討を進めた。あわせて，福山市民病院や地域の医療機関と連携し，産科セミオープンシステムによる周産期医療の提供や，高次医療機関と連携した急性期治療後の患者の受入れ，在宅医療の推進等に取り組み，地域の医療を守るとともに，市民のための医療機関として必要な医療の提供を継続した。(事業1)
2.安心救急センターの令和７年度相談件数（本市の実績）が408件で，前年度から約68.6％と大幅に増加したことから，＃7119の市民への周知が着実に浸透し，緊急時の行動変化に繋がっている。また，相談件数408件のうち，緊急性が高いと判断され119番への転送やかけなおし，勧めたが辞退されたケースが45件となっており，これは真に緊急性の高い事案は適切に119番へ誘導することで，市民の緊急時の判断をサポートし，結果として重要な医療資源である救急車の適正利用に寄与した。(事業2)
3.地域の医療の維持・確保実現のため，医師確保を行い，産婦人科患者数は増加傾向にあり，令和7年7月に導入した産科セミオープンシステムについても，令和7年度に31件の登録があり，順調に利用されている。(事業3)
広域連携の取り組みにより，重症救急患者が発生した場合でも圏域全体で適切な医療機関への迅速な搬送・受け入れ体制が強化され，市民の安心感向上に寄与した。また，医師会との連携により，休日や年末年始の当番医の確保が図れ，市民の不安解消につながった。(事業3)
4.一部の診療所において，オンライン診療を試行的に開始しており，医師の身体的・時間的負担の軽減に寄与しただけでなく，今後の医療DXの導入と持続的な医療確保に向け前進することができた。(事業4)
5.継続的な出前講座の実施により，市民自身が健康を守るための熱中症対策やフレイル対策など具体的な知識を深め，自主的な健康づくりへの意識の向上に寄与した。(事業5)

指標の実績：

非常時における住民の応急手当能力向上を目的として，年間を通じて66回の普通救命講習を開催し述べ804名が受講した。

認知症予防，熱中症対策，フレイル対策などをテーマとした出前講座を実施し，参加者数は前年度比299％増の410人で，市民の健康に対する知識向上につながった。

自己評価理由：

全ての施策において，当初の予定どおり実施することができた。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
救急医療： 救急出動件数は高止まり，軽症者の割合も減少せず。救急安心センター事業の周知不足を懸念。救マーク認定事業所数の減少理由を確認したい。	救急安心センター事業開始から１年しか経過していないため詳細な分析はできませんが，総相談件数４０８件のうち１１９番転送された事例はわずか１件でした。これは事業を利用した住民のほとんどが適切なアドバイスによって，救急車を要請せずに解決できていることを示しています。救急出動件数を比較すると前年比で５９件減少していました。今後は，管内の浅口市及び里庄町でも救急安心センター事業が開始されるため，来年度の年間相談件数の増加が見込まれ，救急出動件数のさらなる減少に繋がることが期待されます。ご指摘の周知不足につきましては，公式LINEや広報かさおか，公共施設や医療機関や薬局での掲示，地区での回覧などを活用し，普及啓発に努めてまいります。 救マーク認定資格の有効期限（３年）に伴う未更新による失効（自動抹消）の増加や，施設の閉鎖等に起因する登録抹消が主な原因と考えられます。そのため，今後は消防側からの働きかけや更新手続きの見直し等を行い，認定事業所の減少防止に努めます。
救命講習： 受講経験者の割合は増加するも参加者数は減少。参加率向上策を要望。	定期開催の救命講習において，参加希望者が一定数に達しなかった場合，業務効率化を理由に開催を見送っていたことが，受講機会の損失や参加率の低下を招いたと推測されます。そのため，今後は少人数でも講習を実施するほか，参加申込を電子申請へ変更することで，参加率の向上を図ります。
市民病院の経営： 病床稼働率低下，人件費率上昇，医業収支比率は約10ポイント低下し経常収支比率も下落。利用者増加が不可欠で，市民に愛される病院づくりを期待。建替えへの影響も懸念され，新病院建設の進捗の定期的な見える化を要望。	病床稼働率の低下に伴う入院収益の減少に加え，人事院勧告に基づく給与改定等により人件費が増加したことから，医業収支比率及び経常収支比率が低下しました。在宅医療の推進，地域医療機関との連携強化等による患者確保に努めるとともに，高次医療機関との連携により急性期治療後の患者の受入れを行い，住み慣れた地域の身近な病院で療養を継続できる体制の充実を図っています。引き続き持続可能な経営基盤の確立に向けた取組を進め，地域に必要とされる公立病院として，市民に信頼される病院づくりに努めてまいります。また，新病院建設については，経営状況等を踏まえ再検討となりましたが，持続可能な経営の実現に向けた適正な病院規模やあり方の検討状況などをホームページ等を活用して市民の皆様へ定期的に周知し，見える化に努めてまいります。
連携・新制度： 福山市民病院との連携は高評価。R7年7月導入の産科セミオープンシステムの利用状況・利用者の声を確認したい。	令和7年7月に導入した産科セミオープンシステムについては，令和7年度に31件，令和8年度も5月末時点で6件の登録があり，順調に利用されています。利用者は，妊婦健診を身近な市民病院で受けながら，分娩は福山市民病院で安心して行うことができるほか，妊婦健診時には福山市民病院の助産師による支援を受けることができ，出産時にも同じ助産師が立ち会う体制となっていることから安心感のある継続的な周産期医療の提供につながっています。今後も福山市民病院との連携を継続し，地域で安心して出産・子育てができる環境づくりに努めてまいります。

診療サービス： 　医師確保に多額の費用がかかる中，皮膚科など待ち時間が長い診療科のスムーズな運営・サービス向上を要望。	診療科によっては待ち時間が長くなっており，ご不便をおかけしております。医師確保が困難な状況が続く中ではありますが，引き続き医師確保に努めるとともに，予約制の活用など，限られた医療資源の中で効率的な外来運営を行い，患者サービスの向上に取り組んでまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　〇	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・市民病院の経営で，病床稼働率低下，人件費率上昇，医業収支比率は10ポイント低下し，経常収支比率も下落しています。
・救急車の適正利用に向けて，＃７１１９の市民への周知徹底と利用促進をお願いします。広報紙や地区公民館が発行するチラシへの掲載等。
・市民病院の再検討会議が広域な視点で専門的な検討をされたことに安心感を抱いています。
また産科セミオープンシステムにより妊婦の安心感にも繋がっています。
安心救急センターの利用者の年代はどのあたりが多いのでしょうか。自分の人生を顧みると，育児中子どものことで救急車を呼ぶべきか悩んだ経験があるので，出産時，検診時にお知らせを配られては？
また小規模多機能自治を目指すのであれば，非常時の一人暮らしの備えとして「いのちのバトン」を更に推進すべきかと思います。マイナンバーなど時代に合わせたものになっているのでしょうか。
出前講座，普通救命講習など市民に浸透してきており良いと思います。引き続き継続をお願いします。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-⑵-③	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち
目指すまちの姿	すべての人々が住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまち	

主担当課
長寿支援課

主な施策
①高齢者の生活実態や支援ニーズを把握するための調査を実施し，必要に応じて福祉サービスや地域支援につなげる。 ②認知症の人が地域で安心して暮らし続けられるよう，認知症に関する正しい理解の促進とともに，見守り体制や地域支援の強化 ③障がいの理解を深めるための各種研修会や講演会の開催，学校等教育機関における障がいに対する理解を深める講座を実施 ④障害者総合支援法に基づく各種障がい福祉サービス事業を着実に実施するとともに，利用に際し気軽に相談できる体制の強化 ⑤サービスの質を担保するための研修を，近隣自治体とも連携しながら実施

関係課
地域福祉課

ＫＧＩ　要介護認定率　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	22.1	22.5	22.8	23.2	23.6
実績	21.7	22.2				
達成率	－	100.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　75歳以上の実態把握件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	500	500	500	500	500
実績	525	546				
達成率	－	109.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　認知症サポーター延べ養成数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	6,350	6,650	6,950	7,200	7,500
実績	6,103	6,243				
達成率	－	98.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　地域内での支援ネットワークの活用度(笠岡市・里庄町相談支援センターの相談受付件数)　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	220	233	246	259	272
実績	207	176				
達成率	－	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☐順調 ☑遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　理解を深める研修等への参加者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	142	145	148	150	153
実績	139	180				
達成率	－	126.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　事業所への運営指導件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	2	4	6	8	9
実績	1	0				
達成率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☐順調☐遅延☑要修正

ＫＰＩ　公共施設の新規バリアフリー化件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	2	2	3	3	5
実績	3	1				
達成率	－	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☐順調☐遅延 ☑要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	1,829,580	1,986,650	1,992,464	1,997,946	2,003,870	7,980,930
	実績	1,965,897	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	483,303	543,082	545,283	547,330	549,546	2,185,241
	実績	534,986	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　介護予防高齢者把握事業【該当施策No１】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	9,460	10,050	10,653	11,292	11,969
	実績	8,713				
うち一般財源	計画	9,460				
	実績	8,713				
介護予防高齢者実態把握事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

いきいき百歳体操の不参加者，独居救急搬送者や要支援で介護保険サービス未利用者などの後期高齢者を対象として，訪問し生活実態を把握する。

2　包括的支援事業【該当施策No１】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	92,106	99,742	104,542	109,342	114,142
	実績	74,110				
うち一般財源	計画	17,730	42,141	44,169	46,197	48,225
	実績	12,763				
包括支援的支援事業委託料		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

高齢者を対象にワンストップの総合相談窓口としての役割を担い，関係機関との連携して，複雑化・複合化した課題に対応しています。その中で必要に応じて，高齢者の生活状態等の実態を把握する。

3　認知症サポーター養成事業【該当施策No２】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,154	5,138	5,549	5,592	6,039
	実績	4,776				
うち一般財源	計画	2,178	2,171	2,344	2,363	2,551
	実績	2,018				
認知症地域支援・ケア向上事業費		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

認知症の人やその家族を応援する地域の理解者である認知症サポーターを養成し，地域の支援体制を強化する。

4　障がい福祉制度事務【該当施策No3】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	61,730	62,900	62,900	62,900	62,900
	実績	64,932				
うち一般財源	計画	35,480	41,150	41,150	41,150	41,150
	実績	44,681				
地域生活支援事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

障がいの理解を深めるための各種研修会や講演会の開催，学校等教育機関における障がいに対する理解を深める講座を実施

5　障がい福祉サービス事業【該当施策No4，5】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,661,130	1,808,820	1,808,820	1,808,820	1,808,820
	実績	1,813,366				
うち一般財源	計画	418,455	457,620	457,620	457,620	457,620
	実績	466,811				
障害福祉サービス事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

・各種障がい福祉サービス事業の提供，自立支援医療の給付，気軽に相談できる体制の強化等
・障がい福祉サービス等に係る研修への参加や障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果等の共有によるサービスの質の向上

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1.介護予防高齢者把握事業（事業1，2）：（事業1）運動機能や認知機能の低下が予測される高齢者286人，②電話や来所相談の高齢者260人（事業2）へ実態把握訪問を実施し，地域で行っている「いきいき百歳体操」や公民館講座の紹介を行い自立支援を促したり，介護サービスが必要な高齢者へは介護保険の申請勧奨を行った。75歳以上の虚弱高齢者数は506人※と推計されることから，ほぼ全数の把握ができていると考えられる。

※R7.4.30時点の高齢者10,116人の5％（5％：国が示す虚弱高齢者の割合）

2.認知症サポーター養成事業（事業3）：「広報かさおか」や市のHP，校長会での説明など広報に加えて，中学校や高校，金融機関へは声かけを行った。また，令和７年度から取り組んでいる「認知症を共に支える大作戦」の一環として市職員を対象に，認知症サポーター養成講座を実施した。講座内容は，国が示した新しい認知症観やMCIについて取り入れ，認知症を自分事として理解してもらう内容とした。

3.地域生活支援事業（事業4）：相談支援事業　実人数176人，延べ相談件数 1,725件

4.障がい福祉サービス事業（事業5）：延べ利用者数15,377人，実利用者数8,983人

指標の実績：

KGI（要介護認定率）：21.7％→22.2％と微増（R8目標3,120千円に対し98.9%）。概ね想定どおり推移しており【〇順調】

KPI①（75歳以上の実態把握件数）：525→546人と目標500人を達成【〇順調】

KPI②（認知症サポーター数）：6,103人→6,243人（R7目標6,350人に対し98.3%）。概ね想定どおり推移しており【〇順調】

KPI③（地域内での支援ネットワークの活用度）（笠岡市・里庄町相談支援センター相談受付件数）

・R7目標220件，R7実績176件（笠岡市・里庄町相談支援センター），達成率80.0%【△遅延】

＜補足＞地域福祉課の専門職による直接相談対応実績

・障がい者全般の支援相談：実118人，障がい者就労に関する相談：実50人，ひきこもりに関する相談：実42人⇒合計：実210人

KPI④（理解を深める研修等への参加者数）：R7目標142人，R7実績180人，達成率126.8%【〇順調】

KPI⑤（事業所への運営指導件数）：R7目標2件，R7実績0件，達成率0.0%【×要修正】

KPI⑥（公共施設の新規バリアフリー化件数）：R7目標2件，R7実績1件（市内小学校スロープ設置），達成率50.0%【×要修正】

自己評価理由：

介護保険の申請の多くが80歳以上からの申請である。75才以上高齢者が増加する中，75歳以上の独居高齢者へ専門職が実態把握訪問を行い，適切な支援を行うことで，介護認定率の目標が達成できていると考える。

KPI③については，目標を下回ったものの，地域福祉課の専門職による直接相談対応実績が210人で，笠岡市・里庄町相談支援センターとの合計386人となった。令和8年度は，基幹相談支援センターを笠岡市と里庄町で設置し，民間事業所への委託により主任相談支援専門員を配置する予定としている。基幹相談支援センターが自立支援協議会の運営を主導し，地域の相談支援事業所への指導助言，人材育成，および研修実施を通じて，相談受付件数の増加と研修参加の継続的な促進を図る。

また，KPI⑤⑥についても目標を下回っているため，全体として「△遅延」と判定。

自己評価

達成状況 R7年度
△遅延

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題 (１)認知症サポーター養成講座の受講者が市民や小学校など決まった団体からの申込みにとどまっている。 (２)地域の相談支援事業所の専門性や対応能力にばらつきがあるため，センターが相談支援事業所の役割を担う必要が生じており，本来対応すべきケースへの対応時間が確保できていない。また，相談支援事業所の職員が不足しており，専門性や対応能力を向上させるために人材育成を行うことができない。 (３)事業所への運営指導について，実施体制が整備されず，実施できなかった。備中県民局との連携の構築が必要。 (４)公共施設の新規バリアフリー化について，庁内の関係課との連携体制が不十分である。計画的な推進体制の構築が必要。
対応： (１)市内の高校や商工会議所に依頼し，受講対象を拡げ，地域で認知症を支える体制をつくる。 (2)基幹相談支援センターを設置し，相談支援事業所の職員の専門性や対応能力を向上させるための人材育成を実施する。基幹相談支援センターが地域の相談支援事業所に対して定期的な指導助言や困難事例の共有を行い，事業所間の連携を強化することで，利用者が適切な支援を受けられる環境を整備する。 (３)備中県民局と合同で障害福祉サービス事業所に対する運営指導を実施する。地域福祉課のみで相談支援事業所に対する運営指導を実施する。R8年度から計画的に実施体制を整備し，指導件数の増加を図る。 (４)公共施設の新規バリアフリー化について，庁内関係課と連携し，計画的なバリアフリー化を推進す

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
市民満足度の悪化： 「障がい者福祉の充実」の市民意識調査の満足度が大きく低下。要因分析と今後の課題，地域福祉課の取組の市民への積極的な発信を要望。	中期財政見通において財源不足が公表されたことで，市民満足度の低下に一定の影響を与えている可能性も考えられます。そのような中でも，提供するサービスの必要性を改めて検証し，限られた財源を最大限に活用しながら，必要な人に必要な支援が届くよう取り組んでまいります。 また，地域福祉課の取組内容につきましては，市ホームページのみならず，広報誌やSNS等の様々な情報発信ツールを活用し，市民への周知に一層積極的に取り組んでまいります。
障がい関連イベント・利用実績： 参加者数は低下。月間実利用者数は変動があり，訪問系サービスは2年連続減少。今後の利用希望増を見据えた人材確保を要望。	障がい関連イベントの参加者数低下は周知不足などが影響し，訪問系サービスの利用者数減少は福祉人材の不足が要因と考えられます。今後は，広報やSNS等を活用した周知強化やイベント内容の工夫を行ってまいります。また，自立支援協議会等を通じた学生・若年層への講座実施により，人材確保と人材育成に取り組みます。
その他の確認事項： 農福連携の農業者数減少の原因，民間施設のバリアフリー化の状況。	農福連携の農業者数減少及び民間施設のバリアフリー化の状況につきましては，複数の部門にまたがる課題であるため，関係課と連携しながら現状把握を進め，今後の取り組みについて検討してまいります。
75歳以上実態把握件数の減少： 減少理由について対応・回答だけでは理解しづらく，改めて説明を要望。	実態把握件数が，令和5年度の777件から令和6年度の525件への減少理由へのご質問ですが，新型コロナウイルス感染症が感染症５類への移行に際し，令和５年度は，いきいき百歳体操への不参加者やとじこもり者などの後期高齢者を集中的に把握するように努めたため，令和５年度の把握件数が多くなっています。

認知症サポーター養成： 　延べ養成数の増加は評価。	引き続き,多くの方へ講座を受講していただけるよう努めて参ります。
各種事業の利用減： 　いきいき百歳体操の実施箇所数，自立支援ヘルパー派遣利用人数，緊急通報装置設置台数の減少要因（高齢化進行による参加困難等）を確認したい。緊急通報装置は必要者への設置完了との認識でよいか，設置増加策も要望。	緊急通報装置については,必要な方へ設置してもらえるよう引き続き周知に努めて参ります。
ことぶき大学： 　受講者延べ数の増加は，生きがいある生活を送る高齢者の増加の表れ。要因分析を求める。公民館・社協等で多様な選択肢があることは高齢者比率の高い笠岡市で有意義。	要因分析は十分できていないが，引き続受講者が増加するよう,参加できる仕組みづくり魅力ある講座の開催に努めて参ります。
老人福祉センター： 　利用者が約2,000人減少した理由を確認したい。	R5年度からR6年度にかけ,利用者が減少した大きな理由の一つに,入浴施設にレジオネラ菌が発生し使用不可期間があったことで利用者が減少したことが挙げられます。また，当該施設以外での講座開催等が増えたため利用者が減少しました。
敬老会の廃止： 　財政健全化プランによりメッセージカード送付に変更されたが，地域・高齢者から必要性を疑問視する声。広報かさおか・笠岡放送等での発信を提案。	年齢を限定してメッセージカードを送付しているため，広報かさおかでの発信は予定していません。 　引き続きメッセージカードを対象者へ送付し，頂いた意見に丁寧に対応していきます。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・公共施設の新規バリアフリー化については，予算もあることですので，必要箇所のリストＵＰ化して，順次対応してください。
・達成できていない指標が複数あり，気になります。庁内外での連携不足が原因のように読めますので，十分な連携体制の構築による市民サービスの向上をお願いします。
・「笠岡市・里庄町相談支援センター」について知らなかったので更なる周知が必要かと思いましたが，R8年度に「基幹相談支援センター」に変わるということなのでしっかりとした土台をつくっていただきたいです。民間事業への委託とのことですが，必要とするところにより高度なサポートが届くよう願います。
事業所への運営指導，公共施設の新規バリアフリー化が要修正となっているので，今後しっかりと取り組んでいただきたい。新規事業もあり大変かと思いますが，市民が安心して自分らしく生きるための基盤づくりです。頑張ってください。　障がい福祉制度事務，障がい福祉サービス事業が計画より多くかかっていますが，R8以降の計画金額設定は大丈夫なのでしょうか。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	1-⑵-④	市民に寄り添う支援
目指すまちの姿	だれもが共に支え合い，安心して自分らしく暮らせるまち	

主担当課
福祉総務課

主な施策
①住民ボランティアの養成
②ふれあいサロンなど同世代・多世代の人が気軽に集うことのできる居場所の拡大
③重層的支援体制の整備

関係課
地域福祉課
長寿支援課

ＫＧＩ　各種ネットワークや支援会議等から潜在的な課題を抱えた人を発見し，つながりができたケース数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	6	7	8	9	10
実績	7	2				
達成率	－	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☐順調☑遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　住民ボランティアの養成人数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	449	455	455	455	460
実績	238	267				
達成率	－	59.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調☐遅延 ☐要修正

ＫＰＩ　多様な人々や多世代が交流できる居場所の数　（箇所）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	323	324	324	324	325
実績	312	308				
達成率	－	95.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調☐遅延 ☐要修正

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	268,398	272,020	273,563	273,563	273,563	1,092,709
	実績	254,965	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	78,624	66,419	63,457	63,457	63,457	256,790
	実績	68,852	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 ささえあい活動事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,334	4,633	5,334	5,334	5,334
	実績	3,851				
うち一般財源	計画	3,334	4,633			
	実績	3,851				
ささえあい活動助成事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

高齢者の積極的な社会参加を通じて，地域の活性化を図る活動に対して助成する。また，皆で支える福祉のまちづくりを実現するため，住民やボランティアなどによる福祉活動など，地域独自の援助活動に対して助成を行う。

2 重層的支援体制整備事業【該当施策No①③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	258,810	264,158	265,000	265,000	265,000
	実績	248,149				
うち一般財源	計画	69,743	60,329	62,000	62,000	62,000
	実績	62,849				
重層的支援体制の整備		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

相談者の世代や属性に関わらず，地域住民からの相談を幅広く受け止めることが可能となるとともに，分野横断的に包括的な支援体制を整備する。

3　奉仕員養成研修事業該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	362	589	589	589	589
	実績	533				
うち一般財源	計画	272	359	359	359	359
	実績	323				
奉仕員の養成		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

手話奉仕員養成講座，朗読奉仕員養成講座を実施する。

4　ピアサロン運営事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,643	1,760	1,760	1,760	1,760
	実績	1,605				
うち一般財源	計画	1,026	1,098	1,098	1,098	1,098
	実績	1,002				
ピアサロン等の運営		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

同じ悩みを持つ精神障がい者やその家族同士が集まり，地域の中で安心してすごせる居場所を提供する。

5　愛らんど(交流)事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,249	880	880	880	880
	実績	827				
うち一般財源	計画	4,249				
	実績	827				
愛らんど事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

島しょ部における貴重な高齢者の通いの場として，閉じこもりの防止と参加者の交流の機会へとつなげる。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果	自己評価
1.定年延長等によって，働く高齢者が増える中，ボランティア活動に従事する人の数が伸び悩んでいる中であっても約30名増やすことができた。(事業1.3) 2.地域での担い手の高齢化の進行や参加者の高齢化による参加人数の減少で，サロンの開催場所の集約化が進んだり，事業者においても担い手不足のため，減少傾向にある中で，一定数の集える場所の確保ができた。(事業1.4.5) 3.相談者の世代や属性に関わらず，地域住民からの相談を幅広く受け止めることが可能となるとともに，分野横断的に包括的な支援体制の整備が進み，断らない相談体制の整備ができ，重層的支援会議の定義が整理されるなど体制整備は順調に進んだ。(事業2)	
指標の実績： KGI:令和7年度に重層的支援会議等の定義が整理され，重層的支援会議０件，支援会議２件であった。各種ネットワークや支援会議等から潜在的な課題を抱えた人を発見し，つながりができたケース数については，会議の定義がされる前の指標のため，多めに設定されているが，会議の開催については，複数世帯，複数課題，既存のネットワークによるケース対応でも解決できない場合というケースに対応するため，開催数が少ないことは，横の連携や既存のネットワークでケース対応できている証であるため，数字に一喜一憂せずに管理していきたい。 KPI①：ボランティア養成者数は年度目標数に達することはできなかったが，最終年度の目標値に向け２９名増やすことができた。 KPI②：多様な人々や多世代が交流できる居場所の数は，地域での担い手の高齢化の進行や参加者の高齢化による参加人数の減少等による開催場所の集約化によって，４か所減少した。	達成状況 R7年度
自己評価理由： 　ボランティア養成者数は年度単位の目標は未達であるが，最終年度目標に向けて増加傾向にある。交流できる場所は減少しているが，達成率は95.4％である。また，重層的支援体制の整備については，会議の定義を定め，断らない相談体制が整備されるなど順調に進んだ。	○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
全体評価： 　地域福祉の推進事業は全体的によく取り組まれ，指標もある程度達成されており評価。今後の継続を要望。	ありがとうございます。今後も，引き続き，指標の達成を目指して努力していきます。
組織見直し・社会活動： 　財政健全化に伴う組織見直しの中で，社会活動の開催箇所数の拡大促進は可能か確認したい。	財政健全化による補助金カットの影響は，運営に影響はあったが，各活動において創意工夫を行い，継続できましたが，拡大までは難しかったです。
生活支援サービス： 　利用件数が400%超と急増しており，今後の伸びを見据えた対応を要望。	需要に対応すべく，広くサポーター希望者を募集し，サポーターの養成に努めます。
民生委員のなり手不足： 　高齢化で福祉の重要性が増す中，現状を確認したい	民生委員は定員１６２人で欠員が２名の状況です。なり手不足が顕著となる中，先進地の取り組みを参考にしながら，欠員補充や次世代につないでいく方策を検討します。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・住民ボランティア参加者による地域住民へのアピールが必要ではないか。（知人への参加依頼等） ・KGIの未達成の理由は理解でき，住民ボランティアの養成人数も達成率は低いが微増していることから個人的には達成と評価しましたが，話し合いの末遅延となりました。 住民ボランティアの養成人数については目標が高すぎるのではないかと思いますが，これからの笠岡市が目指す地域づくりには必要なこととも思うので，市民への意識啓発が必要なのではないでしょうか。 コメントの中でボランティア活動従事者は定年後の方を意識されていますが，子どものうちからボランティア精神を浸透させる必要を感じています。年齢を問わず市民一人一人ができる範囲で助け合い支えあう上で成り立つ重層的支援体制を築いていってほしいと思います。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑴-①	安全で健全な上下水道の管理運営
目指すまちの姿	暮らしを守る上下水道の安心・安全が持続するまち	

主担当課
上下水道総務課
上下水道工務課
関係課

主な施策

①中長期的な更新計画を立案し，国庫補助金の活用等により財源を確保しながら，着実に施設の更新や耐震化等を図る。
②計画的な漏水調査等により漏水の早期発見に努め，有収率の維持・向上を図る。
③経営戦略等の計画に沿った経営を着実に行うとともに，施設の統廃合やダウンサイジングを進め，規模の適正化を図る。あわせて，効率的な事業運営のために，広域連携の推進や官民連携方式の導入検討を図る。
④人員の効率的な配置の検討や各種技術講習会への参加により，職員の技術の向上を図る。

ＫＧＩ　経常収支比率(水道事業)　(%)
〃　(下水道事業)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	☑順調□遅延 □要修正
	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
実績	110.4	110.8					
	102.3	102.3					
達成率	－	110.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	102.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　水道有収率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	92.3	92.4	92.5	92.6	92.8	☑順調□遅延 □要修正
実績	92.2	91.5					
達成率	－	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　水道管路(基幹管路)の耐震適合率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	31.0	32.3	33.7	35.1	36.5	☑順調□遅延 □要修正
実績	29.7	30.0					
達成率	－	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　下水道処理人口普及率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	60.8	61.2	61.6	62.0	62.4	☑順調 □遅延 □要修正
実績	60.4	61.0					
達成率	－	100.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　下水道管渠(重要幹線等)の耐震化率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	88.0	88.2	88.4	88.7	89.0	☑順調 □遅延 □要修正
実績	87.8	87.9					
達成率	－	99.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	463,280	479,000	423,000	423,000	423,000	1,748,000
	実績	220,767	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	340,860	344,630	270,000	270,000	270,000	1,154,630
	実績	143,326	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　老朽配水管布設替事業（水道事業）【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	358,450	368,000	308,000	308,000	308,000
	実績	120,505				
うち一般財源	計画	282,500	283,630	205,000	205,000	205,000
	実績	89,540				
・設計，工事		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

水道事業更新計画に基づき，老朽管の布設替に係る実施設計及び工事（耐震化工事）を行う。財源として，社会資本整備総合交付金（補助率1/3）を活用する。

2　下水道管渠耐震化事業（下水道事業）【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	90,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	実績	90,684				
うち一般財源	計画	45,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	実績	45,684				
・設計，工事		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

老朽化した下水道管渠施設の耐震化工事を行う。財源として，社会資本整備総合交付金（補助率1/2）を活用する。

3　漏水調査事業（水道事業）【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	14,830	11,000	15,000	15,000	15,000
	実績	9,578				
うち一般財源	計画	13,360	11,000	15,000	15,000	15,000
	実績	8,102				
・漏水調査		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

R7に実施した人工衛星による漏水調査の結果をもとに，漏水が疑われる箇所を重点的に，音聴等による漏水調査を実施した。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

水道事業においては，更新計画に基づき，社会資本整備総合交付金を活用し，老朽配水管布設替工事を実施する予定であったが，年度当初の交付金額が少なく，年度終盤に国の補正予算による交付決定があった。そのため，本年度に予定していた工事の多くを来年度に繰越して実施することになった。また，岡山県が主体となり，広域連携の一環として実施した，衛星画像による広域的漏水調査推進事業に参加し，漏水箇所の早期発見に取組んだ。災害時等に断水が発生した場合に相互に応援給水を行えるよう，福山市との間に緊急時連絡管を整備し，緊急時のライフライン機能の強化を図った。

下水道事業においては，社会資本整備総合交付金を活用し，老朽化した水道管渠施設の耐震化工事を実施した。また，将来にわたり安定的かつ持続的に下水道事業を運営していくため，経営戦略の改訂を行った。

４月に組織改革で，上下水道部が建設部に統合され，水道課と下水道課が上下水道総務課と上下水道工務課に再編されたことにより，職員は水道事業と下水道事業を超えて柔軟に業務を行っている。また，水道協会，下水道協会，福山市などが主催する各種技術講習会に積極的に参加し，技術の向上を図った。

指標の実績：

ＫＧＩ　経常収支比率：水道事業・下水道事業ともに目標の100％を超え，経常収支は黒字となった。

ＫＰＩ　水道有収率：前年度より0.7ポイント低下した。

ＫＰＩ　水道管路（基幹管路）の耐震適合率：前年度より0.3ポイント上昇した。

ＫＰＩ　下水道処理人口普及率：前年度より0.6ポイント上昇した。

ＫＰＩ　下水道管渠（重要幹線等）の耐震化率：前年度より0.1ポイント上昇した。

自己評価理由：

目標を達成できなかった指標があるが，全体的には概ね順調に事業を実施できた。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
市民意識調査の低下： 「水道水を安心して使用できる」と感じる市民の割合が徐々に低下。県内の水道水汚染ニュースが影響している可能性。HP公表は評価。	市民の皆様に水道水を安心して使用していただけるよう，引き続き，水質検査結果を公表し，水質情報の見える化に取組んでまいります。
PFAS等水質問題： 継続的な見える化により市民の安心確保を要望。計画的な取組と説明責任の履行を評価。	市民の皆様に水道水を安心して使用していただけるよう，引き続き，水質検査結果を公表し，水質情報の見える化に取組んでまいります。
漏水・老朽化対策： 人工衛星による漏水診断は時代に即した取組と評価。全国的な水道管老朽化・破裂・漏水を踏まえ，点検・交換等の予防的対策を要望。	ＡＩによる管路の劣化予測診断結果を反映させた更新計画を令和６年度に策定しました。ＡＩにより劣化が進んでいると予測された管を優先して更新する計画としています。また，R7年度に実施した人工衛星による漏水調査結果をもとに，漏水の早期発見に取組んでまいります。
計画的な運営： 全国で道路陥没や料金値上げの報道が多い中，本市が計画通り進めていることに感謝。	引き続き，計画的に水道事業を運営してまいります。
指標達成（上水道）： ほぼ目標に達しており高評価。重要インフラの維持継続を要望。	引き続き，計画的に水道事業を運営してまいります。
指標達成状況（下水道）： ほとんどの項目で目標をクリアしており高評価。汚水処理人口普及率は目標未達だが実績は伸びており，継続的取組を要望。	引き続き，汚水処理人口普及率の向上に取組んでまいります。
下水道接続率： 91%で全国平均水準。引き続き快適な住環境整備を要望。	引き続き，下水道接続率の向上に取組んでまいります。
組織再編： R7年度からの課の編成変更によるメリットを確認したい。	以前は「水道課」と「下水道課」に分かれていましたが，R7年度から，事務職員で構成する「上下水道総務課」と，技術職員で構成する「上下水道工務課」に再編されました。これにより，特に，年間250件程度発生する水道管の漏水に対して，以前は基本的には水道課だけで対応していましたが，現在は水道担当・下水道担当の枠を超えて，柔軟に対応できるようになりました。
評価の変動： 昨年A評価から今回B評価へ。指標に大きな変化はなく，よく頑張っていると評価。	引き続き，上下水道事業の効率的かつ安定的な運営に努め，市民の皆様に上下水道サービスを持続的に提供できるよう取組んでまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・老朽排水管布施替事業で，計画と比べて実績が計画の3分の1になっています。ただ，水道事業更新計画に基づいている内容です。しかし，全国的に問題になっている箇所であり，本年度の実績と成果では，「年度当初の交付金額が少なく，年度終盤に国の補正予算による交付決定」とあり，来年度は計画に沿って実施されるものと思います。 ・全体的に概ね順調です。引き続き，漏水・老朽化対策をお願いします。 ・全ての指標でほぼ達成していることと，実績と成果にある具体の記載をふまえ順調としました。 衛星画像による広域的漏水調査推進事業で早期発見に取り組んだり，福山市との緊急時連絡管の整備の実施により安心感が高まりました。 組織改革により水道事業と下水道事業が柔軟に総合的に行われているようなので安心しました。引き続き笠岡市の水道強靭化をお願いします。8年に入り，海底送水管や茂平で漏水のニュースがありましたが想定内のことなのでしょうか。 ・老朽化した上水道の修理布設を，急ぎお願いしたい。居住誘導地域以外は維持・修理が大変なので，これ以上，下水道を広げない方が良いと思います。下水道処理人口普及率は，KPIに取り上げない方が良いのではないでしょうか。 ・市民生活を支える重要なインフラである上下水道については，老朽化対策を着実に進めながら，漏水防止と安定的な管理運営に引き続き取り組んでください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-(1)-②	魅力的なまちづくりと定住促進	◎総合戦略
目指すまちの姿	市民だれもが安心して快適に「すむ」・「はたらく」・「たのしむ」，そして「つどう」まち		

主担当課
都市計画課

関係課
企画政策課
まちづくり課

主な施策

①地域の新たな担い手となる「地域おこし協力隊」や様々な地域づくり組織による地域の維持・活性化
②シティプロモーションによる人口創出：定住・移住・関係人口の創出を図る。
③「移住フェア」の開催による市外・県外への魅力発信
④移住相談窓口を充実
⑤市内高校をはじめ関係機関などと連携して，地域の魅力をより感じてもらう取組を実施
⑥土地利用規制の見直しによる企業誘致を推進
⑦コンパクトなまちづくりと中心市街地の拠点性向上
⑧居住誘導区域の住環境やまちの魅力の向上
⑨空き家等の利活用(空き家，空き地バンク事業等)，適正管理(除却等を含む)のための支援を推進
⑩市営住宅の改修や建替えを踏まえた長寿命化計画を策定
⑪住宅セーフティネットを充実
⑫耐震費用等の補助
⑬結婚を望む人に対して，必要な情報提供を実施
⑭結婚を望む人に対して，周辺市町と連携するなどして必要な支援を実施

ＫＧＩ◎ 居住誘導区域内の人口密度　（人／ha）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	45.4	45.4	45.4	45.4	45.4
実績	45.4	44.8				
達成率	－	98.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 空き家の利活用件数(バンク，解体撤去助成による案件)　（延べ件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	40.0	60.0	65.0	70.0	75.0
実績	58.0	37.0				
達成率	－	92.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　耐震診断・耐震改修の補助件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	27	30	35	40	45
実績	14	26				
達成率	－	96.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 社会動態増減数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	△ 104	△ 98	△ 92	△ 86	△ 80
実績	△ 110	△ 329				
達成率	－	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：□順調 □遅延 ☑要修正

ＫＰＩ　移住フェア・移住相談会における相談件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	45.4	47.8	50.2	52.6	55.0
実績	43	46.0				
達成率	－	101.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　婚姻届出件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	580	580	580	580	580

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

☑順調 □遅延 □要修正

実績	578	546				
達成率	－	94.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R8～11計
事業費	計画	277,929	325,749	641,911	518,245	578,693	2,064,598
	実績	237,197	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	261,292	281,632	416,873	355,045	385,274	1,438,824
	実績	227,943	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　地域おこし協力隊事業【該当施策No①】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	77,170	47,680	4,800	4,800	4,800
	実績	44,043				
うち一般財源	計画	77,170	47,680	4,800	4,800	4,800
	実績	44,043				
地域おこし協力隊事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

地域の新たな担い手となる人材を「地域おこし協力隊」として委嘱し，地域協力活動を通じて地域への定住・定着の促進及び地域活性化を図る。

2　定住促進事業【該当施策No③④】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,043	1,015	1,015	1,015	1,015
	実績	2,385				
うち一般財源	計画	3,043	1,015			
	実績	2,385				
・新婚世帯助成金		⇨	⇨			
・移住・定住フェア		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

移住に興味がある方向けに都市圏での移住フェアに参加し笠岡市の魅力を紹介し，笠岡市への移住を促す。すでに笠岡市へ興味を持っている方向けには移住後の生活等について紹介することで移住を促す

3　地方創生×ＮＰ（ネイチャーポジティブ）推進事業【該当施策No⑤】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	575	0	5,000	5,000	5,000
	実績	564				
うち一般財源	計画	75	0	2,500	2,500	2,500
	実績	64				
・フィールドワーク				⇨	⇨	⇨
・ワークショップ		⇨		⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市内中高生や近隣大学生等がフィールドワークやワークショップを通してネイチャーポジティブに関する課題を見つけ，課題解決に向けた政策提言やアイデア発表を行うもの。

4　まちなみづくり支援事業補助金【該当施策No⑧】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	30,000	40,000	40,000	
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	15,000	20,000	20,000	
	実績	0				
・空き家等除却			⇨	⇨	⇨	
・共同住宅建設			⇨	⇨	⇨	

左欄の事業内容

人口減少が進む中，市内の住宅不足を解消するため，市有地の積極的な住宅用地としての提供検討を進めるとともに，笠岡駅前エリアの商業地域内で，かつ居住誘導区域内における建物の除却促進と共同住宅建設を促進する。

5 公園管理業務【該当施策No⑧】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	175,480	197,000	197,000	197,000	197,000
	実績	170,561				
うち一般財源	計画	168,674	184,564	184,564	184,564	184,564
	実績	169,989				
・公園管理委託		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・公園修繕整備		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

各地区の公園・緑地の維持管理等を委託し，きめ細かく効率的な管理を行うとともに，遊具修繕や塗装等を行い，施設の保全と安全対策に努める。

6 空き家利活用・除却支援推進事業【該当施策No⑨】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,881	7,880	8,300	9,200	10,100
	実績	3,881				
うち一般財源	計画	1,763	3,680	4,100	5,000	5,900
	実績	1,763				
・特定空家等除却事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・老朽空き家解体撤去費補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・空き家リフォーム助成金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・空き家家財処分助成金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

〇特定空家等除却事業補助金
〇老朽空き家解体撤去費補助金
〇空き家リフォーム助成金
〇空き家家財処分助成金

7 公営住宅長寿命化事業【該当施策No⑩】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	9,700	17,000	329,664	231,896	329,664
	実績	8,800	0	0	0	0
うち一般財源	計画	4,850	8,500	164,832	115,948	164,832
	実績	4,400	0	0	0	0
・計画（中間見直し）		⇨				
・樋守バリアフリー			⇨	⇨	⇨	⇨
・外部改修（樋守）				⇨		⇨
・外部改修（中央）					⇨	
・住宅解体工事		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

上位計画の改訂や社会情勢の変化などの影響により見直した笠岡市公営住宅等長寿命化計画（中間見直し）にのっとり，老朽化した市営住宅の計画的改修を行うため，維持・改修工事を実施する。

8 公営住宅等整備事業（建替）【該当施策No⑩】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	0	28,578	0	0
	実績	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	0	0	14,289	0	0
	実績	0	0	0	0	0
・基本計画（改訂）			⇨			
・建替アドバイザリー				⇨	⇨	⇨
・建替工事（除却）						

左欄の事業内容

富岡・富岡第２団地の建替計画戸数は，入居者世帯や建物の構造等を踏まえて96戸とし，PFI事業による整備を検討する。

9　住宅リフォーム助成金【該当施策No⑫】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,900	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績	4,682				
うち一般財源	計画	4,900	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績	4,682				
住宅リフォーム助成金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民の居住環境の向上や地域経済の活性化を図るため，市民が市内の施工業者を利用して個人住宅等のリフォームや小規模な改修を行う場合に，経費の一部を助成する。

10　建築物耐震診断等事業補助金【該当施策No⑫】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,080	2,080	2,160	2,240	2,320
	実績	2,080				
うち一般財源	計画	520	520	540	560	580
	実績	520				
建築物耐震診断等事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

昭和56年5月31日以前に着手された木造住宅及び建築物の所有者が行う耐震診断等に要する経費について補助を行う。

11　耐震改修等事業補助金【該当施策No⑫】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	800	2,500	4,800	6,500	8,200
	実績	0				
うち一般財源	計画	200	625	1,200	1,625	2,050
	実績	0				
耐震改修等事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

昭和56年5月31日以前に着手された木造住宅の所有者が行う耐震改修に要する経費について補助を行う。

12　井笠圏域結婚推進事業【該当施策No⑬⑭】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	300	594	594	594	594
	実績	201				
うち一般財源	計画	97	48	48	48	48
	実績	97				
・結婚イベント開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・婚活セミナー開催			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

・地域資源を活かした出会いの場の提供

・「おかやま出会い・結婚サポートセンター」のイベントシステムを利用し，職員が企画や運営を行い，センター職員と連携しイベントを実施

・イベント参加条件として縁結びネットのイベント会員に登録してもらうことによりアフターフォロー体制を整えた。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1.地域おこし協力隊(事業1)：島しょ部の観光振興などの地域協力活動に取り組む9名の隊員の活動支援を行った。活動報告会などを実施し，任期後を見据えた隊員と地域住民との関係づくりの機会を創出した。隊員の本市への定住・定着に資するため，元隊員2名へ起業支援補助金を交付し，地域における多世代交流や国際交流の拠点となる事業への補助を行った。

2.定住促進(事業2)：移住フェアの実績　令和7年度は大阪で2回，東京で1回移住フェアに出展した。笠岡市のブースへは大阪では24名から，東京では35名の来場者から移住相談を受け付けた。

ナイター移住相談の実績　日中に時間が取れない方向けに夜間にオンラインで移住相談を行っている。5名の方からの移住相談を受け付けた。

3.ネイチャーポジティブ(事業3)：市内高校をはじめ関係機関などと連携して，地域の魅力をより感じてもらう取組を実施。内閣府のモデル事業として，市内中学生・高校生，近隣大学に呼びかけを行い，ネイチャーポジティブの取り組みに参加してもらった。内容としては，見識者によるキックオフ講演会，２回のフィールドワーク，２回のワークショップを経て，環境保全やＰＲなど４つのテーマで政策提言やアイデアなどの発表を行った。（のべ参加１００名程度）

5.公園管理業務(事業5)：かさおか太陽の広場をはじめ，各地区の公園・緑地の維持管理等を委託することにより，きめ細かく効率的な管理を行った。【公園管理事業：166,007千円】

遊具修繕・塗装等の公園修繕を行い，公園施設の保全と利用者の安全対策に努めた。【公園修繕事業：3,410千円】

古城山公園の園路に設置しているガードレールについて，一部に著しい老朽化がみられるため，更新工事を実施した。【公園整備事業：1,144千円】

6.空き家活用・除却(事業6)：空き家の利活用件数(バンク，解体撤去助成による案件)については，空き家バンクの成約数が令和6年度以前まで年間50件程度で推移していたが，令和7年度については，30件台に一時的に落ち込んだ。この要因について，令和8年度当初に分析を行ったが，当時は不動産業界全体が低調な動きで，空き家バンクに限らず，全体的に空き家関係予算の補助申請の動きも鈍かったことが確認された。この点，令和8年度の第一四半期（4～6月）については，令和6年度以前の水準で推移していることから，今後は持ち直し，今後の空き家件数増大に伴い，さらに件数が増加していくものと思われる。これに合わせて，地域の空き家情報のさらなる活用等により登録勧奨を強化し，実績を増やすことを目指していく。併せて，空き家活用関係予算も維持又は拡大を行い，特に，申請件数が多い，空き家リフォーム助成金及び空き家家財処分助成金については空き家活用促進の視点からも年次的に拡充していく。

7.8.公営住宅(事業7.8)：市営住宅の改修や建替えを踏まえた長寿命化計画を策定。　令和３年３月に策定した計画の中間見直し時期を迎えたことから，上位・関連計画の改定や社会情勢の変化，事業の進捗状況を反映し，計画の見直しを行った。

住宅セーフティネットを充実　住宅セーフティネットに関して，制度を実施するうえでの取り組みや課題等を把握するために，事業者にアンケートを行った。

9.住宅リフォーム助成金(事業9)：令和７年度は補助率1/2（上限10万円）や耐震要件等の廃止などの事業見直しを行い，助成件数48件に対し，合計で4,682,000円を助成した。

10.11.耐震(事業10.11)：本年度はまだ国費の確定通知が来ていないため，受付はしていないが，現段階で建築物耐震診断等事業は２２件，耐震改修等事業は６件の問い合わせが来ている。

12.井笠圏結婚推進(事業12)：結婚を望む人に対して，必要な情報提供を実施　井笠圏域結婚イベントの参加者に対して，おかやま縁むすびネットへの登録を促進し，継続的にイベント情報を受け取ることができる環境を整備した。また，広報誌やホームページを活用し，井笠圏域で実施する結婚支援イベントについて市内外へ広く情報発信を行った。さらに，昨年度の課題であったイベント終了後の情報提供については，マッチングの有無にかかわらず，センターが状況確認や相談対応を行うとともに，婚活イベントやセミナーの情報を提供できる仕組みを整備した。これにより，結婚を望む人に対する継続的かつ効果的な情報提供体制の充実を図ることができた。

結婚を望む人に対して，周辺市町と連携するなどして必要な支援を実施　井笠圏域市町と連携し，結婚を望む人を対象とした結婚イベントを実施した。参加者は23人（男性12人，女性11人）で，5組のマッチングが成立した。昨年度の課題であった井笠圏域からの参加者及びマッチング数の少なさを踏まえ，定住促進の視点から井笠圏域の参加者の確保を意識した企画・運営を行った結果，井笠圏域の参加者は前年度比3人増加し，マッチング数も2組増加するなど，広域連携による結婚支援の充実を図ることができた。一方で，成婚には至らなかったことから，成婚につながる継続的な支援が今後の課題である。

指標の実績：
KGI：居住誘導区域内の人口密度は，目標を若干下回っているが，人口減少が続く中，微減に留まっている。
KPI：
1.令和7年度　空き家バンク成約数　32件
　　特定空家等除却事業補助金　5件
　　合計　37件
2.助成件数48件　助成金額4,682,000円
3.社会動態増減数は前年度と比較して減少幅が219人拡大し，目標値を225人下回った。これは転入者数が前年度比78人減少した一方で，転出者数が141人増加したことにより社会動態が大幅な転出超過となったことが主な要因と考えられる。
4.移住フェアの相談件数実績（大阪17件　東京23件）
5.婚姻届件数は前年度比で32件減少し，目標値を34件下回る結果となった。少子化の進行や未婚・晩婚化，結婚に対する価値観の多様化などを背景として婚姻件数が減少傾向にあることが要因と考えられる。

自己評価理由：
　予定していた事業については，おおむね順調に実施できた。
　指標についても，社会動態以外は順調に推移しており，順調と判断した。
　社会動態のマイナスは，東京一極集中が続く中，地方圏は厳しい現状にあるが，引き続き各分野にわたる総合的な取り組みにより改善に努める。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：
居住地の選択場面においても，全体的に居心地の悪さを感じて転出している可能性がある。
公営住宅については，長寿命化計画（中間見直し）にのっとり，外部改修工事を実施していくが，近年，社会資本整備総合交付金が想定額を下回る額しか交付されていないことから，計画通りに実施できるかが課題である。
耐震については，物価高騰により，全体耐震改修費用が出せないと言う意見を聞く。
社会動態増減数は，転出者数の増加が著しい。県の調査結果から，進学・就職時だけでなく，結婚や定住などの人生の節目の情報を望む人に対しての情報発信及びイベントの実施はできているが，成婚者の増加及び定住者の増加に活かせていないことが課題である。

対応：
移住・定住促進には，地域の新たな担い手として地域おこし協力隊を活用するなどし，若者の定住・定着を促進する取組に関係部署が連携して取り組む。
公営住宅は，令和８年度に富岡団地建替基本計画（改訂）策定業務を予定しており，改めて富岡団地建替事業が進みだすことから，計画通りに事業が進むよう進捗状況を十分に確認していきたい。また，住宅セーフティネットの充実については，県内他市の状況を注視し，引き続き情報収集に努めていきたい。
耐震については，今年度から安価にできる補助事業も取り入れたため，周知に努める。
社会動態の改善は，引き続き井笠圏域市町と連携した情報発信及び結婚イベントを実施するとともに，イベント参加者に対するアフターフォローの充実や，おかやま縁むすびネットの活用促進，参加者ニーズを踏まえたマッチング手法の見直しを行うことで，成婚率の向上を図る。また，井笠圏域在住者の参加促進に取り組み，成婚を契機とした定住につながる結婚支援を推進する。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
JR笠岡駅周辺整備： 基本計画業務の凍結はやむを得ないが，将来に向けた検討を要望。有人駅設置に向けた近隣市町村との協議，視覚聴覚障害者対応も継続要望。	笠岡駅周辺整備につきましては，南北の一体化と回遊性の向上を図るため，駅南口や南北自由通路，駅前広場等の整備を検討していましたが，財政健全化を進める中で，現在は事業を一時凍結しているところです。今後の動向につきましては，財政健全化プランの進捗を確認するとともに，社会情勢を踏まえて慎重に判断したいと考えております。また，継続要望につきましても，引き続きＪＲや近隣市町村などの関係機関と協議を進めていきたいと考えております。
公園規模の適正化： 年間約2億円の一般財源が投入される一方，利用者は減少。ただし，子どもの遊び場・集いの場・防災拠点としての役割は重要。縮小により子どもの居場所が減ることに反対。世代共存に配慮した適正化と，市外受入による収益化も提案。まちづくり協議会での議論を期待。	近年の物価高騰による影響で公園管理費用が増額し，遊具等の修繕費用などが増額しているため，予算の範囲内で優先順位をつけて遊具の修理等を行っているところです。 また，公園使用料につきましては，令和８年４月から市外利用者については市内利用者の２倍の手数料を徴収する見直しを行い，収益化に努めることとしています。 いただいたご意見を踏まえながら，引き続き公園の規模の適正化や管理の在り方を検討していきたいと考えております。
都市形成： 中心市街地への人口集中による公共交通費用抑制，定住促進・企業誘致の基盤としてバランスある土地利用規制を要望。	都市計画マスタープランや立地適正化計画により，中心市街地を中心としたコンパクトプラスネットワークを推進していきたいと考えております。いただいた要望を踏まえて，人口集中による公共交通の在り方を検討していくとともに，国道２号バイパスや篠坂SIC等における交通結節点での産業振興に関する土地利用の検討を進めていきたいと考えております。
評価（定住）： 前回C評価から今回B評価へ。社会動態人口の悪化はやむを得ない面があるが，全体的な改善はそれほど感じられない。	令和６年度末で定住促進センターが解体され，複数部署に事業が振り分けられ，令和７年度から新たなスタートとなりました。関係部署で連携を取りながら改善が見られるように努力してまいります。
定住意向： 「住み続けたい」と感じる市民割合は増加。若者にも同じ思いを持ってもらえる（帰ってきてもらえる）まちづくりを期待。	子育て施策が拡充されたり，住宅リフォーム助成金の上限額の引き上げ等が行われたことが定住意識の向上に寄与した部分が認められると考えます。若者にも同じ思いを持ってもらえるよう，関係部署と連携しながら努力してまいります。
若者の流出： 高校生の通勤圏内就職率が低下し，約半数が市外へ。大学進学での流出も含め，新体制で市職員・市民全体での知恵出しが必要。	若者（特に中高生）に魅力を感じてもらい，笠岡市で就職し，子どもを産み育てたいと思えるよう，職員だけでなく市民を巻き込んで考える努力をしてまいります。
若者会議： 参加者数が年々増加。若者視点での課題解決に期待し，活動内容の情報発信・更新の強化を要望。	まちづくり課からも活動団体へ積極的な情報発信を強化するよう促すとともに，連携を取りながら努力をしてまいります。
ポルカドット： 予約多数で高校生利用者が多いのか確認したい。	予約者延べ人数のうち，約半数が中高生の利用となっています。 ※令和7年度実績　月間平均延べ人数176人うち中高生利用83人
少子化対策：独身男女のカップリングイベント増加・参加者拡大を要望。	令和8年度は，イベント運営を直営方式から業務委託方式へ見直すことで，より効果的かつ魅力的な事業展開を図る。また，イベントに加えてセミナーを新たに実施することで，参加機会の拡充を図り，多様なニーズに対応するとともに，イベント実施回数の増加及び参加者数の拡大を目指す。

組織再編： 　担当部署再編により取組が後退しないよう要望。定住促進センター廃止後も，その視点を全部署で意識した取組継続を期待。	令和６年度末で定住促進センターが解体され，複数部署に事業が振り分けられ，令和７年度から新たなスタートとなりました。関係部署で連携を取りながら改善が見られるように努力してまいります。
定住基盤： 　定住促進には住宅地整備が重要。一層の整備推進を要望。	令和８年度は住宅リフォーム助成事業の拡充や新たにまちなみづくり支援事業を創設するなど，住宅地整備に関する事業を進めることで，移住定住促進を図ってまいります。
総括： 　若者起用や地域おこし協力隊の活用など，他市町村にない試みは評価。指標結果だけで評価しきれない取組成果がある。	引き続き，各般の取組を推進します。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況 R10年度
順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・社会動態増減数や婚姻届出件数の現象は日本全体で少なくなっているため，いかんともしがたい問題ですが，取り組んでいただきたい。
・空家バンクの件数が令和7年度に6割近く落ち込んでいます。
・定住促進と少子化を防ぐための，カップリング企画を充実させてください。
・現在市内に居住している人が住み続けたいと思えるまちをつくることが大事だと思います。転入促進も大事ですが，それ以上に定住促進に資する取組とそれを進める体制づくりを期待します。
・指標がほぼ達成している点，地域おこし協力隊の定住・定着率が高くなった点を評価し順調であるとしましたが，社会動態があまりにも酷い点，婚姻届出件数の32件も減などを鑑み遅延としました。課題に「居心地の悪さを感じて転出している可能性がある」また「情報発信やイベントの実施はできているが成婚者の増加や定住者の増加に活かせていない」ことが課題とあるので，しっかり追求し改善してほしいです。
公営住宅については7割が入居だが交付金が想定額を下回るとのことだったので，集約したり，計画を見直す必要はないのか気になりました。組織再編によるからかまちづくり課はとても忙しそうです。まちづくり計画策定にむけて地域へ出向かれたり，その他多くの事業があるようなので現状の人数で可能なのか心配です。市の目指す小規模多機能自治についてわかりやすく見える化してほしいです。定住促進にも引き続き力を入れてほしい。
・空き家利活用・除却支援推進事業の周知徹底を行って頂きたい。倒壊危険空き家について，市の指導を徹底していただきたい。移住についてはまちづくり課・空き家バンクは都市計画課に別れたが，近くにあった方が連携がスムーズではないかと思います。
・高齢化の進展により，空き家の増加が懸念される中，空き家の利活用・除却支援推進事業は，地域の安全・安心な生活環境の維持に向けて重要性が一層高まっています。引き続き，計画的かつ積極的に取り組んでください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑴-③	道路・河川・港湾・漁港の適切な維持管理及び整備 ◎総合戦略
目指すまちの姿	だれもが共に支え合い，安心して自分らしく暮らせるまち	

主担当課
建設管理課

関係課
建設事業課
都市計画課

主な施策

①国道２号バイパスアクセス道路及び(仮称)篠坂パーキングエリア・スマートインターチェンジの整備
②橋梁の定期点検と計画的な補修
③河川等の堆積している土砂の撤去や改修
④海岸保全施設の整備
⑤港湾・漁港施設等の「予防保全型の維持管理」を実施
⑥安全で利便性の高い港整備を推進
⑦放置等禁止区域の指定明確化・制度周知・申請促進により放置艇ゼロを目指す。

ＫＧＩ　安心・安全に利用できる道路橋梁整備率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	95.9	96.4	97.0	97.5	98.0
実績	95.4	96.3				
達成率	－	100.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　修繕橋梁数(累計)　(橋)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	81	84	87	90	93
実績	80	89				
達成率	－	109.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　海岸保全施設整備率(第８次計画期間内)　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	100	99	99	100	100
実績	99	99				
達成率	－	99.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	688,930	725,760	853,200	777,250	341,750	2,697,960
	実績	633,519	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	37,116	110,005	55,150	54,825	24,400	244,380
	実績	49,223	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　国道２号バイパス関連道路整備事業【該当施策No①】　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	108,100	1,210	0	121,000	0
	実績	74,600				
うち一般財源	計画	6,100	205	0	6,050	0
	実績	4,549				
・道路局所管補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	
・地方道交付金		⇨	⇨	⇨	⇨	

左欄の事業内容

国道2号バイパスのインターチェンジに連結する市道の改良・拡幅を行うことにより，円滑な交通を確保するとともに，物流・観光の活性化につなげる。

2　篠坂スマートＩＣアクセス道路等整備事業【該当施策No①　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	216,250	334,000	420,000	250,000	0
	実績	234,046				
うち一般財源	計画	11,450	75,300	22,000	12,500	0
	実績	27,089				
・道路局所管補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	
・地方道交付金		⇨	⇨	⇨	⇨	

左欄の事業内容

山陽自動車道篠坂パーキングをスマートインターチェンジとして活用するため，アクセス道を整備することで，交通の利便性が図られ，定住促進，企業誘致，地域振興などさまざまな効果の発現につなげる。

3　橋梁長寿命化事業【該当施策No②】　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	67,260	76,500	82,200	102,750	102,750
	実績	55,197				
うち一般財源	計画	15,524	21,750	18,400	23,050	23,050
	実績	14,179				
・地方道交付金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・公共事業等債		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

橋梁の劣化状況を適切に評価し，必要な対策を講じることで，施設の長寿命化を図り，安全・安心な道路の確保を図る。

4　自然災害防止事業（漁港建設）【該当施策No④】　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	80,100	107,800	55,000	45,000	20,000
	実績	79,892				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	92				
・緊急自然災害防止事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

台風や異常高潮時の浸水被害の防止及び防災対策時の労力の軽減を図る。

5　水産基盤ストックマネジメント事業【該当施策No⑤】　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	33,420	13,470	30,000	32,500	15,000
	実績	53,430				
うち一般財源	計画	1,720	1,170	1,500	1,625	750
	実績	2,160				
・水産基盤整備事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・公共事業等債		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

漁港施設の長寿命化を図り，将来の改良・更新コストの縮減，平準化による的確な維持管理を行う。

6　港湾施設長寿命化事業 【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	46,200	14,380	45,000	12,000	12,000
	実績	9,693				
うち一般財源	計画	2,322	580	2,250	600	600
	実績	93				
・辺地対策事業債		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

港湾施設の長寿命化を図り，将来の改良・更新コストの縮減，平準化による的確な維持管理を図る。

7　緊急浚渫推進事業【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	10,200	27,000	25,000	25,000	25,000
	実績	10,001				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	1				
・緊急浚渫推進事業債		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

河川に堆積した土砂及び雑草を除去することで，河川の流下能力を回復させる。

これにより，洪水時の氾濫防止や低水位時の周辺への悪臭を解消し，安心・安全な生活基盤の強化を図る。

8　自然災害防止事業（河川改修）【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	127,400	129,400	160,000	160,000	160,000
	実績	116,660				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	1,060				
・緊急自然災害防止対策事業債		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

河川災害防止の施設整備を計画的に行い，河川としての機能を回復させ，より安心・安全な生活基盤の強化を図る。

9　漁港管理事業（漁港浚渫）【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画		22,000	22,000	22,000	0
	実績					
うち一般財源	計画		11,000	11,000	11,000	0
	実績					
・地域未来交付金			⇨	⇨	⇨	

左欄の事業内容

漁港区域内に土砂等が堆積し，漁船等の航行・係留の安全を脅かしているため，堆積した土砂等を除去する。

10　漁港海岸施設老朽化対策事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画		0	14,000	7,000	7,000
	実績					
うち一般財源	計画		0	0	0	0
	実績					
・公共事業等債				⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

漁港海岸保全施設の長寿命化を図り，将来の改良・更新コストの縮減，平準化による的確な維持管理を図る。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果	
1.国道２号バイパス関連道路整備事業：市道茂平148号線外道路舗装工事　L=300.0m　W=18.5m 2.篠坂スマートＩＣアクセス道路等整備事業：篠坂PAスマートIC関連ストックヤード整備工事 　仮置盛土　15,959m3 3.橋梁長寿命化事業：補修工事　9【橋】 4.自然災害防止事業（漁港建設）：金風呂漁港高潮対策工事 　基礎捨石　V=1,750m3　床掘 2,852m3 5,水産基盤ストックマネジメント事業：横江漁港・真鍋島漁港機能保全工事 横江漁港：C物揚場　L=16.5m　真鍋島漁港：アンカーチェーン取替工　N=1本 6,港湾施設長寿命化事業：小飛島港・豊浦港長寿命化工事 小飛島港：支承金物取替工　N=2箇所　チェーン固定金物取替工　N=2箇所 豊浦港：アンカーチェーン取替工　N=2本　チェーン固定金物取替工　N=2箇所 7.緊急浚渫推進事業：普通河川の土砂撤去　4【河川】 8.自然災害防止事業（河川改修）：普通河川の改修工事　5【河川】	
指標の実績： KGI（安心・安全に利用できる道路橋梁整備率）：目標95.9%→実績96.3%と目標数値を微増ではあるが，目標を達成することができている。【〇順調】 KPI①（修繕橋梁数（累計））：目標数値81橋→実績89橋と目標修繕橋梁数より大幅に修繕することができている。【〇順調】 KPI②（海岸保全施設整備率（第８次計画期間内））：湛江漁港の高潮対策整備区間の計画の見直しが必要となった。	**自己評価** 達成状況 R7年度 〇順調
自己評価理由： 　道路橋梁整備率と修繕橋梁数については，計画以上に整備や補修が実施できている。しかし，海岸保全施設整備率については，湛江漁港の高潮対策の計画の見直しが必要となったが，その他の計画は順調に進んでいるため，施策全体としては「順調〇」と判定した。	

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題：
対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
広域インフラ事業： 国道2号笠岡バイパス・篠坂PAスマートIC工事の遅れは国の方針によるが，市の周辺工事は計画通り進行と評価。篠坂PAインターチェンジへの企業誘致継続を要望。	・国道２号笠岡バイパス：令和８年４月５日に笠岡東IC（西大島新田）からカブト南IC（道の駅付近）の一部区間（延長2.8km）が開通したが，その先の開通の見通しが立っていない状況である。原因は，干拓地特有の地盤の改良とのことであるが，早期に全線開通できるように，関係機関と協議を行う必要がある。 ・国道２号玉島笠岡道路：計画に遅れが生じたが，令和８年度中には，全線開通する見通しで工事が進められている。 ・篠坂PAスマートインターチェンジ：引き続き企業が進出できるように誘致を行う。
市民意識調査の満足度低下： 「道路の整備」の満足度が前回より悪化。新聞報道の道路のり面崩落や，国道2号バイパス開通の遅れがアンケート結果に影響したと推測。	・国道２号バイパスが早期に完成できるように，引き続き関係機関と調整を行う。
指標の進捗： 多くの指標は順調に推移しており，すべき事業はしっかり実施されている。担当評価はA相当との見方もあるが，市民意識調査結果を踏まえB評価が妥当との意見。	・国道２号バイパス及び篠坂PAスマートICの早期に完成できるように，関係機関との協議や関連工事の発注を遅滞なく行う。
国道2号バイパス・篠坂PAスマートIC： 工事遅れは国の対応によるが，市の対応に問題はなく安心。早期開通と完成を期待。国・地域住民との調整を図りながら着実な推進を要望。	・国道２号バイパス・篠坂PAスマートIC：引き続き，関係機関と調整を図りながら，早期に完成し，供用開始できるように努める。
道路整備全般： 他県と比較して笠岡市の道路はよく整備されている印象で評価。	・緊急車両が通行できない，道路幅員が狭小である道路の改良や，計画的に道路の補修を引き続き行い，安心・安全に通行できるように努める。
港湾・漁港： 引き続きの整備を要望。	・引き続き，安心・安全に施設が利用できるように努める。
災害対応： 南海トラフなど海に面した立地を踏まえ，災害時に対応できる財政余力の確保も視野に入れた取組を要望。	・被災した箇所を早期に復旧できるように，引き続き財政健全化や中期財政見通しの計画をみながら，財源の確保に努める。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調　○	順調	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント
・順調です。 ・国道２号バイパスは一部開通しましたが，全線早期開通を望みます。 ・国道2号線バイパス，篠坂スマートICは市民にとって明るい要素です。笠岡市の活性化に期待しています。 海岸保全施設整備に関しては一部計画の見直しが必要となったものの，他の計画については順調に進んでいるので順調と評価いたしました。多くの漁港，港湾，橋梁の老朽化対策や災害対策は大変かと思いますが，引き続き計画的にお願いいたします。 ・救急車・消防車が通行できない4mに満たない道路が多い。区画整理事業を行って欲しい。誰も住んでいない古い市営住宅があるが，防犯上景観上からも解体した方が良い。笠岡市の美の浜サトヤマプロジェクト地区においては，縁石を市が設置するが，住宅を買った人は車の出入りが難しく，何十万円もかけて自費で縁石を撤去している。国策ではありますが，不要な縁石の設置をしない方法はないものでしょうか。 ・国道２号バイパス関連道路整備事業及び篠坂スマートICアクセス道路等整備事業は，笠岡市の発展に寄与する重要な施策です。市が直接の事業主体ではないことから，制約もあるかと思いますが，関係機関と連携しながら，引き続き施策の推進に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑴-④	市民の移動手段の確保
目指すまちの姿	持続可能な公共交通を構築し，だれもが移動しやすいまち	

主担当課
企画政策課

主な施策
①バス路線の再編・ダイヤ調整に取り組む。
②地域交通網全体の再構築に取り組む。
③地域主体による新たな移動手段の導入を図る。
④陸上・海上交通の事業者との対話を実施する。

関係課
まちづくり課
福祉総務課
地域福祉課
長寿支援課

ＫＧＩ　公共交通関連予算額(陸上交通，海上交通)　（千円）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	140,000	140,000	138,400	136,800	135,000
実績	143,319	142,850				
達成率	－	98.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　高齢者タクシー料金助成利用者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	3,061	3,100	3,150	3,200	3,250
実績	3,180	3,143				
達成率	－	102.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　地域運営組織が主体となって移動支援に取り組む地域の人口　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	12,300	13,000	13,170	13,340	13,500
実績	12,215	12,674				
達成率	－	103.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	157,081	239,210	232,399	183,038	187,919	842,566
	実績	157,081	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	146,675	198,797	191,986	182,625	187,506	760,914
	実績	146,675	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　地方バス路線維持補助金【該当施策No①②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	63,312	55,814	59,249	59,249	59,249
	実績	63,312				
うち一般財源	計画	62,906	55,401	58,836	58,836	58,836
	実績	62,906				
補助金交付		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

関係自治体（福山市，倉敷市，井原市，浅口市，矢掛町，笠岡市）で，地方バス路線維持のために補助を行い，地域住民の移動手段確保の一助とする。

2　離島航路維持【該当施策No②④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	60,349	80,589	70,343	60,982	62,863
	実績	60,349				
うち一般財源	計画	60,349	80,589	70,343	60,982	62,863
	実績	60,349				
補助金交付		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

離島航路の運航に関して補助を行うことで，持続可能な航路を維持し，島しょ部に暮らす方々の生活の安定と福祉の向上に資する。
※臨時的事業に関してはKGI積算に含まず

3　交通空白地解消事業【該当施策No①②③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	6,464	46,437	46,437	6,437	9,437
	実績	6,464				
うち一般財源	計画	6,464	6,437	6,437	6,437	9,437
	実績	6,464				
補助金交付		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

交通空白地の解消に向けた各種施策を実施する。
※臨時的事業に関してはKGI積算に含まず

4　高齢者タクシー利用助成事業　【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	26,956	56,370	56,370	56,370	56,370
	実績	26,956				
うち一般財源	計画	16,956	56,370	56,370	56,370	56,370
	実績	16,956				
補助金交付		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

運転免許証を返納するなどした75歳以上の高齢者が買い物や通院などを目的としたタクシー利用に対して補助することで，自ら移動する手段を持たない人の移動手段の確保に寄与する。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

バス路線について，運行事業者の乗務員不足等の影響によりダイヤの見直しをせざるを得ない状況にあったため，バス路線を補完する市民の移動手段の確保のために「タクシー料金助成事業マイナンバー移行」を行い，高齢者タクシー利用助成制度の利便性を向上させた。

また，「地域の移動支援事業」の充実にも努め，地域内の共助により，地域運営組織が主体となって移動支援に取り組む地域の人口の増加に努めた。

指標の実績：

KGI

（公共交通関連予算額(陸上交通，海上交通)

離島航路維持補助金の増額等により目標値には届かなかった。

KPI

（高齢者タクシー料金助成利用者数）

マイナンバーカード移行にかかる周知により，事業全体の登録者も増加したため，目標値を上回った。

（地域運営組織が主体となって移動支援に取り組む地域の人口）

神島外浦など，地域と協働して制度構築に努めたため，目標値を上回った。

自己評価理由：

市民の移動支援に関する新しい施策にも着手し，持続可能な公共交通の構築への第一歩となった。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

海上交通に関して，笠岡市の離島航路（国庫補助航路）である飛島六島航路と佐柳本浦航路について，離島航路運航にかかる経費が昨今の物価高騰や原油高により増大しており，かつ運航事業者の船員不足の問題により持続可能な運航の継続が難しい状況になりつつある。

また，国庫補助航路以外ではフェリー航路の持続可能な運航の維持がままならない状況となっていることから，フェリー事業者２者と持続可能なフェリー航路の維持確保に向けて協議を開始したところである。

陸上交通に関しては，バス路線の減便やダイヤ改正により交通空白地が拡充してきており，早急な対策が求められている。

対応：

離島航路に関しては，令和８年に離島航路改善協議会を立ち上げ，現在の補助航路のダイヤに見直し等持続可能な国庫補助航路の維持に向けた協議を行政，運航事業者とともに開始するとともに，当面，計画策定までの間，事業者の持続可能な運航を維持できるよう支援していく。

フェリー事業者との協議に関しても，長期的には国庫補助航路化を目指して関係者と協議するとともに，短期的に支援策を実施することが可能か検討を行う。

陸上交通については，国交省と協働で交通空白地解消に向けたパイロットプロジェクトに取り組むことで，官民連携で地域内の移動リソースや地域内の移動需要データを把握，分析し，効率的な事業展開に繋げていく。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
市民満足度の低下： 「公共交通の利便性の向上」の満足度がともに下落。年齢層別の要因分析と，全世代が快適に暮らせるまちづくりを要望。	関係機関ともしっかり情報共有するとともに，さらには財政負担も考慮しながら，陸上交通，海上交通を含め，持続可能な公共交通となるよう公共交通全体の見直しについて検 討してまいります。
利用者数の減少： 地域公共交通・路線バス利用者数が減少（前回は増加で残念）。旅客船利用者数も減少傾向で，島の人口減少やフェリー1社航路廃止が要因。	島しょ部人口の減少により，定期航路利用者は減少傾向にあります。離島航路改善協議会を開催し，事業者との意見交換も行いながら適正なダイヤの検証なども行ってまいりたいと考えます。
路線バスの負担： 市の負担額が大きい。路線見直しに際し利用者に不便をかけない配慮を要望。乗務員不足・便数減により利用者数はコロナ禍以下に。	バスの路線に関しては，利用の少ない路線の便数削減や他モードへの再編などの見直しを検討するとともに，バス事業者と協議をしながら，適正なダイヤの検討に取り組んでまいります。
タクシーチケット事業： 事業費が年々増加し，支える側の年齢層に不安感。持続可能な仕組みの早期構築を要望。一方で高齢者には有難い施策で，タクシー業者と連携した市民の足の確保を期待。	紙チケットをマイナンバー化し，１回の利用上限も撤廃したことで利便性の向上を図っております。引き続き，高齢者の移動支援施策として取り組んで参ります。
離島航路事業： 事業費増加で陸上交通以上に懸念。	島しょ部人口の減少により，定期航路利用者は減少傾向にあります。離島航路改善協議会を開催し，事業者との意見交換も行いながら適正なダイヤの検証なども行ってまいりたいと考えます。
まち協のサポート： 利用料金・補助金等の統一ルールの有無，不公平感が生まれない運用を要望	関係部局と協議をすすめながら，地域の移動支援事業を充実させ，交通空白地の解消に取り組みます。
総括： 少子高齢化・人材不足で施策難易度は上昇。バス廃止時に誰が困るか，必要な支援の規模は何かをゼロベースで検討する時期。市単独・他市町村連携の両面で抜本的な取組を期待。	関係機関ともしっかり情報共有するとともに，さらには財政負担も考慮しながら，陸上交通，海上交通を含め，持続可能な公共交通となるよう公共交通全体の見直しについて検討してまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・離島航路では非常に厳しい経営となっています。さらに陸上交通に関しても厳しい状況です。協議を進めてください。 ・地域運営組織（まちづくり２４地区のうち６地区等）が主体となって移動支援に取りくんでいることは重要だと思います。高齢者の免許返納で買い物難民が出ないようお願いします。 ・公共交通を市の力だけで維持するのは困難です。トップによる国への働きかけなどのいろいろな方策を打たれていると思いますが，それを市民に見せて現状を知っていただくのも大事だと感じます。 ・全ての指標でほぼ達成しているので順調としました。タクシー料金助成事業マイナンバー移行，上限見直しは好評です。しかし笠岡市の目指す「移動手段のかたち」がよく分かりません。公共交通，高齢者タクシー，地域運営組織が主体となる移動支援，チアサポートなど福祉関連，NPOの移動手段。総合的にどのような形を目指しているのか知りたいです。まちづくり協議会の交通事業費は進んでいる地域から早い者勝ちで上限もあるようです。進んでいない地域からすると羨ましい限りで，少し不公平感も感じています。財政も考えながら誰もが移動しやすい移動手段を考えるのは大変だと思いますが，引き続きよろしくお願いします。 ・運転が難しくなった高齢の親が，高齢者タクシー料金助成を利用し，大変助かりました。マイナンバーカードを活用した現在の運用方法については，タクシー事業者から不慣れによる戸惑いの声も聞きましたが，１円単位から使用できる利便性の高さやデジタル化の観点からも施策の方向性は適切であると考えます。引き続き，丁寧な周知・サポートに努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑵-①	快適な生活環境を守る
目指すまちの姿	みんなで循環型社会をつくり，快適な環境で暮らせるまち	

主担当課
環境課

関係課
下水道総務課
農政水産課

主な施策

①公共施設の省エネ化：公共施設への省エネルギー設備導入に努める。
②自然環境保護と生物多様性：自然環境保護と生物多様性への理解促進に努める。
③下水道整備と合併処理浄化槽整備により汚水処理を進める。
④畜産排泄物処理・堆肥化支援：畜産農家の排泄物処理・堆肥化を支援する。
⑤干拓地の畜産業に対する市民等の理解促進に努める。
⑥ごみ大百科や分別アプリにより分別方法を分かりやすく周知する。
⑦海洋ごみ・マイクロプラスチック対策：理解促進，家庭での分別徹底，清掃活動への参加促進により発生抑止を図る。
⑧小型家電リサイクル促進：制度啓発と資源ごみでの回収促進を図る。
⑨学校・住民向け出前講座で適正排出の知識普及と分別意識向上を図る。

ＫＧＩ　１人１日平均ごみ排出量　(g)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	837.8	823.1	804.3	804.3	804.3
実績	813.9	827.0				
達成率	－	101.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　市役所・一部事務組合の温室効果ガス(CO2)削減率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	39.0	39.3	39.6	39.9	40.0
実績	38.6	38.8				
達成率	－	100.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　海域・河川及び大気汚染に係る環境適合率　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	69.2	69.2	71.8	71.8	74.3
実績	69.2	66.7				
達成率	－	96.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　最終処分量　(t)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	1,212	1,169	1,121	1,100	1,020
実績	1,025	1,038				
達成率	－	116.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　笠岡市臭気報告アプリによる臭気感知報告件数　(件)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	3,000	3,000	2,000	1,500	950
実績	1,410	3,282				
達成率	－	91.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	197,547	214,114	212,535	217,291	209,901	853,841
	実績	187,303	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	162,245	172,698	174,858	179,614	173,724	700,894
	実績	154,942	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　ごみ減量化・リサイクル推進事業【該当施策No⑥⑧】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	71,976	73,349	80,520	75,232	76,189
	実績	65,732				
うち一般財源	計画	57,648	59,043	66,214	60,926	61,883
	実績	51,728				
・分別収集委託事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・収集施設設置補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

ごみ処理容器設置事業等補助金交付，ごみ減量化等対策策定，一般廃棄物処理計画策定，資源ゴミ回収補助，廃棄物減量等推進審議会開催・運営，環境衛生団体の指導育成，一般廃棄物の処理（委託契約を含む），一般廃棄物の処理手数料の徴収

2　ごみ収集業務【該当施策No⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	115,323	122,254	123,089	123,933	124,786
	実績	113,718				
うち一般財源	計画	97,877	103,583	104,418	105,262	106,115
	実績	97,072				
・廃棄物収集委託事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・収集施設設置補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民の排出した廃棄物（可燃物・粗大・不燃物）の収集。業務に使用する車両，船舶，施設の管理及び収集作業の安全管理，一般廃棄物処理手数料の徴収，一般廃棄物収集運搬業許可及び指導

3　環境保全施策推進事業【該当施策No②⑨】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,193	3,200	3,200	3,200	3,200
	実績	3,151				
うち一般財源	計画	3,193				
	実績	3,151				
・環境調査,測定事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・スマートエネルギー導入補助事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

地球環境保護，公害防止計画及び企業立地の環境保全対策策定，公害の発生源の監視及び規制指導，環境基本計画の策定，環境審議会の開催・運営，自然保護，環境に係る調査・測定，大気・水質・騒音・振動・悪臭防止，環境に係る届出受付，公害苦情に関する対応

4 臭気対策関連事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,744	14,426	5,226	14,426	5,226
	実績	3,800				
うち一般財源	計画	2,872	9,187	3,726	12,926	5,226
	実績	2,538				
・巡回指導		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・共同堆肥舎の管理		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・畜産クラスター事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・臭気対策補助事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・臭気報告アプリ活用事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

共同堆肥舎にて牛ふんの適切な処理を行うほか，畜舎内の施設整備や，専門家との巡回指導，臭気対策資材購入費への補助を行うほか，臭気報告アプリの予測データを活用し臭気発生確率を事前に農家に知らせて作業内容の確認をしてもらうことで，畜産農家の方の意識向上と，畜産環境の改善および臭気の低減につなげる。

５干拓地の産業に関する理解増進事業【該当施策No⑤】　（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,311	885	500	500	500
	実績	902				
うち一般財源	計画	655	885	500	500	500
	実績	453				
・畜産業PR看板設置事業		⇨				
・干拓地内農畜産業理解醸成事業		⇨	⇨			
・笠岡湾干拓地振興事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
干拓地内の農畜産業を紹介するバスツアーの実施や，学習・体験型のイベントを実施することで，理解醸成につなげたほか，臭気報告アプリを広く周知して報告件数の増加を図った。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

　ごみ袋の無料配布制度について，世帯構成によって多くのごみ袋が配布されることになり，不公平感が生じていたこと，また，一人暮らし世帯や高齢者世帯などの世帯が増え，ライフスタイルの多様化に対応するために，市の指定ごみ袋の容量と枚数の見直し，新たに１０リットルの可燃ごみ袋を作成しました。

　今回のごみ袋の配布容量，枚数の見直しによるごみ排出量の変化，組成調査による排出物の割合について検証し更なる資源化，ごみの減量化を進めていきます。(事業1.2)

臭気対策関連事業（事業4）：

　巡回調査【訪問回数】年2回 【訪問先】16農家，かぶとバイオファーム

　臭気対策資材購入補助金交付 7件

　臭気報告アプリモニター登録人数 延べ275人

干拓地の産業に関する理解増進事業（事業5）：

　笠岡湾干拓地バスツアー【開催回数】18回実施（7～11月）【参加人数】257名

　農フェスの開催【開催日】令和7年11月22日

指標の実績：

KGIに設定している１人１日平均ごみ排出量については，目標値を達成している。

KPI（市役所・一部事務組合の温室効果ガス(CO2)削減率,海域・河川及び大気汚染に係る環境適合率,最終処分量）についても，目標値を達成している。

KPI④（笠岡市臭気報告アプリによる臭気感知報告件数）：1,410件/年→3,282件/年と倍増。令和7年度の取組でアプリの周知とモニター登録を推進し，報告者の母数が多くなったことが要因。種々の対策により令和8年度には実績値を下げ，目標値を達成するよう取り組む。

自己評価理由：

　5指標のうち4指標は順調に推移しており，最終処分量については目標を大きく上回っていることから，全体的に順調と判定。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
臭気・環境対策： 継続的な臭気対策を要望。バイオマスタウン推進事業（830万円）は干拓から離れた地域で改善を実感。	バイオガス発電施設は約4,300頭の牛のふん尿を処理することができ，臭気対策としても有用であると考えます。しかし，干拓地内には1万頭を超える牛が飼養されており，引き続き臭気対策を進めていきます。
臭気対策： 令和7年3月策定のロードマップで見える化が進み期待感あり。アプリ「KABAR」の登録促進・有効活用を要望。入江地区（ビッグ周辺）では季節・風向きで牛ふん臭が残り，夕方の子ども送迎時に驚く場面も。市長交代で柱施策となった以上，成果・経過の丁寧な説明が必要。	干拓地内の農畜産業の理解醸成を目的としたバスツアーにて，臭気報告アプリの周知も行い，登録者数及び報告件数の増加につながりました。 作成したロードマップに基づき，事業を進めていくと共に，市民への丁寧な説明に努めます。
ごみ排出量とリサイクル率： 1人1日当たりごみ排出量は着実に減少する一方，リサイクル率は低下傾向。店頭回収等もあり指標としての再考も必要との意見。市民への徹底案内と継続的取組を要望。	市が集計するリサイクル率は減少していますが，それは市の回収ではなくポイントが得られる資源化物の民間による店頭回収を利用する方が増えたためであり，全体的なリサイクル率は向上していると考えています。指標の再考については来年度計画の見直しを行う際に検討することとし，またごみ排出量が減少するよう引き続き啓発に努めてまいります。
自然環境学習会： 参加者数が大幅増加。具体的な内容を確認したい。	令和５年度は中止になっていたカブトガニ博物館主催「カブトガニの幼生放流」が実施されたため。
ごみ出しルールの周知： 外国人や市外転入者にとってルールが難解。転入時のわかりやすい説明や，定期的な振り返り，地域住民・関係各所との連携による注意喚起を要望。	外国人へのごみの出し方には，外国語版（英語・中国語・ベトナム語）正しいごみの出し方・分け方パンフレット（ポスター）を作成し周知を図っています。外国人に内容を理解してもらい，ごみの不適正排出削減に向け，関係者と連携しながら必要な対策を図ってまいります。
ごみ袋のサイズ： 現行サイズが大きく週1枚で対応している市民もいるが，夏場は小さい袋で2回出したい等のニーズあり。市民の声を反映した笠岡市に適した方式の検討を要望。	新たに可燃10Lのごみ袋を作成し，ごみ袋の交換対応を行っており，市民のニーズに応える対応を進めています。
減量化・資源化： 取り組む市民の割合に大幅改善が見られず，有料ごみ袋導入が転機となる必要性が高まっているとの意見。	指定ごみ袋の超過従量制から単純従量制への移行について，市民生活への影響を鑑みながら，導入に向けての調査・検討を続けてまいります。
財政負担： ごみ処理に関する市税負担は大きく，市民の協力促進が重要。	同上

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調	順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント
・臭気感知報告件数が多くなっています。順調とは言えないのではないでしょうか。 ・ＫＧＩ，ＫＰＩとも順調です。ただし，臭気に対しては日によって臭う時があり（入江地区），ＫＡＢＡＲのアプリでの臭気報告が多くなっていること（報告協力者が増えていること）は良いことだと思います。 ・定住促進のためにも臭気問題の抜本的解決を期待します。 ・ほとんどの指標が達成なので職員の皆様はしっかり取り組んでくださっているのだと評価します。しかし，快適な生活環境かと問われれば否です。個人的にはバイオガス発電稼働により少し改善したように感じていましたが，R7年度に関しては悪化したようで一種の公害に匹敵するのではとさえ思ってしまいます。（目に痛みを感じたり気分が悪くなったりします）きちんと対応してくださっている畜産業者への誹謗中傷など被害なきようご配慮いただきながら，臭気対策をお願いしたいと思います。 ゴミ袋の10リットルサイズは大変好評です。引き続き，ごみ減量に市民も意識を持つことが大切です。 ・ごみの焼却熱を有効活用した環境にやさしい温浴施設は，資源の有効活用と市民の健康増進の両面において意義ある取組です。より多くの市民に利用していただけるよう，引き続き積極的な周知・広報に取り組んでください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑵-②	安全・安心な暮らしと災害に強いまちづくり ◎総合戦略
目指すまちの姿		市民ひとりひとりの防災・減災・防犯意識の向上により，安心・安全に暮らせるまち

主担当課
危機管理課

主な施策
①実践的な防災・避難訓練を実施し，防災意識の向上を図る。 ②防災士をリーダーとした自主防災組織の活性化を図る。 ③ハザードマップを更新し，市内に周知する。 ④消防団応援事業所登録要綱に基づく優遇措置を促進する。 ⑤学校・関係機関と協働したヘルメット着用啓発活動を推進する。

関係課
まちづくり課
消防総務課

ＫＧＩ◎ 実践的な防災・避難訓練の実施件数 **（件）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	10	15	20	25	30
実績	3	10				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ 防災士の資格取得者 **（人）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	111	119	127	135	149
実績	103	111				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ 消防団員数 **（人）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	886	890	894	897	900
実績	882	853				
達成率	－	96.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 消費者被害の防止等をテーマとした出前講座による啓発 **（回）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	18	18	19	19	20
実績	20	10				
達成率	－	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ 人口1万人当たりの交通事故(人身)発生件数 **（件）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	18	18	19	19	20
実績	22	17				
達成率	－	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	709	5,401	671	671	1,054	7,797
	実績	620	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	454	1,246	416	416	607	2,685
	実績	365	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　防災士資格取得支援事業【該当施策 No.②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	511	511	511	511	894
	実績	511				
うち一般財源	計画	256	256	256	256	447
	実績	256				
受講費助成		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

地域の防災リーダー育成を目的として，自主防災組織から推薦を受けた方に対し，防災士資格取得に必要な受講費を全額補助する。

岡山県の「防災まちづくり総合支援事業」を活用し，事業費×1/2の助成を受けている。

2　ハザードマップ作成事業【該当施策 No.③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	－	4,730	－	－	－
	実績	－		－	－	－
うち一般財源	計画	－	830	－	－	－
	実績	－		－	－	－
ハザードマップ作成		－	⇨	－	－	－

左欄の事業内容

各種災害想定区域や指定避難所を最新の情報に更新するとともに，高潮浸水想定区域，津波災害警戒区域を新たに加えたものを作成する。

財源として，企業版ふるさと納税3,900千円を活用する。

3　ヘルメット着用啓発活動【該当施策No.⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	198	160	160	160	160
	実績	109				
うち一般財源	計画	198	160	160	160	160
	実績	109				
購入費助成		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

交通教室等でのヘルメット着用を指導するとともに，ヘルメット購入費助成を行い，着用推進を図る。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

本市では，自主防，消防団，婦人防火クラブ等を対象として，これまで多くの防災士養成に係る支援を行ってまいりましたが，更なる地域防災力向上を図り，８名の方に講座を受講いただきました。(事業1)

全国的な課題となっている消防団員数の減少に対しては，持続可能な体制の構築を目指し，地域課題として団員確保の協力を呼びかけるとともに，団員の声をお聴きしながら，処遇改善や運営環境の整備に取り組み，消防団活動の活性化を図りました。

人口１万人当たりの出火率（管内）は，市民皆様の防火意識の向上に加え，当該期間における降水量の増加など気象条件による影響もあり，目標を達成することができました。

住宅防火対策の推進につきましては，対面式と非対面式による診断を並行しつつ，一人暮らしの高齢者住宅にスポットを当てて住宅防火対策の推進に努めました。また，地元に根付いた婦人防火クラブのご支援とご協力を得ながら，防火意識の啓発を図りました。

防火対象物の防火安全対策と危険物施設の保安対策は，立入検査等に時間と人員を割くことが難しかったことから，対応策として危険度を総合的に判断した効率的かつ効果的な立入検査の実施を図り，同時に職員の人材育成の意味合いを持たせ，計画的に立入検査を実施しました。

出前講座による消費者被害防止等の啓発については，地域によって消費生活センターと警察に交互に依頼している関係から，７年度は警察への依頼に偏ったため，前年度と比較し減少しています。

交通事故の発生件数については，交通教室等の開催を通じ自転車乗車中のヘルメット着用の重要性を伝えることができました。(事業3)

指標の実績：R7（2025）年度

【実践的な防災・避難訓練の実施件数】10件（R11目標：累計30件）

【防災士の資格取得者】累計111名（R11目標：累計149件）

【消防団員数】現員853名（R11目標：900名）

【消費者被害の防止等をテーマとした出前講座による啓発】10回（R11目標：20回）

【人口1万人当たりの交通事故(人身)発生件数】17件（R11目標：20件）

自己評価理由：

消防団員数は，分母となる人口増減に起因する面もあるため，更なる活性化活動，装備や処遇改善などの改善策を講じていく必要がある。総じて，おおむね全ての指標において，目標数値の95％以上達成できたことから「順調」としたものです。

なお，消費者被害防止等の出前講座件数は，目標18件に対して実績10件となっていますが，これは依頼元の意向で内容に偏りが生じないよう警察と市へ交互に依頼したため件数に偏りが生じたもので，市の講座のみでは目標に達していないものの，啓発そのものは順調に行われたと判断しています。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

消防団員数は，総人口や少子高齢化による若年層の減少等に起因する面もありますが，本業を持つ人や都市部へ通勤する人の負担増や地域コミュニティの希薄化などが考えられるため，更なる活性化活動を行うとともに，装備や処遇などに係る改善策を講じていく必要があります。

対応：

幅広い年齢層を対象とするようなイベントに積極的に参加し，消防団の意義そのやりがい等とともに行事や訓練等の活動を紹介することで，防火防災の啓発と同時に団員の減少抑制や増加を図ります。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
出火率の改善： 人口1万人当たりの出火率が前回の半分に減少しており高評価。	出火率の減少については，市民の皆様の防火意識の向上に加え，当該期間における降水量の増加など気象条件による影響も含まれているものと分析しております。今後も多様な媒体を用いた防火啓発活動の強化，地域の防災ネットワークとの連携緊密化を図り，低水準の出火率を維持・定着できるよう，予防消防の取り組みを継続してまいります。
消防団員数の減少： 消防団員数・女性消防団員数の減少が課題。持続可能な体制構築のため，まちづくり協議会等で地域課題として議論する提案。消防団手当改定について団員の声に耳を傾け，活性化を図ることを要望。	人口減少や高齢化，担い手不足などの理由から，消防団員数の減少は全国的な課題となっていますが，持続可能な体制の構築を目指し，今後，地域課題として団員確保のご協力を呼びかけてまいります。また，団員の声をお聴きしながら，処遇改善や運営環境の整備に取り組み，消防団活動の活性化に努めてまいります。
研修費用： 各種研修費用が前年度比約300万円増加した具体的内容を確認したい。	前年度に比べて新規採用職員が３名増加した結果，計８か月の長期にわたる初任教育及び救急科に係る費用が増加しました。また，遠方（茨城県及び福岡県）で開催された研修へ３名派遣したことにより費用が増加したものです。
住宅防火診断： 件数が伸び悩んでおり，他機関との調整や高齢者世帯への地域協力による点検など代替手法の進展状況を確認したい。	住宅防火診断につきましては，福祉部局との調整が特に必要と考えております。 昨今，訪問自体を断られるケースが多く，大変苦慮している状況です。代替手法として自らが行う住宅防火診断チェックリストの作成や住宅防火を目的とした防火PRを実施し，火災予防意識の高揚を図っております。消防本部単独での訪問には限界があるため，今後も対面式の診断と並行しながら，デジタルツールを活用した非対面式による環境を整え，住宅防火対策の推進を図ってまいりたいと考えております。
立入検査： 防火対象物・重大違反防火対象物・危険物施設立入検査の達成率が伸び悩み。市民の安全のため継続的取組を要望。	防火対象物の立入検査については，ズームを用いた通信査察を取り入れるなど新たな取組みを実施しているところです。 重大違反防火対象物についてですが，不特定多数の者が出入りする特定防火対象物についてはございません。従業員など限られた人のみが使用する非特定防火対象物については，今後も継続的に是正指導及び現場確認を行ってまいります。 危険物施設の立入検査については，専門性が非常に高く，また，施設が広大である場合には査察に長時間を要するため危険物施設の査察に苦慮している状況です。今後も，職員の育成並びに底上げを図るとともに，年間を通じて査察が実施できる体制の構築を考えてまいります。
対応策の評価： 未達成指標への対応策が具体的に記載されており，市民のための活動が伝わると評価。来年度の改善に期待。	本年度の結果を十分に活かし，より実効性の高い施策展開に取り組んでまいります。引き続き皆様のご意見をお聴きしながら，施策の改善と充実に努めてまいります。
市民満足度の低下： 「地域防災の推進」の市民意識調査の満足度が減少しており気がかり。	「地域防災の推進」の満足度が減少していることは重要な課題です。自主防災組織の取組に温度差があり，高齢化や組織体制の問題が影響していると認識しています。地域防災マネジャーの活用等により，地域防災力の強化に一層取り組んでまいります。

防災士・地域訓練： 防災士は増加しているが，地域密着訓練の参加者数が伸び悩み。前回は増加だっただけに継続的取組を要望。他の指標はほぼ上昇または現状維持で全体的に評価。	防災士の方々には，地域防災の中核を担っていただいています。一方，訓練参加者数の伸び悩みに対しましては，今後は主対象地域を設定した集中した訓練の推進により，地域の協同意識向上とともに，より実践的な地域防災力の向上を図ってまいります。
備蓄品の有効活用： 賞味期限が近い備蓄品はイベントや子ども食堂等で活用し食品ロス削減を要望。防災備蓄管理アプリ等の活用状況を確認したい。	賞味期限が近い備蓄品は，防災訓練や出前講座，防災イベントの非常食ブース等で活用しており，さらに余剰分は，社会福祉協議会等への提供により食品ロス削減に取り組んでいます。また，内閣府が提供する物資調達システムを活用し適切な管理を徹底しています。
市民への啓発：消防団員減少の中，市民一人一人が研修で知識を身につけ支え合う体制づくりが必要。まずは現状を市民に知ってもらうことが重要。	消防団員の減少は全国的な課題となっていますので，今後，訓練や出前講座を活用し，自助・共助・公助の概念を市民に周知するとともに防災士の育成と活動強化により，地域防災力の充実に努めてまいります。
山火事・消防団： 山火事増加で自助による消火活動が働き盛り世代の経済的負担に。「消防団に入らない」という選択につながらないよう，手立て・調整の議論を期待。	本市では，令和4年4月から年額報酬を1万9,500円から3万6,500円に，火災の出動手当を2,000円から8,000円に引き上げています。今後も団員の声をお聴きしながら，さらなる処遇改善と活動環境の整備に取り組み，働き盛り世代の入団促進に努めてまいります。
LINE配信サービス： 登録時の入力項目が多く煩雑な印象。よりシンプルな登録方法への改善を要望。	登録画面の改善などにより，より簡単で分かりやすい登録方法の実現に向けて関係部署と協議し，登録手続きの簡素化について検討してまいります。
犯罪・交通事故の増加： 人口千人当たりの犯罪発生件数，人口1万人当たりの交通事故発生件数が2年連続増加。巧妙化する犯罪に対し，市民意識の向上と更なる啓発活動を要望。	警察並びに防犯・交通関係住民団体と連携し，年間を通じて，またシーズン毎の啓発活動を行い，市民意識の向上を図ります。なお，特殊詐欺の多発など緊急度が高い場合は，市メール配信を活用して速やかな情報提供により注意喚起を行います。
防犯活動登録団体数の減少： 減少の背景・要因を確認したい。	構成員の家庭の事情や高齢化により継続した活動が困難になったことが主な要因です。
消費生活相談窓口： 利用件数減少と出前講座の効果との関連を確認したい。出前講座は近年まれにみる回数で市民の関心の高さを実感，継続的な情報提供を要望。	R6年度は前年度と比較し相談件数が減少していますが，その割合は約5％であり，出前講座との関連は確認できません。ただ相談窓口であっても出前講座であっても，相談対応や市民への情報提供は最新の傾向を把握した上で行ってまいります。
高齢者交通安全教室： 参加人数の激減理由を確認したい。高齢者の予測不能な運転への遭遇が増加しており，歩行者・自転車等の交通弱者への配慮も必要。	コロナ禍以降も高齢者施設への訪問は復活せず，また敬老会での交通講話などもなくなり，高齢者の交通安全教室への参加人数は減少しました。ただ，交通弱者の保護は全県を挙げての重要課題であり，今後もあらゆる機会を通じて啓発を行ってまいります。
自転車通学範囲拡大： 笠岡東中学校が自転車通学範囲を段階的に全地域へ拡大予定。各学校での交通ルール徹底と交通事故防止対策を要望。	警察との連携により各学校で交通教室を開催し，歩行及び自転車乗車時の交通安全学習を行ってまいります。
消費者被害： ネット社会の進展で新たな被害形態が増加。継続的な啓発を要望。	知識不足が原因となる通販トラブルや詐欺被害が増加しており，最新の傾向を把握した上で啓発を行ってまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・消防団員数が減少しています。96％であり順調となっていますが，若干厳しい数値です。さらに出前講座の実績が減少しています。 ・人口１万人辺りの交通事故（人身）発生件数は目標内になっています。今後も自転車での事故に対応するため，ヘルメット着用啓発活動の継続や学生への交通教室で交通ルールの徹底を計ってください。 ・ほとんどの指標で達成しており，未達成の出前講座に関しても理由を配慮し順調と判断しました。 消防団員数の減少に関しては参加率の低い団員をチェックしたり，処遇の改善や環境整備をしたり団員に寄り添った対応をしてくださっており安心しました。消防団員の必要性と，団員と家族に対する優待ポイントをさらに前面に出して協力者を増やしていってほしいと思います。 中学生までのヘルメット着用率は高いが，高校生に関してはまだまだなので引き続き啓発活動をお願いしたい。 学校教育でもR8年度は「実践的な防災教育推進事業」を掲げています。災害の少ないところで育っても知っておかねばならない知識なので防災意識を高めていってほしい。 ハザードマップのデジタル化に期待しています。 ・消防団員の業務は，火災対応にとどまらず，水害対応や行方不明者の捜索など多岐にわたり，その重要性は増しています。引き続き，人員確保と処遇改善の両面から取り組みを強化してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	2-⑵-③	地域コミュニティの充実と広域連携の推進 ◎総合戦略
目指すまちの姿		人と人がつながり，地域が支え合い，広がる協働の輪で未来をつくるまち

主担当課
まちづくり課

主な施策
①まちづくり協議会等の主体的活動を支援し，小規模多機能自治を推進する。 ②島しょ部の実情に応じた取組を推進・支援する。 ③研修会・講座，相談窓口等により市民活動団体を支援する。 ④備後圏域・国際交流協会と連携し，日本語学習機会と支援人材育成を図る。 ⑤各都市との交流事業を充実する。 ⑥高梁川流域圏・備後圏域・井笠圏域の3圏域連携による生活サービス向上を図る。

関係課
企画政策課

ＫＧＩ◎ まちづくり協議会の活動など地域活動への参加率 （%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	24.1	24.9	25.7	26.6	27.5
実績	23.2	ー				
実績	－	#VALUE!	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 市民活動支援センター相談件数 （件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	105	105	105	105	105
実績	103	185				
達成率	－	176.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ 日本語教育に関する講座の年間参加者数(日本語講座，やさしい日本語講座，日本語学習支援者養成講座等の受講者数) （人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	580	580	580	580	580
実績	460	577				
達成率	－	99.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ 国内外の友好都市交流事業の年間参加者数 （人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	545	564	582	601	620
実績	526	528				
達成率	－	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 3圏域（高梁川流域圏，備後圏域，井笠圏域）での連携事業数 （件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	135	135	135	135	135
実績	133	143				
達成率	－	105.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	113,774	91,683	86,509	85,582	102,528	366,301
	実績	112,300	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	92,897	74,091	25,325	24,398	40,159	163,973
	実績	95,950	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 地域運営組織支援事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	43,911	50,139	49,920	49,920	49,920
	実績	41,557				
うち一般財源	計画	28,611	34,739			
	実績	26,242				
・魅力あるまちづくり交付金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・地域の移動支援充実化実証事業			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

地域運営組織に対し，まちづくり協議会の運営及び活動の支援とともに，市民の認知率の向上のため周知啓発を，また地域担当職員の意識・能力向上のため連絡会や研修等を実施する。

2 離島生活支援事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	11,637	12,351	12,721	13,102	13,495
	実績	11,637				
うち一般財源	計画	11,637	12,351	12,721	13,102	13,495
	実績	11,637				
・飛島集落維持対策事業委託料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・離島生活支援事業委託料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡諸島の住民の見守りや生活支援を行う集落支援員を任命し，島民の生活環境の向上を図る。

委託先：NPO法人島づくり海社，一般社団法人飛島学園

〇特別交付税あり

3 離島留学支援事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,690	4,852	4,997	5,146	5,300
	実績	4,542				
うち一般財源	計画	2,345	2,426	2,499	2,573	2,650
	実績	2,271				
離島留学支援補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

一般社団法人飛島学園が実施する離島留学（はぐくみ留学）の運営を補助することにより，交流人口の増加を図り島内行事の活性化を図る。

〇離島活性化交付金

4 就学支援事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,412	1,416	1,416	1,416	1,416
	実績	600				
うち一般財源	計画	592	575	575	575	575
	実績	241				
・離島高校生就学支援補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・離島小中学生交通費支援事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡諸島に住む小中学生及び高校生に対し交通費等を補助することにより学習及び就学支援を図る。

5 市民活動との協働推進事業 【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	14,616	15,783	10,062	10,062	10,062
	実績	14,474				
うち一般財源	計画	9,553	14,793			
	実績	13,634				
・市民活動支援センターアドバイザー事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・市民活動支援センター事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・市民活動未来づくり事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民活動支援センターを拠点として，各市民活動団体の活動支援や市役所との連携等を推進する。

市民活動の活性化を推進するため，地域住民や住民自治組織に対し，各種補助等を実施する。

6 在住（定住）外国人支援事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,125	4,005	4,005	4,005	4,005
	実績	3,608				
うち一般財源	計画	4,125	4,005	4,005	4,005	4,005
	実績	3,608				
笠岡国際交流協会負担金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

笠岡国際交流協会と協働し，在住外国人の日本語の習得を支援するための日本語講座や，日本語指導ボランティア養成講座，やさしい日本語研修の実施を通じて，在住外国人生活支援を行う。

7 国内外の友好都市交流事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,769	1,539	2,305	1,378	3,284
	実績	1,862				
うち一般財源	計画	1,769	1,539	2,305	1,378	2,099
	実績	1,862				
固城郡交流事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
コタバル市交流事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
交流事業推進助成金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

国内外の友好都市等との交流を促進し，相互の発展につなげていく。また外国人との交流の機会を提供するなど市民の多文化共生の理解を深めるとともに，外国人が生活しやすい環境をつくる。

8 備後圏域連携事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	31,722	17,915	17,915	17,915	17,915
	実績	34,415				
うち一般財源	計画	31,722	17,915	17,915	17,915	17,915
	実績	34,415				
産業支援事業，DX推進事業等		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

備後圏域において，各市町単独で行っていた事業の連携推進や圏域で行うことでのスケールメリットを活かした事業を推進する

9 高梁川流域連携事業【該当施策No⑥】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	17,006	1,052	1,052	1,052	16,092
	実績	16,092				
うち一般財源	計画	17,006	1,052	1,052	1,052	16,092
	実績	16,092				
観光振興事業，地理情報システム更新事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
高梁川流域において，各市町単独で行っていた事業の連携推進や圏域で行うことでのスケールメリットを活かした事業を推進する

10 井笠圏域連携事業【該当施策No⑥】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	625	1,250	1,250	1,250	1,250
	実績	292				
うち一般財源	計画	111	48	48	48	48
	実績	97				
イベント応援・結婚推進事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
井笠圏域において，各市町単独で行っていた事業の連携推進や圏域で行うことでのスケールメリットを活かした事業を推進する

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

・地域運営組織支援事業（事業１）：令和７年度は，活動交付金に関して19地区59の活動の申請があった。
・離島生活支援事業（事業２）：島しょ部では，高齢化率が76パーセントを超え，人口減少が進む中で，住民生活の向上に資する通所介護施設の運営支援等の取り組みを実施することで，いつまでも安心して暮らし続けることができる環境づくりに寄与することができた。
・ 離島留学支援事業（事業３）：国の離島活性化交付金を活用し，地域の各種行事に参加し，住民との交流をとおして子どもの自主的な成長を促す離島留学の取り組みを支援することで，市内外の不登校児童生徒８名の状態改善に寄与するとともに，地域のコミュニティや各種活動の維持・継続を図ることができた。
・就学支援事業（事業４）： 高等学校等へ通う学生５名に補助を行い，離島に住み続けながら高等学校等へ通うことができる一助となった。また，島しょ部で暮らす小中学生９名に対し，普通船相当額の航路運賃を助成し，陸地部に暮らす小中学生と同様に団体スポーツ活動や各種習い事，学習塾等の課外学習への参加の機会均等を図ることができた。
・市民活動支援センター運営事業（事業５）：研修・講座等19回開催，市民活動センターでの各種相談受付数185件。各研修や講座等への参加者数158名。
・在住（定住）外国人支援事業（事業６）：日本語講座：378人／88回，やさしい日本語研修会87人／2回，日本語教育講座112人／15回。令和7年度から5年間「びんご圏域多文化共生推進ビジョン」を実施し，多文化共生の取組を推進している。また，笠岡国際交流協会と連携し，令和7年度は新たに「KIEA食（フード）フェスタ」を開催するなど，国際理解を深める事業に取り組んだ。
・国内外の友好都市交流事業（事業７）：固城郡交流事業：人事交流１人（半年間），青少年海外交流13人（3泊4日），コタバル市交流事業：468人，大田市交流事業　46人（2団体）。例年実施している姉妹都市固城郡中学生のホームステイ（派遣）に加え，職員の人事交流派遣を実施した。また，ワコースポーツ・文化スポーツ財団と協働し，友好握手都市コタバル市との学生交流事業を行った。
・圏域連携事業（事業８～１０）：高梁川流域圏・備後圏域・井笠圏域の3圏域連携による圏域連携事業を積極的に推進した結果，流域連携事業は前年度比で1件減少したものの圏域連携事業は11件増加し，全体では前年度比10件の増加となった。また目標値を8件上回る実績となり，圏域における生活サービスの維持・向上に向けた連携の推進を図ることができた。

指標の実績：
・KGI①：運営交付金　28,783,756円（24地区），活動交付金：12,647,217円（19地区59活動）。各地区の活動を支援する交付金に関しては，令和６年度41,048千円から41,431千円に増加。
・KPI①（市民活動支援センター相談件数）：103件→185件
　市民活動団体等からの相談件数：104件　まちづくり協議会（地域組織）からの相談件数：81件
・KPI②（日本語教育に関する講座の年間参加者数）：460→567人と増加。
・KPI③（国内外の友好都市交流事業の年間参加者数）：526→528人と微増。
・KPI④高梁川流域連携事業は前年度比1件減少した一方で，備後圏域連携事業は11件増加し，全体では10件の増加となった。実績は目標値を8件上回っており，圏域連携による生活サービスの充実に向けた取組が進展した。

自己評価理由：
　全事業において，KGI/KPIが目標値に向け概ね想定どおり推移しており，現行取組継続で達成見込みのため。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」は必須
課題： １地域運営組織支援事業：まちづくり協議会の高齢化が進んでおり，多様なニーズがあるが対応できる人数が限られている。また，まちづくり協議会の活動をより知ってもらうための周知なども必要。 ７国内外の友好都市交流事業：年によって実施する友好都市交流が異なり，年間参加者数が伸び悩んでいる。
対応： １地域運営組織支援事業：小規模多機能自治を進め，地域住民が行政と連携しながら課題解決に取り組むことで，1人の役割の負担を軽減できるよう努める。 ７国内外の友好都市交流事業：学校と連携し，学生同士の交流を主眼に置いた交流事業を実施していく。 ８～10：引き続き連携事業の継続に努める。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
交流事業の成果： 大田市交流事業の年間参加者数や日本語講座受講者数の増加は評価。	財政健全化プランにより大田市交流事業の限度額を減額しましたが，例年並みに交流が行われています。今後も交流補助金の周知を徹底し，市民間の交流を促進します。また，やさしい日本語研修会を広く住民を対象に開催し，多文化共生を推進してまいります。
白石島国際交流ヴィラ： 年間宿泊数の急減理由を確認したい。運営支援の継続状況も知りたい。	令和5年はコロナ禍明けの変動で前年比約3割の利用者の伸びがありました。それに比べて令和6年は利用者数は伸びませんでしたが，白石・島づくり委員会と運営方法の見直を行い，令和7年は前年比約２割の利用者の伸びがあります。今後も運営方法について見直しを行いながら，運営してまいります。
語学・国際交流事業： 年間参加者数の急減理由と，参加者増加に向けた取組を期待。	令和6年度より定期語学講座の減少により，参加者数が減となりました。今後は学生間の交流に重きを置いた交流事業を実施していくことで，交流機会を創出し，国際的な視点の育成に努めてまいります。
在住外国人支援： アンケートの活用方法を確認したい。日本語講座を通じた言葉の壁の解消や，市民との交流イベントの継続を要望。	アンケートをもとに，備後圏域７市２町で多文化共生の取り組みを推進していくため「びんご圏域多文化共生推進ビジョン」の策定を行いました。また，KIEA食（フード）フェスを開催するなど形を変えながら，笠岡国際交流協会による日本語講座の開催，交流イベントを引き続き実施してまいります。
多文化共生： 人口減少下で外国人の担う役割が重要化。日本人と外国人の共生に向けた取組継続を要望。	外国住民の増加及び多国籍化が進み，外国人労働者のこどもも増えてきています。小中学生を支援する日本語学習などにも取り組み，地域社会の構成員としてともに生きていく多文化共生を推進してまいります。
今後の課題： 笠岡市は労働目的の移住者が多いため，ニーズ把握や生活様式の違いから生じるトラブルも踏まえ施策評価に反映を要望。地域社会を支える外国人の存在を市民に広く知ってもらう周知も必要。	やさしい日本語研修会など日本語教育に関する講座の開催，国際交流事業による多文化共生への理解，広報の充実を図り，外国人住民も地域をつくる一員として活躍できるまちづくりを目指してまいります。

小規模多機能自治： 　市長が推進する場合，地域差によりコーディネーターの負担は大きくなる懸念。意見交換・情報共有を密に行い，温度差のある地域にも諦めない対応を要望。	地域や団体に向けての学習会の開催や課題共有と情報交換の機会を設けるなど，地域の進捗状況に応じて伴走支援し，負担軽減と地域間の温度差解消に取り組んでまいります。
まちづくり協議会の認知率： 　認知率・参加率ともに低下傾向。すぐの増加は難しいが，着実な活動推進を要望。働き盛り世代への認知度は低いが，利用世代への認知度は上昇している可能性。	市ホームページを通じた各協議会の活動状況の掲載や，まちづくり活動報告会の開催などを通じて認知度の向上に取り組んでおります。また，まちづくり計画の策定・見直し支援の機会などを捉え，地域住民や各種団体の参画を促すことで，より多くの方にまちづくり協議会の存在や役割を理解していただけるよう引き続き取り組んでまいります。
補助金の運用： 　「補助金が取りやすい」との声もあり，市民が自由に使えることは評価しつつも，今以上の精査が必要との意見。	特に，今年度から始まった移動支援に関しては，今後一定の基準を設け，市民にどういった活動にどのくらいの補助金が充てられているか，分かりやすいホームページや資料の提供方法を考えてまいります。
地区計画の進展： 　地域担当職員・市民活動支援センターのサポートにより計画策定に動き始めた地区があり感謝。多くの市民が少しずつ協力する地域づくりを理想とし，継続支援を要望。	職員研修や地域の方への勉強会を実施することで，今後も各地区の課題解決のために必要な施策や支援方法を住民と一緒に考えるよう努めてまいります。
市民活動支援センター： 　利用者数減少が研修会・講座参加者数への振替によるものか確認したい。 利用者数が目標の60%台で推移する中，目標値の根拠と，未達なのにR7年度目標が増加する理由を確認したい。事業のリピーター・参加者定着が進んでいる可能性。	市民活動支援センターは，笠岡市内の多様な主体をつなげることを目的としたイベントを各種開催しており，センター主催の研修会や講座にはリピーターとしての参加者もいらっしゃいます。利用者数については，コロナ禍以前の水準には完全には回復できていない面もありますが，市民活動団体やまちづくり協議会への様々な支援を働きかけながら，より多くの市民活動団体との連繋強化を図り，センターの利用促進に努めてまいります。
高齢者の参画： 　生きがいとしての「まちづくり」参画も重要。市民参画・協働の推進継続を要望。	まちづくり協議会の活動内容を多くの住民に知っていただき，一緒に課題解決に取り組むことによって，自身が住む地域への貢献や生きがいを感じていけるような「まちづくり」を推進します。行政もそのために必要な交付金や仕組みづくり，場所等の提供など各地区に応じた支援を考えてまいります。
離島振興のあり方： 　島での穏やかな暮らしを望む高齢者もおり，さじ加減は難しい。住み続けられる島づくりと活性化推進の両立を要望。	島しょ部は高い高齢化率が続く中で，高齢者の介護問題や見守りは重要度を増しています。また高齢化による担い手の不足により地域行事の実施も難しくなっています。島での穏やかな暮らしを送っていただくためにも，見守りや相談体制の強化，島内行事の手助けとなる交流人口の増加が必要と思われます。
域学連携事業： 　対象となる学生・市民の更なる拡大を要望。	令和７年度に高総合的な探求の時間ACT「地域学」を実施しましたが，今後も引き続き努めてまいります。
3圏域連携事業： 　目標達成しており，引き続き連携推進を要望。	引き続き広域連携の推進に努めてまいります。

広域連携の重要性：	令和６年度と比較して１０件事業数が増加しました。引き続き広域連携の推進に努めてまいります。
笠岡市単独では効果が限定的なケースがあり，効果を高めるための広域連携を継続要望。次の施策ではより多くの広域連携が必要との認識。笠岡市の財政状況を踏まえると，広域連携が今後のキーになる。近隣市町村や高梁川水系などとの広域連携を活かした取組推進を期待。	

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・多くのＫＰＩの数値が順調です。国内外の友好都市交流事業が順調であり，白石島国際交流ヴィラも伸びています。
・飛島学園の離島留学（はぐくみ留学）は全国から来ている不登校の生徒が伸び伸びと暮らせ，１人暮らしで高齢の島民にも挨拶したり，食事を貰ったりして，島民も元気や刺激を貰っていて良いことだと思う。また，広域連携事業は人口が減少傾向な今だからとても重要です。
・広域連携は連携事業数以上に連携内容が大事だと思います。広域連携事業ならではの成果をあげられることを期待します。
・小規模多機能自治に向け，職員の皆様のご尽力に感謝しています。また地域担当職員の関わり方に関しては今まで以上に濃いものになってくるので職員の負担に配慮が必要と思います。
地域運営組織支援事業における活動交付金は審査の上に出されていますが，地域にとって優先順位を考えた際必要なものなのか理解できないという声も聞きます。地域の自立性を尊重している市の姿勢も大切ですが，まちづくり協議会の年度末の評価についても自身が行うのではなく，もっと多くの地区民の意見を反映した客観的なものにすべきではないでしょうか。また会長，事務局は引き継ぎ後もスムーズにいくようマニュアルのようなものが必要では。事業費は私たちの税金です。地域の自立性も大切にしながら市として客観的に指摘してほしいです。持続可能なまちづくり協議会を考えるのであれば，現役役員だけでなく，これからの地域を担う世代，若者を巻き込む必要があるのではないでしょうか。
・限られた行政資源を有効に活用し，効率的な行政運営を実現するため，引き続き近隣自治体との広域連携を推進してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑴-①	すべてのこどもの成長を支える環境づくり ◎総合戦略
目指すまちの姿		子育て環境の充実により仕事と家庭の両立ができるまち

主担当課
こども育成課

主な施策
①再編整備計画を策定し，計画的に実行する。 ②処遇改善と職場環境整備を進める。 ③放課後児童クラブの希望者全員の受入体制確保とニーズに基づくサービス充実 ④ニーズに基づいた適切な保育サービスを実施(既存事業の継続，乳児等通園支援事業等の新規実施)

関係課
子育て支援課

ＫＧＩ◎ 待機児童数 （人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	0	0	0	0	0
実績	0	0				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 保育施設の定員 （人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	1,244	1,244	1,244	1,244	1,244
実績	1,244	1,077				
達成率	－	86.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎ 放課後児童クラブの定員 （人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	755	755	755	755	755
実績	755	755				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況 R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	1,393,223	1,729,739	1,726,001	1,693,501	1,693,501	6,842,742
	実績	1,616,518	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	467,066	729,204	734,366	731,866	731,866	2,927,302
	実績	677,879	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　公立認定こども園管理運営事業【該当施策No①②④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	213,132	393,510	393,510	393,510	393,510
	実績	353,770				
うち一般財源	計画	183,468	365,922	365,922	365,922	365,922
	実績	331,614				
・修学前教育保育施設再編			⇨	⇨	⇨	⇨
・認定こども園管理運営		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき，こども達の健全な心身の発達を図るため，質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行う。

2　私立保育所運営委託事業【該当施策No②④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	60,572	77,375	77,375	77,375	77,375
	実績	73,189				
うち一般財源	計画	15,952	18,598	18,598	18,598	18,598
	実績	19,948				
・運営費支弁		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市内私立保育所に運営費を支弁し，国の施設最低基準及び保育所保育指針に基づく，安定した保育業務を実施し，入所児童の健全な心身の発達に必要な保育環境の確保，保育サービスの充実を図る。

3　私立認定こども園施設型給付事業【該当施策No②④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	919,613	1,005,952	1,005,952	1,005,952	1,005,952
	実績	999,889				
うち一般財源	計画	201,918	274,047	274,047	274,047	274,047
	実績	265,122				
・施設型給付費支弁		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市内私立認定こども園に施設型給付費を支弁することにより，安定した園運営に寄与し，幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく質の高い幼児期の学校教育及び保育の総合的な提供を行う。

4　認定こども園修繕事業【該当施策No②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	42,190	32,500	0	0
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	3,290	2,500	0	0
	実績	0				
・おひさま認定こども園修繕			⇨			
・あやめの杜認定こども園修繕				⇨		

左欄の事業内容

就学前教育・保育施設再編後も存続する「おひさま認定こども園」と「あやめの杜認定こども園」について，屋根と外壁の大規模な修繕を実施することで保育環境の整備と施設の長寿命化を図る。
また，「おひさま認定こども園」については，駐車場の整備を行うことで，園児・保護者の安全と利便性の確保を図る。

5　一時預かり事業・乳児等通園支援事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,280	3,576	3,576	3,576	3,576
	実績	5,280				
うち一般財源	計画	2,850	1,353	1,353	1,353	1,353
	実績	1,106				
・一時預かり事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・乳児等通園支援実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・乳児等通園支援補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

保護者の就労の有無にかかわらず一時的にこどもを預かる一時預かり事業及び乳児等通園支援事業を実施することにより，保護者の負担軽減と多様な働き方の支援を図る。

6　延長保育事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	14,680	10,600	10,600	10,600	10,600
	実績	9,392				
うち一般財源	計画	4,894	3,534	3,534	3,534	3,534
	実績	3,132				
・延長保育事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

延長保育を実施している市内私立保育園・認定こども園に対して補助金を支出し促進することにより，保護者の負担軽減と多様な働き方の支援を図る。

7　休日保育事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	0	5,952	5,952	5,952
	実績					
うち一般財源	計画	0	0	5,952	5,952	5,952
	実績					
・休日保育実施				⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

公立認定こども園において，日曜日や祝日に保護者の就労などの理由により家庭での保育が困難な就学前児童の保育を実施することにより，保護者の負担軽減と多様な働き方の支援を図る。

8　病児・病後児保育事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	9,946	10,830	10,830	10,830	10,830
	実績	10,790				
うち一般財源	計画	2,350	2,094	2,094	2,094	2,094
	実績	2,221				
・病児・病後保育実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

病気の治療中又は回復期にあり，集団保育が困難な児童について，感染防止や安静の確保に配慮した施設において保育を実施する。

9　放課後児童健全育成事業【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	170,000	185,706	185,706	185,706	185,706
	実績	164,208				
うち一般財源	計画	55,634	60,366	60,366	60,366	60,366
	実績	54,736				
・放課後児童クラブ運営委託		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市内11小学校区にある15の放課後児童クラブの運営委員会等に運営を委託し，保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し，授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊びや生活の場を提供することで，児童の健全な育成を図る。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

各事業の実績は下記のとおりであり，「子育て環境の充実により仕事と家庭の両立ができるまち」を目指して取組みを進めた。

・市内教育・保育施設において，児童の健全育成を行う体制を確保し，児童の受け入れを行った。(事業1.2.3)

公立認定こども園　　年間延べ入所人数 3,186人　実人数 288人

私立認定こども園　　年間延べ入所人数 4.613人　実人数 678人

私立保育所　　年間延べ入所人数　533人　実人数　52人

・一時保育事業を実施する私立認定こども園に補助金を支出して支援を行った。(事業5)

一時預かり（一般型）　　１園　　年間延べ利用者数 444人

一時預かり（幼稚園型）　２園　　年間延べ使用者数664人

・公立認定こども園において乳児等通園支援を実施するとともに，乳児等通園支援を実施している市内私立保育園・認定こども園に対して補助金を支出して支援を行った。(事業5)

公立認定こども園　　１園　　利用登録者数　６人　　年間延べ利用者数　27人

私立認定こども園　　１園　　利用登録者数　５人　　年間延べ利用者数　３人

・延長保育事業を実施する私立保育所・認定こども園に補助金を支出して支援を行った。(事業6)

実施施設数　　８園　　年間延べ利用者数 7,234人　実利用者数 254人

・市内11小学校区にある15の放課後児童クラブの運営委員会等に運営を委託し，事業を実施した。(事業9)

支援の単位数　19教室（15クラブ）　登録児童数　685人

対象小学校区　笠岡（3クラブ），中央（2クラブ），大井（2クラブ），金浦，北川，大島，城見，吉田，神内，陶山，新山

指標の実績：

令和７年度の保育施設の定員は1,077人となり目標値より減少している。しかし，就学前児童数自体が減少しているものであり，実質的に定員は減少していないと考えられる。

令和７年度の放課後児童クラブの定員は755人であり，目標値を達成している。

また，待機児童は発生していない。

自己評価理由：

各事業は順調に実施しており，待機児童数０人という目標を達成しているため

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）**※「遅延」「要修正」は必須**

課題：

①出生数の減少などにより就学前教育・保育施設への入所児童数の減少が進んでおり，一部の施設で「適正な集団規模の確保」が難しくなっている。

②家族形態の変化や共働きの増加などの影響により，保護者の保育ニーズは多様化している。

③一部の就学前教育・保育施設について，建築から数十年が経過し老朽化が進んでいる。

④放課後児童クラブの業務に従事する支援員の確保に各クラブ苦慮している。

対応：

①令和８年度中に「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画」を策定し，就学前教育・保育施設の再編を進める。

②多様化する保育ニーズに対応するため，令和９年度から休日保育事業を実施する。

③老朽化が進んでいる施設の長寿命化を図ることとし，令和８年度におひさま認定こども園，令和９年度にあやめの杜認定こども園について屋根外壁の修繕工事を行う。

④相談会の実施や，大学や高校等へ積極的な情報発信を継続する。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
放課後児童クラブ： 入所率増加に伴う今後の運営が気がかり。	現在待機児童は発生しておらず，今後も待機児童は0人となる見込みです。入所率が増加傾向であることから，ニーズを的確に把握しながら，今後も引続き必要な供給量の確保に努めてまいります。
病児・病後保育： 利用増は働く保護者に有難いが，ワーク・ライフ・バランスへの配慮も必要。	病児・病後児保育は，働く保護者にとって重要な事業であると考えています。一方で，ワーク・ライフ・バランスへの配慮も重要であると認識しています。子育て応援企業に関する発信等，地域で安心して出産・子育てができる環境づくりに引続き努めてまいります。
認定こども園移行： 公立保育所全所の移行を評価。今後は合計特殊出生率改善に向けた施策推進を要望。	全国的に少子化が進む中，笠岡市においても同様に少子化が顕著な状況にあります。これまでも市独自基準での第２子以降の保育料無償化など合計特殊出生率改善に向けた取組みを進めてきたところですが，今後もこのような取組みを進め，安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めてまいります。
規模適正化： 小・中学校に加え，こども園の規模適正化の必要性を提起。	こども達の心身の発達のために適正な集団規模の確保ができるよう，令和８年度中に「笠岡市就学前教育・保育施設再編整備計画」を策定し，就学前教育・保育施設の再編を進めていきます。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況 R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・保育施設の定員が86.6％と少なくなっていますが，回答では就学前児童数自体が少なくなっているとのことです。そうなれば目標値が高くし過ぎているのかもしれません。 ・保育施設が定員より86.6％と少ないが，待機児童が発生していないので順調と思われる。しかし，出生率も徐々に減少していますので，市内教育，保育施設の統廃合が必要と思われます。放課後児童クラブの業務に従事する支援員の確保に苦慮されていますが，様々な情報発信を考えていただき，対応をお願いします。 ・子育て事業に関しては他市より手厚いと感じており，多くの事業をされているので順調としました。 規模適正化にご尽力いただいています。利用者，地域への説明など大変かと思いますが，笠岡市が大切にされている思いをしっかりご理解いただけるよう願っています。質の高い幼児教育・保育の提供，また小学校への継続したサポートが求められています。 放課後児童クラブの支援員の確保（特に長期休暇）は大変ですが，学校支援従事者や給食センター職員など夏休みがお休みの方にも声掛けするなどされてみてはいかがでしょうか。（登録バンクなど） 男性の育児参画を推進するためにも，育児休暇の取得などに力を入れてほしい。結婚・子育ての理想の形（頑張りすぎず，自分らしく生きる姿）を若者たちに見せることで笠岡市の婚姻率，出生率にもつながるのではないかと思います。引き続きよろしくお願いします。 ・放課後児童クラブの支援員については，使命感等のみに頼った人員確保には限界があると思われることから，処遇改善についても検討してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑴-②	安心して子育てをするための家庭支援 ◎総合戦略	主担当課
目指すまちの姿		安心・安全な妊娠・出産・育児を推進し，こどもが健やかに育つまち	子育て支援課

主な施策	関係課
①関係機関等と連携し，プレコンセプションケアの取組を推進する。 ②妊娠・育児期の保健指導・相談：妊婦面接・マタニティ教室・育児相談会・赤ちゃん訪問・離乳食教室・乳幼児健診等を実施する。 ③発達相談・子育て教室と所属先連携による継続的発達支援を実施する。 ④専任保健師を中心とした電話・面接・家庭訪問による切れ目ない支援を実施する。 ⑤こども家庭センターの専門職中心の相談支援体制を整備する。 ⑥「要保護児童対策地域協議会」を活用した関係機関の連携・強化による各種課題への早期の対応及び切れ目のない支援体制を充実する。 ⑦児童虐待の早期発見や予防に向けての啓発活動を行い，社会全体での認識を高める。	企画政策課 人権推進課 学校教育課

ＫＧＩ◎ 年度末における５歳児の人口と５年前の０歳児の人口を比較した増減割合(過去５年の平均値) (%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	☑順調□遅延 □要修正
実績	6.8	8.9					
達成率	－	127.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ◎ 出生数 (人)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	150	150	150	150	150	☑順調□遅延 □要修正
実績	126	157					
達成率	－	104.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ◎ 支援が必要と判断した家庭に対する支援率 (%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 #	☑順調□遅延 □要修正
実績	100.0	100.0					
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ 乳児家庭全戸訪問事業 訪問実施率 (%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	☑順調 □遅延 □要修正
実績	96.9	97.5					
達成率	－	97.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ 乳幼児健診の受診率(３歳児健診) (%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	☑順調 □遅延 □要修正
実績	97.7	98.9					
達成率	－	104.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ 養育支援訪問事業 訪問実施率 (%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況 R7年現在
目標	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	☑順調 □遅延 □要修正
実績	100.0	100.0					
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	74,898	83,434	81,939	82,139	81,939	329,451
	実績	72,633	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	42,010	46,965	46,666	46,766	46,666	187,063
	実績	40,143	0	0	0	0	0

主な事業・取組

１プレコンセプションケア推進事業【該当施策No①】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	1,595	100	300	100
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	399	100	200	100
	実績	0				
・講演・講座の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・セミナーの開催			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

中学校・高等学校における出前講座や講演会，社会人等を対象としたセミナーを実施し，希望するライフスタイルを実現するための正しい知識を提供する機会を創出する。

２母子健診事業【該当施策No②】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	24,470	24,560	24,560	24,560	24,560
	実績	23,271				
うち一般財源	計画	23,125	22,798	22,798	22,798	22,798
	実績	21,782				
・健康診査の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・保健指導の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

医療機関による妊産婦健康診査，乳幼児健康診査の一部公費負担や，乳幼児健診及び２歳児歯科検診を実施することで乳児の健やかな成長と母体の健康の増進を図る。

３はぐくみ笠岡事業【該当施策No③】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,031	3,685	3,685	3,685	3,685
	実績	3,400				
うち一般財源	計画	2,813	2,587	2,587	2,587	2,587
	実績	2,302				
・訪問指導の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・健康教育の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

妊産婦，乳児のいる家庭へ訪問を実施し，母子の心身の状況の把握や発達，栄養，育児等の相談を実施する。
また，マタニティ教室，離乳食教室等を実施し，母子の健康の増進を図る。

４発達支援事業【該当施策No④】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,659	4,315	4,315	4,315	4,315
	実績	5,651				
うち一般財源	計画	1,285	1,145	1,145	1,145	1,145
	実績	1,480				
・巡回相談の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・親子関係支援の実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

保護者からの相談や所属機関への巡回相談による幼児の特性に応じた成長，発達の支援を実施し，就学に向けた教育機関等へのコーディネートを行う。

5 不妊・不育治療支援事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	371	4,550	4,550	4,550	4,550
	実績	221				
うち一般財源	計画	371	2,550	2,550	2,550	2,550
	実績	221				
・不妊治療支援事業			⇨	⇨	⇨	⇨
・不育治療支援事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

こどもを授かりたい夫婦に対して，不妊・不育治療に対する助成を実施し，経済的な負担の軽減を図る。

6 こども家庭センター事業【該当施策No④⑤⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	33,124	35,587	35,587	35,587	35,587
	実績	33,072				
うち一般財源	計画	8,549	11,121	11,121	11,121	11,121
	実績	8,549				
・こども家庭センターの運営		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・妊婦等包括相談支援事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

妊娠期から子育て期にかけて，電話・面接・家庭訪問による切れ目ない支援を実施し，必要な情報・サービスを提供する。専門職による様々な課題への相談対応及び関係機関と連携した支援を実施する。

7 産後ケア事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	828	1,824	1,824	1,824	1,824
	実績	773				
うち一般財源	計画	207	456	456	456	456
	実績	194				
・産後ケア事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

出産後1年未満の母子で，育児支援が必要な方に対して，助産院等で心身のケアや育児のサポート等にかかる費用の一部を助成する。

8 こどもの食と居場所事業【該当施策No⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	6,415	7,318	7,318	7,318	7,318
	実績	6,245				
うち一般財源	計画	5,660	5,909	5,909	5,909	5,909
	実績	5,615				
・こどもの食と居場所事業補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・フリースペース事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・こども見守り宅食事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

こどもの居場所や食の提供を実施する団体に対し，運営費の一部を補助したり，支援を必要とする家庭に食料品等を配布することにより，生活支援と相談支援を一体的に実施し，早期の課題発見・解決に繋げる。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1　市内高校で小児科医による「若い世代の子育て意識啓発事業」講演会を実施した。（事業１）
　実施回数：1回，実施場所：笠岡商業高等学校，受講者数：3年生・114人

2　乳幼児健康診査において，従来からの乳児（３～４か月），１歳６か月児，３歳児に加え，９～１０か月児を追加し，専門的な立場で指導・助言するとともに，専門職による相談支援を実施することで，こどもの健やかな成長の一助とした。（事業２）
　令和７年度３～４か月　143人　９～10か月　128人
　　１歳６か月　164人　３歳　　188人

3　マタニティ教室や離乳食教室，子育て教室など，各種教室を実施したほか，市内の地域子育て支援拠点施設と連携し，保健師や子育て支援コンシェルジュによる出張育児相談を実施した。（事業３）
　マタニティ教室：３回・17組　　子育て教室：24回・実38組(延べ160組)
　離乳食教室：12回・86組

4　４歳児発達支援事業等の発達支援事業において，コーディネーターが巡回相談や支援計画の作成を行い，所属先や就学先との連携による継続的な支援を行った。令和８年度からは，本事業で培ったノウハウを活かした５歳児健康診査の実施により，就学に向けた支援体制の整備を強化していく。（事業４）
　個別相談　47件（うち発達検査9件）
　巡回相談　14施設・延べ123件

5　こどもを授かりたい夫婦の経済的負担を軽減して，安心して妊娠・出産することができるよう，令和８年度から保険診療に係る不妊治療費の助成を開始するため，準備を整えた。（事業５）

5・6
　子ども家庭支援拠点と子育て世帯包括支援センターの機能を一体化した，こども家庭センターを開設し，専門職による相談支援をはじめ，関係機関の連携等も強化した。（事業６）
　母子保健　面接　延べ410件，支援プラン立案　88件
　児童福祉　要対協　新規登録　22人，継続支援者数　95人
　出産後１年未満の母子について，産後ケア事業を行うことにより，こどもの健やかな成長と母親の心身のケアや育児負担軽減の一助となった。（事業７）
　利用者数　46人，利用件数　122件

7　こども食堂やこども見守り宅食事業の実施により，支援が必要なこどもとその家族の食支援を行うとともに，定期的な見守りによる孤立防止の一助となった。（事業８）
　こども食堂　補助団体数　4団体，延べ利用者（こども）数　336人
　こども見守り宅食　対象世帯　7世帯　対象児童　15人

指標の実績：
ＫＧＩ　人口減少が続く中，５歳までの地域で生活を継続する子どもの割合が高まる傾向が見られる。実績127.1％
ＫＰＩ　1　出生数　前年比較　３１人増。達成率104.7％
　　2　支援が必要と判断した家庭すべてに関わりをもった。達成率100％
　　3　乳児家庭全戸訪問事業の訪問実施率　達成率97.5％
　　やむを得ない事情により訪問が実施できない乳児のいる家庭に対して，ほっと☆はぐを活用した面談により，乳児の発育や産婦の心身の健康状態を把握した。
　　4　乳幼児健診受診　達成率　104.1％
　　5　養育支援が必要と判断した世帯すべてに訪問を実施。達成率100％

自己評価理由：
　指標における実績はほぼ達成されているため，【○順調】と判断した。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題： 　不妊治療等にかかる経済的支援を充実することにより，こどもを望む夫婦が，安心して妊娠・出産できる環境づくりをする必要がある。
対応： 　保険適用の不妊治療について，岡山県が令和７年度に補助制度を創設したことから，本市においても，令和８年度から，県の補助制度を活用し，補助を開始した。 　こどもを望む夫婦が，治療のステップアップを検討する際に，補助金の有無によって治療を断念することがないよう，保険適用外の治療費への補助など，さらなる制度の充実について検討を行う。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
児童虐待： 　新規登録者数が増加。子育て・福祉の連携体制で早期救済を期待。	少子化や核家族化の進展に伴い，育児不安をはじめ，家庭が抱える課題は複雑化・多様化しています。本市では，令和7年度に「こども家庭センター」を設置し，市民への啓発活動や関係機関との連携を強化ししました。新規登録者の増加については，地域における「見守り・気づき」の意識が高まり，支援を必要とする家庭の早期発見につながったものと認識しております。今後は，増加する相談に対して迅速かつ的確に対応するため，医療，福祉，教育部局等の関係機関との連携のもと，支援体制をより一層強化してまいります。
医療連携： 　産科・婦人科病院がなくなっても，笠岡市立市民病院と福山市民病院の連携が実現したことを評価。	ご評価いただき，ありがとうございます。令和5年12月に市内唯一の産科医療機関が閉院となりましたが，令和7年7月から笠岡市立市民病院と福山市民病院との連携による産科セミオープンシステムを構築できたことは，妊婦さんの通院負担の軽減と妊娠から出産に係る安全性の確保ができたものと考えております。今後も両病院や関係機関と連携をしながら，地域で安心して出産・子育てができる環境づくりに努めてまいります。
市民意識調査： 　「安心して子どもを育てられると感じている市民の割合」が低下し残念だが，20代・40代は40%近くと高く一定の安心感。要因は社会的動向か確認したい。	本市の子育て施策は他市町と比較しても充実していると自負していますが，全国的に多様化する子育てニーズに対し，さらなるきめ細やかな対応と情報発信の強化が必要であると認識しています。一方で，子育て世代（20～40代）の皆様からは，他の年齢層に比べて高い満足度をいただいており，本市の子育て支援策が一定の評価を得ているものと捉えております。今後は，子育て世代だけでなく，より幅広い世代の皆様にも実感していただくため，ＳＮＳなどのツールを効果的に活用し，本市の子育て施策の具体的な取組を広く周知していきたいと考えております。

はぐくみ笠岡事業： 　利用件数増で手厚いサポートが実現していると評価。	ご評価をいただき，ありがとうございます。 近年，少子化が進むなかで利用件数が伸びていることは，本市が丁寧に行っている妊娠期から子育て期にわたる「伴走型支援」等により，必要な方にタイムリーにお声がけができていることが反映されているものと感じております。また，リピーターとして継続してご利用いただく方が多いことも，利用件数の増加につながっていると考えております。今後も利用者の声に耳を傾けながら，事業内容の充実に努めてまいります。
新規事業の効果： 　R7年度開始のこども家庭センター・産科セミオープンシステムの効果を確認したい。	＜こども家庭センター＞ 「こども家庭センター」の設置により，母子保健と児童福祉を一体化し，妊娠期から子育て期にいたるまで，切れ目のない支援を強化しました。さらに，新たに統括支援員を配置し，関係機関との緊密な連携や，地域社会資源の創出を推進しています。 ＜産科セミオープンシステム＞ 昨年度に妊娠届を出された方のうち，約10％の方が笠岡市立市民病院を受診されています。笠岡市立市民病院では妊娠8か月頃まで妊婦健診を受けられるため，妊婦さんからは「産休前の時期に身近な場所で受診でき，それ以降の健診や出産は設備の整った総合病院等で行える体制はとてもありがたい」との声をいただいています。また，緊急時には笠岡消防組合と連携した「パパママ・サポート119」を整えるなど，安心・安全に妊娠，出産をしていただける体制を構築しています。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・ＫＰＩはほぼ順調です。
・６年度に比べ，７年度は３1人増の出生数となっている。妊婦への出産，育児の支援を手厚くして出生数ＵＰとなることを期待します。
・ほとんどの指標で達成されており，順調としました。専門性のある方が関わってくださることで不安を抱えながら子育てをする保護者は安心されています。また早期対応，切れ目のない支援が関係課や関係機関と連携されているのを感じます。
R8実施のプレコンセプションケアに期待しています。若者が希望する生き方を安心して選択，実現するための大切な事業だと思います。よろしくお願いします。
発達支援事業は今後さらに増えてくると思いますが事業費の設定は大丈夫ですか。
・順調。プレコンセプションケアについては，日本における偏向した優生思想の歴史を踏まえ，内容について慎重に実施されることを望みます。
・支援が必要なすべての家庭に関わりを持つことは，子育て家庭の安心感につながり，出生数にも好影響を与えるものと期待されます。引き続き，取組を推進してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-(1)-③	子育てを地域で見守り支えあうまちづくり	◎総合戦略
目指すまちの姿	地域全体でこどもと親を見守り支えるまち		

主担当課
子育て支援課

関係課
市民課
商工観光課

主な施策

①子育て支援コンシェルジュを配置し，地域の子育て支援施設等と連携を取りながら，各種子育て支援サービスの情報提供や，相談・助言等を行うことにより，最適なサービスの利用につなげる。
②地域子育て支援拠点を中心として，地域と子育て家庭の関係づくりを構築するとともに，地域参加の難しい子育て家庭に対する支援の強化を図る。
③子ども条例を周知するとともに，こどもまんなか応援サポーターとして，こどもとその保護者のための子育て施策を展開する。
④子育てと仕事が両立できるよう，育児休業等各種制度の活用促進や職場復帰しやすい環境づくりを支援する。
⑤ファミリーサポートセンターや子育て短期支援事業等，子育て家庭をきめ細やかに支えていく仕組みを維持・強化する。
⑥給付金や医療費の助成，ひとり親に対する施策等，子育て家庭の支援に取り組む。

ＫＧＩ◎　年度末における５歳児の人口と５年前の０歳児の人口を比較した増減割合(過去５年の平均値)　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
実績	6.8	8.9				
達成率	－	127.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
■順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　出張子育て支援コンシェルジュ利用者数　(人)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	100	140	180	210	240
実績	35	100				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
■順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ◎　地域子育て支援拠点施設数　(か所)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	6	6	6	6	6 #
実績	6	6				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
■順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　子育て応援企業認定数　(事業者)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	31	33	35	37	39
実績	29	31				
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
■順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ◎　育児休業給付金受給資格確認件数(再掲)　(件)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	200	212	224	236	248
実績	166	183				
達成率	－	91.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
■順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	478,012	554,346	576,262	597,095	616,909	2,344,612
	実績	485,624	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	343,976	423,614	443,960	463,353	481,887	1,812,814
	実績	354,008	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　子育て支援コンシェルジュ事業【該当施策No①】

（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	7,609	7,836	7,836	7,836	7,836
	実績	9,437				
うち一般財源	計画	1,269	1,306	1,306	1,306	1,306
	実績	1,845				
・子育て支援コンシェルジュを配置		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

子育て支援コンシェルジュを配置し，地域の子育て支援施設等と連携を取りながら，各種子育て支援サービスの情報提供や，相談・助言等を行う

2 大井児童館運営事業【該当施策No①②】

（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	11,265	11,759	11,759	11,759	11,759
	実績	11,275				
うち一般財源	計画	8,831	9,209	9,209	9,209	9,209
	実績	8,831				
・児童館の管理・運営を指定管理		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

大井児童館の管理運営を指定管理者に委託。多様な講座を開設し，児童に遊びを提供。情操を豊かにし生きる力を育む。

また，地域子育て支援拠点として親子の交流や育児相談，子育て支援情報を発信する。

3 地域子育て支援拠点事業【該当施策No②】

（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	57,192	59,111	59,111	59,111	59,111
	実績	58,631				
うち一般財源	計画	20,468	21,107	21,107	21,107	21,107
	実績	20,947				
・地域子育て支援センターの運営委託		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・つどいの広場事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・子育て・子育ちセーフティネット事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を開設し，子育てについての相談，情報提供，助言その他の援助活動を行う。また子育て支援に関する講習等を実施する。

子育てに関する問題の解決に向けて子育て支援関係団体がネットワークを構築し必要なサービスを提供する活動を支援するため，運営団体に補助金を交付する。

4　ファミリーサポートセンター事業【該当施策No⑤】

（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,130	5,373	5,373	5,373	5,373
	実績	5,219				
うち一般財源	計画	1,798	1,791	1,791	1,791	1,791
	実績	1,741				
ファミリーサポートセンターの運営		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

依頼会員(子どもを預けたい人)と提供会員(子どもを預かる人)が会員登録し，センターにて依頼会員と提供会員を結びつけ，子育てを相互に援助する活動を支援する。また，会員の交流会や研修会を実施する。

5 ひとり親家庭支援事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	164,704	179,957	179,957	179,957	179,957
	実績	167,921				
うち一般財源	計画	110,209	120,341	120,341	120,341	120,341
	実績	111,461				
・児童扶養手当支給		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・ひとり親自立支援事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・遺児年金・激励金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

保護者が死亡した児童に対しては遺児年金・激励金を，保護者が離別等した児童の保護者に対しては児童扶養手当を支給する。また，母子・父子家庭等に対し，自立に向けた相談支援を充実させるとともに，必要に応じて就労や養育費確保の際の費用の負担軽減を図る。

6 入学エール事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,372	5,120	5,120	5,120	5,120
	実績	5,172				
うち一般財源	計画	172	5,120	5,120	5,120	5,120
	実績	154				
・入学エール金支給		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

就学準備で負担が大きくなっている保護者の負担軽減を図り，こどもの健やかな成長への一助とする。

7 子ども医療給付事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	226,740	285,190	307,106	327,939	347,753
	実績	227,969				
うち一般財源	計画	201,229	264,740	285,086	304,479	323,013
	実績	209,029				
こども医療費給付		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

子どもの健康保持及び増進に寄与し児童福祉の向上に資することを目的とし，令和８年４月からは入院，通院ともに高校生年代までの医療費を無償化とする。（うち県補助対象は入院は小学生まで，通院は就学前まで）

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

1　子育て支援コンシェルジュについて，出張相談を強化したことにより，子育てについての相談，情報提供は前年度実績より増加し，相談体制の定着，潜在的な支援ニーズへの早期把握や適切な支援機関へのつなぎができた。

延べ利用者数　1,151人

うち出張コンシェルジュ利用者数100人（前年比285％，達成率100％）　（事業１）

2　児童館や地域子育て支援拠点など，こどもの安全な遊び場の提供を行うとともに，親子の交流や育児相談，子育て支援施策に係る情報提供等を行った。また，支援が必要なこどもやその家族に対し，子育てに関する問題の解決に向けた支援を行う団体に補助金を交付し，その活動を支えた。

延べ利用者数　児童館　14,998人，

地域子育て支援拠点（６カ所）10,714人　（事業２，３）

3　年少児にこどもルールブックを配布し，家庭や園等で活用することにより，社会のルールを身につけ，スムーズな就学につながるよう取り組んだ。

市内１５園及び訪問　230冊配布

また，親子のお出かけ情報について，情報を届けたい人に的確に届けられるよう，子育て世代に馴染みの深いインスタグラムでの発信を令和７年７月から開始した。

4　仕事と子育ての両立支援として，市のホームページに国や県の働き方に関する取組を掲載するとともに，子育て応援企業の認定を行うことにより，地域全体で子育て家庭を支援していく環境づくりの一助とした。

令和７年度　子育て応援企業認定　2社

令和８年３月３１日時点　市内３１の企業が認定

5　ファミリーサポートセンターで依頼会員と提供会員を結びつけ，子育てを相互に援助する活動を支援し，子育て家庭の負担軽減につなげた。

令和７年度末　会員数829人

令和７年度活動件数　延べ420件（事業４）

6　児童扶養手当や遺児年金・遺児激励金の交付により，ひとり親家庭の経済的支援を行うとともに，自立に向けた就労支援等を行った。

令和７年度　児童扶養手当支給対象者数　282人（事業５）

就学準備で負担が大きくなる年長児の保護者に対し，制服等購入に係る補助金を交付することにより，経済的負担を軽減し，こどもの健やかな成長の一助とした。

令和７年度　助成人数　294人　（事業６）

医療費の無償化について，令和８年４月診療分から通院を高校生年代まで拡充するために，システム改修を行った後，新たな受給者証の発行及び差し替えを行い，滞りなく実施するための準備を行った。（事業７）

指標の実績：

ＫＧＩ　人口減少が続く中，５歳までの地域で生活を継続する子どもの割合が高まる傾向が見られる。実績127.1％

ＫＰＩ

1　お出かけコンシェルジュ利用実績　18回　100人　達成率100％

2　地域子育て支援拠点施設数　６カ所　達成率100％　現状維持

3　子育て応援認定企業数　新規２事業者認定　合計認定事業者数　31　達成率100％

4　育児休業給付金受給資格確認件数　達成率91.5％

目標は達成していないが，件数は，166件から183件と増加している。（前年比10％増）

自己評価理由：

指標における実績はほぼ達成されているため，【○順調】と判断した。育児休業給付金受給資格確認件数については，件数は増加傾向となっていることから，引き続き周知を行いながら，今後の推移を見守りたい。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題： 　子育て施策等のさらなる周知 　共働き世帯の増加と子育て環境及び働き方の変化が広がる中で，従来の施策だけでは対応しきれないニーズが増加 　物価の高騰等により，子育て家庭の経済負担が増大 　育児休業給付金受給資格確認件数の増加
対応： 　現在SNSやパンフレットを活用して子育て情報等の発信を行っているが，令和８年度から新たに「食育キッチン」を開設。ターゲット層への効果的なアプローチを増やし，子育て情報やイベントへの参加のハードルを低減させ，参加しやすい環境を整備する。また，市の子育て施策を，ニーズを持つ子育て世帯に確実に届くよう， 情報伝達の最適化と質の向上につなげていく。 　子育て家庭の仕事と育児の両立支援及び経済的支援を充実するため，新規事業に限らず既存の施策の見直しや発展させることを踏まえて検討する。 　育児休業給付金受給資格確認件数については，件数は増加傾向となっていることから，引き続き周知を行う。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
大井児童館・地域子育て支援センター：利用者数が年々増加。大井児童館の予算カット報道があり，運営に無理が生じないか懸念。現場の声の聴取を要望。子ども食堂など子ども・大人双方に意義ある施設。	大井児童館・地域子育て支援センターが多くの利用者の方々に親しまれ，利用者が年々増加していることは，地域のニーズに応えられている証であると捉えております。大井児童館は指定管理者による適切な運営がされています。予算カットはしておらず，年々増加している状況です。引き続き，現場の声を聞きながら，より充実した施設となるよう，取り組んでまいります。
NPO等連携団体への処遇：ハーモニーネット未来など，笠岡市子育ての両輪を担う団体への適切な処遇改善を要望。市職員の人件費が上がる中，業務分担している団体への補充も明確化を要望。NPOであっても倒れれば子育てに大きなダメージとなる懸念。	NPO法人等の子育て連携団体とは，協議を行いながら事業を進めているところです。特に，行政だけでは行き渡らない，制度の狭間にいる人にとって，NPO法人等の支援は非常に重要であると認識しております。笠岡市のこどもたちの健やかな成長を支えていけるよう，引き続き，連携団体の声を聞きながら，連携を密にして子育て支援に取り組んでまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・育児休業給付金受給資格確認件数は91.5％であり，遅延ではないかと考えます。他はおおよそ順調です。 ・育児休業給付金受給資格確認件数91.5％を除いて，他の指標は達成していて順調です。昔に比べ核家族化が増え，子供を育てるには母親に大きな負荷がかかります。地域で見守り支えあえる環境作りは重要と思います。 ・出張子育てコンシェルジュは市役所に出向く勇気が出ない方にとってとてもありがたいサービスです。気軽に相談できる機会も増えますので引き続きお願いできればと思います。 地域や母親クラブなどで子どもと活動する際，見守りが課題です。コンシェルジュに限らず，課を越えてサポート団体などの情報を提供をいただけると良いと思います。 給食費の無償化，入学エール事業，高校生までの医療費無償化など経済的に手厚いサポートが増え保護者は助かると思います。全国と比べどうなのでしょう。地域子育て支援拠点，子ども食堂など居場所も充実してきているので上手に情報発信をお願いしたい。全国に向けても発信すれば移住者も増えるのでは？HP「だから，笠岡市で暮らしたい。」の更新がまだなのでお願いします。 ・順調。体育館は避難先としての機能（空調を数週間継続できる自家発電・入浴施設）を含め，重点的に整備していただきたい。新中学校の建設は不要と思います。旧校舎を活用するなど，将来的な市の人口・予算に合った施策を行って頂きたい。 ・子育て世帯に限らず，地域との関係性の希薄化が懸念される中，AIの普及など情報環境の変化も踏まえ，各世帯に適切な支援のあり方について検討してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-(2)-①	自立と共生を目指した「たい」のあふれる学校教育 ◎総合戦略	主担当課
目指すまちの姿	こどもが自ら学び人や社会とつながりながら次代を担う人材として成長できるまち		学校教育課

主な施策	関係課
①「学び」と「育ち」をつなげる，就学前から中学校までの一貫した教育を推進する。 ②１人１台端末等，ICT機器の利点を最大限に活用した教育活動を展開する。 ③地域探究学習(地域学)の積極的な展開を図る。 ④災害等から命を守る，安全・防災教育の積極的な展開を図る。 ⑤グローバル人材の育成を目指した，外国語教育の積極的な展開を図る。 ⑥時代を先取りしたICT機器や教室環境，学校施設等の整備を図る。 ⑦基本的な生活習慣の確立を目指した健康教育の充実と食育の推進を図る。	教育総務課

ＫＧＩ◎ **「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)** **(小　%)** **(中　%)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	38.5	41.4	44.2	47.1	50.0	□順調☑遅延 □要修正
	－	36.0	39.5	43.0	46.5	50.0	
実績	35.7	37.5					
	32.5	20.3					
達成率	－	97.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	56.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ **全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差(国語，　算数・数学の合計)** **(小　ポイント)** **(中　ポイント)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	△ 3.6	△ 2.2	△ 0.8	0.6	2.0	☑順調□遅延 □要修正
	－	△ 4.4	△ 2.8	△ 1.2	0.4	2.0	
実績	△ 5	△ 4.0					
	△ 6	△ 1.0					
達成率	－	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	177.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ **「授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいた」児童生徒の割合 (当てはまると回答した割合)** **(小　%)** **(中　%)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	25.3	26.5	27.6	28.8	30.0 #	□順調☑遅延 □要修正
	－	33.7	35.3	36.8	38.4	40.0	
実績	24.2	31.4					
	32.2	25.2					
達成率	－	124.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	74.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ **「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり，新たな考え方に気付いたりすることができている」児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)** **(小　%)** **(中　%)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	41.2	43.4	45.6	47.8	50.0	□順調 ☑遅延 □要修正
	－	47.4	49.3	51.2	53.1	55.0	
実績	39.1	45.8					
	45.5	37.4					

達成率	－	111.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	－	78.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R8～11計
事業費	計画	203,930	391,595	520,023	714,050	695,827	2,321,495
	実績	196,726	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	115,713	121,699	258,462	271,713	253,683	905,557
	実績	108,824	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 施設分離型小中一貫教育推進事業【該当施策No①】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	9,341	10,400	10,400	10,400	10,400
	実績	9,832				
うち一般財源	計画	5,341	5,900	10,400	10,400	10,400
	実績	5,832				
学校規模適正化		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
小中一貫教育推進		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

施設分離型を基本とした義務教育９年間を見通した小中一貫カリキュラムを実施し，系統的・連続的な教育活動を展開することで，長期欠席・不登校の減少等，教育効果の向上を図る。

2 ICT 機器を活用した教育活動の推進（教育DX 推進）事業【該当施策No②⑥】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	118,404	124,678	118,000	116,000	80,000
	実績	113,219				
うち一般財源	計画	74,672	66,048	99,000	99,000	80,000
	実績	68,443				
ＩＣＴ支援員配置		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
教育ＤＸ整備		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
児童生徒用学習端末更新		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

教育現場におけるＤＸを推進し，クラウドサービスや一人一台端末等ＩＣＴ環境を活用することで，新しい時代に求められる児童生徒の資質・能力を育成する。

3 「たい」のあふれる地域探究学習推進事業【該当施策No③④】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,915	3,915	3,915	3,915	3,915
	実績	2,556				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	0				

左欄の事業内容

笠岡の豊かな自然・歴史・文化を活かした地域探究学習を展開し，単なる調べ学習にとどまらない地域課題解決への参画を通じて，ふるさとへの愛着と誇りを醸成する。

4 グローバル社会に対応した外国語教育の充実事業【該当施策No⑤】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	41,870	43,085	43,000	43,000	43,000
	実績	41,866				
うち一般財源	計画	5,300	3,686	41,400	41,400	41,400
	実績	5,296				
外国語助手配置事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

外国語指導助手との連携による実践的コミュニケーション能力を育成し，グローバル社会に対応できる力を身につけさせる。

5 屋内運動場空調整備事業【該当施策No④，⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	135,900	205,600	295,190	315,490
	実績	0				
うち一般財源	計画		10,532	25,378	35,921	38,821
	実績					
屋内運動場空調設備設置工事費			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

児童生徒及び避難者の熱中症対策として，屋内運動場に空調設備を設置する

Ｒ８：新山小，笠岡東中

Ｒ９：城見小，神島外小，北川小，大島中

Ｒ１０：神内小，笠岡西中，金浦中，新吉中

6 学校統廃合に係るスクールバス運行事業【該当施策No⑥　】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	24,689	24,631	42,795	42,795	42,795
	実績	24,286				
うち一般財源	計画	24,689	24,847	43,011	43,011	43,011
	実績	24,286				

左欄の事業内容

長距離通学となる児童の送迎えお行う

R8年度対象校：大島小，吉田小（尾坂），神外小（北木島），笠岡小

R9年度新規：新山小，城見小

7 学校照明LED化事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,711	10,356	12,773	10,965	9,157
	実績	4,967				
うち一般財源	計画	5,711	10,356	12,773	10,965	9,157
	実績	4,967				
ＬＥＤ照明機器リース料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

学校施設の照明設備をリース事業によりLED化を進め，教育環境の向上と電気料金の抑制を図る

R8年度対象校：金浦小，城見小，神内小，神島外小，新吉中，神島外中

8 学校施設長寿命化計画【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画		38,630	69,540	146,685	145,970
	実績					
うち一般財源	計画		330	12,500	26,416	26,294
	実績					
学校施設改修等工事費			⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

学校施設長寿命化計画に基づき，年次的に学校施設の長寿命化を行う。

Ｒ８：笠岡小教室棟屋上防水工事

Ｒ９：城見小屋内運動場改修工事

R10：笠岡西中校舎屋上防水工事

　　神島外中校舎屋上防水工事

9 新中学校建設事業【該当施策No⑥】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画			14,000	45,100	45,100
	実績					
うち一般財源	計画			14,000	4,600	4,600
	実績					
基本計画作成委託料 用地買収費				⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

学校規模適正化に向けた統廃合を進めるため，中学校の統合先として新設の中学校を設置する

R9：基本計画の策定

R10，R11：用地買収

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

基礎基本の確実な習得に加え，各教科で学んだことを使いこなす力の育成を推進しました。R6年度試行導入した小学校チーム担任制は，落ち着いた学習環境づくりと教員の精神的負担軽減に効果がありました。今後も，各学校の実情に応じた柔軟な運用を継続支援します。小中一貫教育は施設分離型ながらも，9年間を見通したカリキュラムで系統的な教育活動を展開し，長期欠席・不登校減少といった成果が見られました。ICT活用については，授業でのタブレット端末活用率は小6で19.6%から40.4%，中3で55.8%から71.7%に伸長してきています。また，学校運営協議会を通じて地域との連携を強化し，教育効果の向上を図っています。今後も，第４期教育振興基本計画に基づき，児童生徒，保護者，地域との緊密な連携のもと，きめ細やかで実効性のある支援を丁寧に推進してまいります。(事業1.2.3.4)

指標の実績：

KGI:「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」児童生徒の割合は，小学校で向上した一方，中学校では減少しました。

KPI:学力面では，小学校・中学校ともに改善傾向が見られます。

授業における主体性を示す「自分で考え自分から取り組んでいた」児童生徒の割合は小学校で向上しましたが，中学校では減少傾向にあります。同様に「話し合う活動を通じて考えを深める」児童生徒の割合も小学校で増加した一方，中学校では減少傾向が見られます。

全体として，小学校では自律性や協働性が向上傾向にあるものの，中学校では一部指標に課題が残ります。今後の施策を通じて，引き続き児童生徒の「たい」を引き出し，確かな学力と探究心を育む教育を推進してまいります。

自己評価理由：

長期欠席不登校総合対策による成果が大きく，学力向上傾向，小学校における児童の主体性・協働性の指標改善など，主要な取組が着実に成果を上げ，教育目標達成に向け順調に推移しているため。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
学力面の課題： 小学校の算数・国語，中学校数学の実績ポイントが県・全国より低く気がかり。R7年度の対応策に期待。特に40%以下の理解度の児童に早期対応し，「分かる楽しさ」を実感できる支援継続を要望。子ども・教員・保護者の連携プレーで支える環境づくりを期待。	基礎基本の確実な習得とともに，既習事項等を使いこなし課題を主体的・意欲的に解決していく力や，目標を設定し計画的・自律的に学習する力を育成します。また，学習した力を実生活や実社会における課題解決や地域探究学習等に活かすことで，新しい時代に求めらる子どもの資質・能力を育成します。
チーム担任制の評価： R6年度は教室が落ち着き，精神的理由で休む教員がいなかったことを高く評価。一方，チーム担任制で負担軽減した教員と，責任が重くなり以前より忙しくなった教員がおり，学校ごとに合ったやり方を客観的に見極めるサポートを要望。	小学校チーム担任制をR6年度に試行導入し，教室の落ち着きと教員の精神的負担軽減に効果があったと評価しています。しかし，ご指摘の教員間の負担の偏り等の課題も認識しております。今後も，各学校の実情に応じた柔軟な運用と，若手人材育成にも配慮した，より効果的なチーム体制の構築を継続的に支援してまいります。
小中一貫・学校規模適正化： 着実に進捗していると評価。教員人材減少への対応，働き方改革，教員の質維持にもつながる重要な取組。地元調整等の負担に配慮しつつ継続推進を期待。	小中一貫教育については，学校規模適正化計画で小学校と中学校の基本方針が異なっていることから施設分離型を基本に推進していきます。施設分離型であっても，義務教育課程９年間を見通した小中一貫教育カリキュラムを実施することにより，系統的に教育活動を展開することができ，長期欠席・不登校の減少等，取組の成果が出ています。
タブレット端末活用： 個別最適な学びの一助として有効。授業での利用・AIドリル等の利用頻度増加状況，適切な利用ができているか確認したい。	授業でICT機器を「ほぼ毎日」活用したと回答した児童(小６)19.6%(R6)→40.4%(R7) 生徒(中３)55.8%(R6)→71.7%(R7) AIドリル活用率(R7 １学期)小学校47.3%中学校25.8% 授業でのタブレット端末活用は令和７年度は小中ともに増加した。
事業の取組： 多くの事業を職員が頑張って推進。長期欠席・不登校支援等，評価対象外の取組も児童生徒・保護者・地域に丁寧に対応していることを評価。	今後も，児童生徒，保護者，地域との緊密な連携を継続し，第４期教育振興基本計画に基づき，多岐にわたる教育課題に対し，きめ細やかで実効性のある支援を丁寧に推進してまいります。
教員のサポート： 先生の健全化が生徒に直結。若手教員のサポート，個人に負担のかからない教育，風通しの良い学校を目指すことを要望。地域活動推進は無理なく持続可能な形で，多くの人を巻き込む形での実施を期待。	教員の健全な職場環境を重視し，チーム担任制等を活用し，負担軽減と若手育成，風通しの良い学校づくりを進めています。また，学校運営協議会の取組を充実させ，学校と地域が目標を共有し，教育活動の一貫性をもつことで，教育効果の向上を図ります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・ＫＰＩは多くの指標で遅延となっています。児童生徒の実績割合であり順調になるためには非常に厳しい内容だと思います。しかし担当課は順調とありますが，遅延と考えました。 ・Ｒ６年度より指標に対して未達部分が多く，遅延とする。こどもの「たい」のあふれる教育が数字に表れるように取り組んで欲しい。昨年の夏より酷暑となっています。屋内運動場空調整備を早急にお願いします。 ・指標では達成していない項目もありますが，長期欠席不登校総合対策，落ち着いた学習環境による学力向上，学校規模適正化など順調に進められています。チーム担任制についても児童・保護者と意見交換をしながら見直しを進められており今後更なる効果を期待しています。先生方の積極性が伺える場も増えつつあるように感じています。 ただ，指標で未達成の中学生についてはその理由と改善策など分析していただきたいと思います。 教育委員会の計画の概要版を更に広く市民に知っていただく工夫をされてはいかがでしょうか。 ・AIの急速な普及により，自ら考え判断する力の減退が懸念されます。AIは有用なツールである一方，その過度な依存は思考力の低下を招くおそれがあることから，AIとの適切な関わり方について，教育や施策の面からも検討を進めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑵-②	文化・芸術の振興と探究
目指すまちの姿		文化・芸術を振興し探究するまち

主担当課
生涯学習課

関係課

主な施策

①文化財の保存・継承：活用に向けた適切な保存・継承を行う。
②こどもから大人まで幅広い世代が参加しやすい環境づくりを推進する。
③文化連盟等市民団体関係者同士の連携を推進する。
④出前講座，カブトガニ保護啓発運動などで市民を対象に理解度の向上を図り，SNSによる情報発信やカブトガニの幼生放流などにより，市外へ向けても保護意識の醸成を図る。
⑤竹喬美術館ではアンケート結果をもとに来館者の満足度を把握し，館の運営にいかす。

ＫＧＩ　文化・芸術・自然探究事業参加者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	8,930	8,980	9,030	9,070	9,100
実績	9,082	10,785				
達成率	－	120.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　文化財の保護件数　（件）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	40	40	40	40	40
実績	40	54				
達成率	－	135.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　文化イベント総参加者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	4,130	4,180	4,240	4,270	4,300 #
実績	4,100	5,570				
達成率	－	134.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　郷土館入館者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	500	500	500	500	500
実績	519	473				
達成率	－	94.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　カブトガニの調査及び保護に関わる延べ人数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	734	738	742	746	750
実績	730	777				
達成率	－	105.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　カブトガニ博物館入館者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	61,800	62,500	63,200	63,900	65,000
実績	61,131	70,303				
達成率	－	113.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　竹喬美術館特別展における満足度　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	90	90	90	90	90
実績	89	96				
達成率	－	106.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

ＫＰＩ　竹喬美術館入館者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	16,800	12,550	7,000	12,500	13,000
実績	16,741	19,350				
達成率	－	115.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在：☑順調 □遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R8～11計
事業費	計画	39,431	31,585	126,380	258,989	23,150	440,104
	実績	32,484	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	2,430	5,710	15,060	29,289	11,150	61,209
	実績	704	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 HAGIHARAブルーシーホール（笠岡市民会館）長寿命化事業【該当施策No②】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,800	6,160	3,300	241,989	
	実績	4,554				
うち一般財源	計画	500	660	400	24,289	
	実績	554				
・舞台照明用変圧器取替		⇨				
・駐車場照明柱改修			⇨			
・ホールエアコン改修				⇨	⇨	

左欄の事業内容

文化向上の拠点として，市民会館の維持・整備を行う。市民会館は昭和４９年（1974年）１月に竣工した施設であり，今日では老朽化が進行するとともに，設備不十分な点が発生している。そのため年次的に施設改修を行い，長寿命化を図るとともに利便性を向上させる。

2 カブトガニ博物館外構バリアフリー化整備工事【該当施策No④】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画			8,640		
	実績					
うち一般財源	計画			940		
	実績					
・バリアフリー化工事				⇨		

左欄の事業内容

社会教育施設として，誰もが利用しやすい環境づくりを目的として実施するもの。現在，博物館内は，一定のバリアフリー対応ができているが，駐車場から博物館へのアクセスに課題があることとに加え，建築から３５年を経過しており，エントランス周りが老朽化し危険個所が存在する。

3 カブトガニ飼育施設改修事業【該当施策No④】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,499	7,931	9,240		
	実績	2,499				
うち一般財源	計画	150	1,266	1,420		
	実績	150				
・カブトガニ大水槽濾過槽更新			⇨	⇨		
・産卵池水路擁壁補強工事						

左欄の事業内容

令和２年度から９年度までの８か年計画で実施する天然記念物再生事業（国庫補助事業）。老朽化が進むカブトガニ飼育施設を年次的に改修して長寿命化を図るとともに，保護・飼育・増殖できる環境を整備し確保する。

4 竹喬美術館施設整備事業【該当施策No⑤】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	0	2,700	92,200		6,150
	実績	0				
うち一般財源	計画	0	350	9,300		6,150
	実績	0				
・空気調和機更新			⇨	⇨		
・収蔵庫増築						⇨

左欄の事業内容

空調設備のうち空気調和機の老朽化が進んでいるため更新を行う。また，収蔵庫を増築するための実施設計を行う。

5 竹喬美術館展覧会事業【該当施策No⑤】 （千円）

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	32,132	14,794	13,000	17,000	17,000
	実績	25,431				
うち一般財源	計画	1,780	3,434	3,000	5,000	5,000
	実績	0				
・展覧会実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

竹喬の芸術とその魅力の普及を基本に，来館者への価値ある文化的経験の提供として，特別展，テーマ展を実施する。R11に大規模な竹喬巡回展を計画している。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

①文化財の保存・継承については，岡山県祭り・行事調査の基礎調査（市内の祭り行事リストアップ），遍照寺の枝垂れいちょうの保存剪定・土壌改良，津雲貝塚保存活用計画策定準備会議による貝塚の価値再整理等に努めた。また普及啓発活動・講座等にも努め，受講者は825人であった。
②③市民会館については，電気室内に設置してある舞台照明用変圧器（トランス）が製造から31年以上経過しており，経年使用により事故に至る恐れがあるため，改修工事を行い，長寿命化を図ることができた。(事業1)文化イベントについては，「笠岡文化の秋」と題し，例年開催していた文化祭，芸能祭，菊花展に加え，児童・生徒美術展を同日開催することで，こどもから大人まで幅広い世代が参加しやすい環境づくりを推進できた。また児童・生徒美術展では新たに書道部門を設けたり，文化祭においてはデザイン・イラスト部門を新設することで高校生からの出品に繋げる等の工夫を行った。
④R6年度カブトガニ成体捕獲数75匹に対し，R7年度は87匹となった。2年連続で高水準の捕獲数を記録できたことから，カブトガニの個体数が順調に増加していることがうかがえる。長年にわたって地域一丸となって取り組んでいる保護活動が実を結びつつあるものと思われる。(事業3)
⑤竹喬美術館では，特別展として「絵本作家 いわむらかずお」「知られざる竹喬」の二つの企画を開催した。「いわむらかずお展」では，竹喬と同じく自然をテーマとした絵本作家の展示をすることで，来館者の裾野を広げることができた。また「知られざる竹喬展」では近年の竹喬研究と作品調査の成果を展示し，意義深い内容となった。アンケート調査では95.6％が満足と回答し，KPIの目標値90％を大きく上回ることができた。(事業5)

指標の実績：
①文化財の調査，保護，収集，整理を推進し，市内の文化遺産を次世代に継承する一助とすることができた。また郷土館について，入館者数には計上されていないが，災害の歴史に関する出張展示を図書館で開催し，より多くの方に普及啓発を行った。
②③文化イベントについては，さつき・新緑展や文化祭の開催日を３日間から２日間に減らしたが,各イベントの内容を工夫して実施したことにより総参加者数は目標値を上回ることができた。
④長年にわたる地道な保護啓発活動の実績から，「R6年度カブトガニ成体捕獲数が35年ぶりの高水準」として報道発表を行った。これを契機にメディアへの露出が増加したほか，博物館学芸員による専門性の高いSNS発信が話題を呼んだ。これらの相乗効果などにより，カブトガニ保護に関わる人数と博物館入館者数の増加につながった。
⑤竹喬美術館のKPI「竹喬美術館特別展における満足度」について，2つの特別展のアンケートを分析した結果，「絵本作家 いわむらかずお展」では，初めて来館した人の割合が71.5％と高く，来館者層の拡大に寄与したことがわかった。「知られざる竹喬展」ではリピーターの割合が高かったものの，満足度も高く，竹喬の名前を冠した美術館として充実した顕彰活動ができたと考えられる。

自己評価理由：
　いずれの項目についても創意工夫に努めており，結果も順調である。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）**※「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
博物館・美術館： 人気グッズや新商品に期待。教育テレビでのカブトガニ博物館特集の館内放映を提案。	竹喬美術館では，新商品として木製アートボードの販売を開始しました。アンケートの要望欄にもグッズをもっと充実してほしいという記載があり，グッズを拡充していく予定です。 カブトガニ博物館では，来館者の満足度向上及びリピーターの確保において，魅力的なミュージアムグッズの開発や新商品の投入は重要であると認識しております。引き続き，当館の特色，収蔵資料に精通した学芸員の知見と創意工夫を凝らし，ラインナップの充実に努めてまいります。 また，テレビ番組の館内放映に関するご提案につきましては，来館者への効果的なアプローチに関する貴重なご意見として承りました。運用面における様々な視点や課題等も考慮しつつ，今後の館内運営の参考としてまいります。
入館者数の増加： 竹喬美術館は修繕後に大きく伸び，カブトガニ博物館も増加。ほぼ全指標達成	竹喬美術館では，竹喬の顕彰を軸に，来館者の裾野をひろげ，芸術に親しみ，理解を深めてもらうため，様々な切り口での展覧会を実施しています。令和9年度に空気調和機の修繕を控えており，入館者数は一時的に減少すると予測しますが，令和8・9年度には他館での竹喬巡回展を予定しており，全国規模での顕彰にも力を入れる予定です。 カブトガニ博物館では，魅力ある企画展の開催やSNSを活用した積極的な情報発信が功を奏し，入館者数の増加につながったものと考えております。今後もリピーターの確保や独自性のある誘客施策に努め，この増加傾向の維持・拡大を図ってまいります。
減少指標：文化事業参加者数や木山捷平文学選奨への応募者数の減少が残念。未達成指標への対応策が詳細で来年度に期待。	文化事業参加者数については，令和７年度から文化祭でデザイン・イラスト部門を新設したり，児童・生徒美術展において書道部門を新設するなど事業内容の工夫を行い，秋の文化事業とは例年別日程で開催していた児童・生徒美術展を同日開催することで，来場者数も含めた参加者数の増加に繋げることができました。笠岡市木山捷平文学選奨への応募者数については，令和７年度は短編小説賞の部門で９年ぶりに応募者数が２８０人を超えました。また，高校への働きかけで俳句と川柳の高校生部門の応募者も増加しましたが，全部門の応募者総数は微減となっているため，今後も笠岡市公式ＬＩＮＥへの記事の投稿や，公民館講座等での講座生へのPRなど，引き続き幅広い世代へ向けた広報活動等に努めて応募者数の増加を図ってまいります。
竹喬美術館： 特別展「芸術の都に集まった巨匠たち」で多くの来館者が楽しみ，初来館者も。財政難の中でも新しい風を吹かせ魅力発信の継続を要望。	竹喬美術館では，令和7年は，竹喬と同じく自然をテーマとした絵本作家 いわむらかずおの特別展を開催し，若年層の来館増加につながりました。引き続き竹喬芸術の魅力が伝わるように，多様な切り口で多くの人に来館いただけるように取組みます。
カブトガニ博物館： 毎年面白い視点の企画展を評価。10月のカブトガニ祭(地元中高生主体)は大盛況。SNSも話題で更なる来館者増を期待。	カブトガニ博物館では，魅力ある企画展の開催やSNSを活用した積極的な情報発信が功を奏し，入館者数の増加につながったものと考えております。今後もリピーターの確保や独自性のある誘客施策に努め，この増加傾向の維持・拡大を図ってまいります。

カブトガニ保護： 捕獲成体数が高水準で推移する成功事例を他施策にも活かす取組を要望。海に近い地域の子だけでなく，離れた地域の子にも笠岡の誇りとして愛着を持ってもらう仕掛け(クラブ活動レベル)を期待。	成体捕獲数が35年ぶりの高水準を記録した背景には，地域住民，事業者，博物館が一体となった地道な活動があります。この官民連携のノウハウを他の環境保全等施策にも展開できるよう，庁内で共有を図ります。 また，本市では市内中学生を対象とした「カブトガニ保護少年団」による干潟調査や，博物館による学校への出前講座など，笠岡独自の学習機会を提供しております。さらに令和７年度から新たな仕掛けとしてカブトガニマイスター養成講座（カブトガニへの餌やり，幼生観察などの体験型プログラムとカブトガニに関する座学を経た後に，家庭でカブトガニの飼育を行うもの。）を実施しました。これらの取組を通じて，誇りや愛着を涵養してまいりたい。
歴史資源の発信： 津雲貝塚など全国の教科書に載る笠岡市の誇りを子どもたちに伝える取組を要望。	津雲貝塚については，将来にわたり保存・活用・整備の取り組みが継続できるよう「保存活用計画」を策定しているところです。活用の前提として，津雲貝塚の何が重要なのか本質的な価値を再整理しながら，文化庁，専門家，地域の方を交えて議論し，令和９年度末に策定を完了する予定です。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・郷土館は減少していますが，カブトガニ博物館，竹喬美術館入館数は増加しています。しかし一つだけ，文化事業参加数や木山文学選奨への応募者数の減少となっているのが残念です。

・各指標とも順調と考えます。カブトガニマイスター養成講座は子ども達には勉強になると思います。多くの学生・生徒にその機会がありますように願います。

・多くの項目で指標達成のため順調としました。郷土館所蔵の災害の歴史に関する出張展示を図書館で拝見しました。地元笠岡の歴史を見ることができ災害の図書も借りる，まさに一石二鳥でした。郷土館の資料を学校や公民館などの講座に生かすような試みは続けてほしいと思います。

文化イベントについては最近の作品数，スタッフの負担なども考慮し開催期間を短くしたり，合同開催としたりされましたが問題はなかったと感じました。更に幅広い年齢層にご参加いただければと思います。竹喬美術館の「いわむらかずお展」では家族連れも多く，大変賑わいピーターも多かったようです。物販も多くの品揃えで大満足でした。カブトガニ博物館のSNSには面白い視点のものもがあり，いつも感心しています。カブトガニマイスター養成講座も家族で探求され良い試みと思います。子どもたちの探求学習のように大人でも探究できる機会があればよいかと思います。

・各指標が順調に推移する中，竹喬美術館の特別展が新たな来館者の増加に寄与するなど，文化・芸術振興の取り組みが着実に成果を上げています。今後も創意工夫を凝らした企画・事業を通じて，文化・芸術のさらなる振興と地域の魅力向上に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑵-③	生涯学習環境の整備
目指すまちの姿	生涯を通じた「学び」を暮らしと地域の力に変えるまち	

主担当課
生涯学習課

関係課

主な施策

①公民館・出前講座などの講座内容の充実や開催方法，申込方法の工夫に取り組む。
②市民団体などとの協働による学びの機会の充実を図る。
③地域学校協働活動の周知及びボランティアに係る情報発信・研修会の充実を図る。
④学習情報発信の強化を図る。
⑤巡回文庫業務(「かぶとがに号」や島しょ部への配本等)の充実を図る。
⑥紙の本での読書に困難を抱える人のためのサービスを拡充する。
⑦電子図書館導入に向けた検討を進める。

ＫＧＩ　生涯学習活動参加者延べ人数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	141,600	141,600	141,800	141,900	141,100
実績	141,063	130,563				
達成率	－	92.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　生涯学習講座受講者満足度　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	60	60	60	60	60
実績	－	82				
達成率	－	136.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　地域学校協働活動等で児童生徒1人当たりに関わる地域ボランティア人数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	9.9	10.0	10.2	10.1	10.6 #
実績	10.2	9.6				
達成率	－	97.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

ＫＰＩ　図書館の貸出者数（利用者カードを利用して本を借りた延べ人数）　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)
目標	－	55,000	55,100	55,100	55,200	55,300 #
実績	54,781	52,655				
達成率	－	95.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

達成状況　R7年現在
☑順調□遅延 □要修正

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	13,881	15,421	27,859	11,662	11,662	66,604
	実績	13,653	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	6,714	15,421	27,859	11,662	11,662	66,604
	実績	7,653	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　公民館活動助成事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	5,358	5,358	5,358	5,358	5,358
	実績	5,358				
うち一般財源	計画	5,358	5,358	5,358	5,358	5,358
	実績	5,358				
・公民館活動助成事業費補助金		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

「心ゆたかでたくましさのある人間尊重のまちづくり」を推進するために，市民の主体的な参加のもとに地区公民館単位で，住民自治組織が行う生涯学習まちづくりに対し，補助金を交付する。

2「いつでも　どこでも　だれでも」読書化推進事業【該当施策No⑤～⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,332	7,844	5,451	3,951	3,951
	実績	1,356				
うち一般財源	計画	1,356	7,844	5,451	3,951	3,951
	実績	1,356				
・電子図書館			⇨	⇨	⇨	⇨
・巡回文庫運行		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・読書バリアフリー		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民が時間や場所，障害の有無に関わらず読書に親しむことができる環境を整備し，多様な手段による読書機会の提供を通じて，読書活動への参加の促進と学びの基盤の充実を図る。

3 図書館事業【該当施策No⑤～⑦】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	7,191	2,219	17,050	2,353	2,353
	実績	6,939				
うち一般財源	計画	0	2,219	17,050	2,353	2,353
	実績	939				
・資料の収集，保存，提供		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・講座や行事の開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・子ども読書活動推進		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・学校等との連携		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

市民が多様な資料や学習機会に触れ，主体的に読書活動に親しむことができる環境を整備するとともに，学校や地域との連携を通じて読書活動の推進を図り，学びの基盤の充実と地域文化の理解の深化を図る。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

①講座受講後にアンケートを実施し，講座の満足度や理解度を知ることで，内容の充実につなげた。また，その他に興味のある分野を知ることで，より需要に沿った新規メニューの考案にもつなげることができた。(事業1)
②生涯学習フェスティバルでは，初出演・出展団体8団体を含む60団体が参加し，学びの発表を行うとともに，参加者に学びの機会を創出した。
③推進員や地域コーディネーターを対象として，地域学校協働活動に係る研修会を２回実施した。情報交換を含めることで，各地区の活動内容等を共有し，さらなる活動内容の充実につなげることができた。
④学習情報発信については，従来の紙による情報発信に加え，インスタグラムによる情報発信を開始した。これにより，タイムリーかつ手軽に学習情報を得ることができるようになった。
⑤～⑦図書館ではR8.3月からクラウド技術を導入した新システムを稼働開始した。これにより，マイナンバーカードのかざし利用や，回線障害時等の業務継続性が向上した。併せて，障がいを持つ方に配慮したホームページ（CMS対応）を新たに構築し，伝わりやすく迅速な情報発信が可能になったため，利用者の利便性が向上した。物価高騰の中ではあるが，システム更新及び運用コストは前回更新後5年間と比較し約3%減少する見込みとなった。また，こどもの読書活動を促す各事業を実施した。ブックスタート事業の事業費は昨年度比約２分の１に削減しつつ，内容の再検討により配付する絵本冊数は3冊を維持することができた。配付時には読み聞かせ指導や行事案内を行い，事業実施後の継続的な読書活動を支援した（あかちゃんといっしょのおはなし会5回開催，参加者数68人）。巡回文庫事業では，陸地部において新たに２か所からの巡回要望があり，合計29ステーションを巡回した。近年高齢者向け施設への巡回要望が増加していることから，来館できない市民の読書ニーズが今後も増加すると予測される。(事業2.3)

指標の実績：
・KGI「生涯学習活動参加者延べ人数」については，公民館講座受講者数，出前講座受講者数，生涯学習フェスティバル参加者数，図書館貸出者数の合計としているが，概ね目標値に近い実績となった。
・「生涯学習受講者満足度」については，講座受講者1,845名に対して行ったアンケート結果から「非常に満足」及び「満足」を選んだ人の割合を出しており，その割合は34.8%及び47.0%だった。
・「地域学校協働活動で児童生徒１人当たりに関わる地域ボランティア人数」については，ボランティア等延べ人数が25,574人となり，児童生徒１人当たりに関わる地域ボランティア人数は9.6人となった。
・「図書館」については，R7年度は開館日数を減らしたが，利用者数は7万人代を維持した。開館日数の減少率に比べて利用者数の減少率は小さく，開館日平均利用者数も7%増加（R7年度258人，R6年度242人）していることから，図書館の継続的な利用がうかがえる。また，事業費の削減の中で工夫し，費用対効果が向上した。（図書館への来館者数実績73,941人）

自己評価理由：
　児童生徒の減少や，担い手の高齢化等の課題があるなかで，おおむね順調に事業実施できているものと考える。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
指標の傾向： 増減はあるが全体的に頑張っていると評価。一方「生涯学習の推進」の市民意識調査満足度が前回より低下し気がかり。	生涯学習事業で実施するアンケート結果を次の取り組みに反映し，限られた予算の中で工夫をしながら，市民の皆様のニーズに応える事業を企画してまいります。 また，図書館は，財政健全化の一環として開館日数の見直しを行いましたが，利用者数は維持できています。引き続き様々な需要に応えられるよう，来館者をはじめ，来館できない市民へのサービス展開に努めます。
中高生の居場所： 公民館の利用状況を確認したい。	中央公民館では，令和6年10月より，中高生の居場所づくりの一環として，その日に利用がない部屋を学習スペースとして開放しています。中高生が利用しやすいように，学習スペースのスケジュールをインスタやホームページにて発信しており，令和6年度の１日平均利用人数は，1.5人でしたが，令和7年度は4.3人，令和8年度の4・５月は4.5人と，利用人数は増加傾向にあります。 また，地区公民館においても創意工夫をし，こども達の居場所作りに努めてまいります。
高齢者の交流： 認知症手前や認知症の方が孤立しないよう，認知症カフェ等の利用促進と気軽に参加できる仕組みづくりを要望。「ちぎり絵講座」は講師不在で消滅したがニーズあり。	高齢者の学び直しや社会参加の機会として，公民館の果たす役割はますます重要になっています。受講者アンケート等により，講座内容の充実を図りながら，魅力ある地域の居場所として，誰もが気軽に参加できる仕組みづくりに努めてまいります。 公民館講座の減少については，公民館の講座利用者や講師の高齢化が進み，やむを得ず休講・廃講となる事例が見られます。特に，新たな講師探しは困難な場合が多く，講師がいないという理由により，講座の継続ができなくなるという状況もありますが，一方で，新しい講座を開講した例もあります。今後もニーズを把握しながら講座の開拓に努めてまいりたいと考えております。
学校支援活動： 地域コーディネーターがまち協・公民館・企業・団体と更に連携することで人員確保しやすくなるとの提案。	社会状況の変化によりボランティアの方々が減少している中，人員の確保が大きな課題です。現在，地域学校協働活動推進委員や地域コーディネーターの方には，学校運営協議会の委員も兼ねていただき，公民館の協力を得ながら活躍いただいているところです。今後さらに，まち協・公民館・企業等との幅広い連携に目を向けた活動も視野に入れ，参加するボランティアの方の拡大に努めたいと思います。 また，様々な活動や連携のあり方を学ぶ研修会を開き，持続するボランティアの活動のあり方を考えていきたいと思います。
まちづくり出前講座： 無料で有難い。異常気象の昨今，防災講座は必須。市民に役立つ講座継続を要望。	防災講座の実施回数は，毎年年間実施件数の半数以上となっており，市民の興味関心の高さが現れています。今後も継続して講座を行うとともに，受講者アンケートを実施することによって現存の講座内容の充実を図りつつ，需要に沿った講座を考案したいと考えております。
青少年育成： 保護者が祖父母に移行する家庭も多く継続的な支援が必要。イベント減少傾向の中，参加者の縁や社会性を断ち切らない支援を意識した取組を要望。	以前よりもイベントを削減していますが，減らすだけではなく，代替となる新しい取組にも臨みたいと考えております。また，その情報発信にも努めたいと思います。
高齢者の社会参加： 自宅にこもりがちな高齢者が地域活動等に参加できる施策を期待。	自宅にこもりがちな高齢者に届く，学習情報の発信方法の工夫に努めるとともに，アンケート結果等をもとに，魅力ある講座メニューの考案に努めてまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調　○	順調	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント
・ほぼ順調ですが，生涯学習活動参加者延べ人数が92.2%と少なくなっています。これは遅延かもしれないです。 ・担い手の高齢化で，地域ボランティアの人数が微減。参加できやすい土・日を講座やイベント開催にしたら参加者増につながると思います。 ・R8年度から実施の電子図書については移動手段に不便を感じる方にとっても便利なツールになると思います。高齢者向け施設への巡回要望も増加しているようですが，紙媒体だけでなく電子図書で対応することも可能でしょうか。施設のタブレットを利用することで文字を大きくしたり，音声読み上げなど新しい形で提供することもできそうに思います。 各事業において利用者の声を聞いたり，分析・工夫され素晴らしいと思います。市全体における生涯学習として捉えると更に見えてくるものもあるのではないでしょうか。（ことぶき大学など） 地域学校協働活動の地域ボランティアについては今後，小規模多機能自治を進める中でまちづくり協議会，その他の団体・個人の協力を得るチャンスも増えると思います。 インスタグラムの情報発信についてはこまめに更新してくださり便利です。若者の意見を聞かれながら改善していくと更に見てくださる方も増えるのでは？ ・図書館におけるDXの推進は，市民の利便性向上に大きく寄与するものであり，また障がいのある方への配慮も着実に進んでいることは，誰もが利用しやすい図書館づくりの観点から高く評価できます。引き続き，すべての市民が利用しやすい環境整備に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑵-④	多様な生き方の尊重と理解促進
目指すまちの姿	多様な生き方を認め合い，お互いの人権を守り，共に支え合うまち	

主担当課
人権推進課

主な施策
①家庭，学校，職場，地域などあらゆる場や機会における，各種団体，企業，学校等と連携した人権教育・啓発を推進する。 ②人権施策推進委員会を活用し，市民の意見を反映させ，人権施策の充実を図る。 ③笠岡市長期欠席不登校総合対策を推進する。 ④男女共同参画推進センターの機能を強化し，男女共同参画に関する啓発を推進する。 ⑤生命の尊さを学ぶ機会を提供し，非核平和の実現に向けた啓発を実施する。

関係課
学校教育課

ＫＧＩ　「自分にはよいところがあると思いますか」に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合　**（小　%）（中　%）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	44.7	45.1	45.8	46.4	47.0	☑順調□遅延 □要修正
	－	40.9	41.4	41.9	42.4	43.0	
実績	44.1	47.8					
	40.4	45.1					
達成率	－	106.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	110.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　長期欠席・不登校の出現率　**（小　%）（中　%）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	1.16	1.06	0.95	0.85	0.75	☑順調□遅延 □要修正
	－	4.08	3.81	3.54	3.27	3.00	
実績	1.27	1.41					
	4.35	3.68					
達成率	－	121.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	－	90.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　審議会等委員に占める女性の割合　**（%）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	41.2	42.2	43.1	44.1	45.0 #	☑順調□遅延 □要修正
実績	40.3	40.2					
達成率	－	97.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　市職員の女性管理職の割合　**（%）**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	☑順調 □遅延 □要修正
実績	29.6	29.0					
達成率	－	93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	25,416	24,088	28,437	24,139	24,139	100,803
	実績	23,041	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	22,552	22,617	26,985	22,687	22,687	94,976
	実績	20,971	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　多様性を尊重する人権教育推進事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,090	940	940	940	940
	実績	599				
うち一般財源	計画	1,068	918	918	918	918
	実績	599				

・自立促進事業（学習会）	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権教育推進事業（人権推進委員会）	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権学習機会提供事業（地域公民館人権啓発事業）	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権学習機会提供事業	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権教育指導者養成講座事業	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権教育研究協議会（市人権）	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・ＰＴＡ人権教育	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

学校教育をはじめとした教育活動全体を通じた計画的・継続的な人権教育を推進し，多様性を尊重する人権教育を積極的に実施する。

2　人権理解の促進・人権啓発事業　【該当施策No1】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	4,546	4,877	4,900	4,900	4,900
	実績	4,053				
うち一般財源	計画	3,925	4,247	4,270	4,270	4,270
	実績	3,432				

・各種団体等と連携した人権講演会，研修会，出前講座開催事業（人権週間のつどい講演会・人権文化祭・人権啓発講座等）	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・吉田文化会館運営事業	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・教育集会所運営事業	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

さまざまな人権に関わる課題（女性，こども，高齢者，障がいのある人，同和問題，患者，ＳＮＳによる人権侵害，性的マイノリティ，ハラスメントなど）の解決やその理解促進を目的として，人権講演会や研修会，出前講座，展示広報活動などの啓発事業や分野別の取組を，地域，家庭，職域等の場や機会において継続的に実施展開する。

3 多様な人権課題の解決に向けた人権施策推進事業【該当施策No②】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	183	173	173	173	173
	実績	183				
うち一般財源	計画	76	73	73	73	73
	実績	76				
・人権施策基本方針の推進		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権施策推進チーム会議（庁内）の開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・人権施策推進委員会の開催		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・貸金貸付金の償還促進		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

人権施策基本方針その他人権施策について調査・審議及び推進する，人権施策推進委員会や庁内横断・連携体制のチーム会議を通じて，市の各種施策に関する事業計画の策定やその推進状況の管理，諸課題の解決のための事業提案などに取り組む。
生活環境等の安定向上と整備改善のため実施した資金貸付金の過年度分の滞納整理等，円滑な償還を促進する。

4「笠岡市長期欠席・不登校総合対策」推進事業【該当施策No③】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	18,411	17,375	17,400	17,400	17,400
	実績	17,126				
うち一般財源	計画	16,297	16,656	16,700	16,700	16,700
	実績	15,784				
・いじめ不登校対策総合推進事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・飛島相談室		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

新たな不登校を生まない取組を強化するとともに，すでに登校困難となっている児童生徒に対して居場所を確保し，状態を向上できる取組やそうした場で支援を受けることができるようアウトリーチ支援を行うなど，誰一人取り残さず，すべての子どもが社会的自立に向けた基礎を身に付けられるよう総合的な取組を展開する。

5 男女共同参画推進・啓発事業【該当施策No④】 （千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	126	126	4,424	126	126
	実績	73				
うち一般財源	計画	126	126	4,424	126	126
	実績	73				
・ウィズプランの推進		⇨	⇨	第６次プランの策定	⇨	⇨
・審議会等の委員への女性の積極的登用（積極的改善措置）		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・笠岡市特定事業主行動計画（女性キャリア形成支援等）の推進		⇨	第5次行動計画策定	⇨	⇨	⇨
・男女共同参画推進センター（てらすセンター）啓発・女性相談（主にDV相談等）事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

性別による思い込みや固定的な役割分担意識をなくし，あらゆる場面で男女が対等な立場で意思決定に参画でき，個性と能力を発揮し，活躍できることを目指す社会づくりを推進する。
市の各種施策に関する男女共同参画の視点による事業計画の策定やその推進状況の管理等をはじめ，てらすセンター機能として，性別による差別的扱いや人権侵害に関する相談等（主に女性）の相談事業を実施する。

6　平和事業【該当施策No⑤】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,060	597	600	600	600
	実績	1,007				
うち一般財源	計画	1,060	597	600	600	600
	実績	1,007				
・平和祈念式事業		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・小中学校の平和学習		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・笠岡市非核平和都市宣言の啓発		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容
過去の戦争や原爆での犠牲者への追悼，平和の尊さや生命の大切さを学び後世に継承する場・機会として，平和祈念式を実施する。 また，地域，家庭，学校などにおける平和学習の実施や非核平和を啓発する取組等を継続的に実施する。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

①小・中学校人権教育担当者会を年2回開催し，教職員の専門性向上と組織的な取組を強化し，PTA連合会研修会では保護者世代の人権意識の啓発を図るなど，学校における多様性を尊重する人権教育を積極的に推進することができた。また，地域全体での人権啓発活動 として，保・こ・幼・小・中ブロック研修会，人権週間のつどい，人権文化祭，地域公民館人権啓発事業などを実施することで，多層的な啓発機会を創出した。加えて，啓発事業の実施形態を，他団体との連携及び共同開催での事業展開とすることにより，市民ニーズに応じた人権課題をより明確にしたテーマを取り上げることができ，連携事業を通して，対象としたい層（特に若年層や保護者層）や新規の参加者層へのはたらきかけへの協力体制が奏功し，対象者に届く人権意識高揚の場の提供，人権問題への理解促進の機会創出につなげることができた。(事業1.2)

②人権施策基本方針その他人権施策について調査・審議及び推進する，人権施策推進委員会や庁内横断・連携体制のチーム会議を通じて，市の各種施策に関する事業計画の策定やその推進状況の管理をおこなった。当該情報交換の場を通じて，連携事業のきっかけづくりや諸課題の解決のための事業提案などにつなげることができた。

また，生活環境等の安定向上と整備改善のため実施した資金貸付金の過年度分の滞納整理等，償還金収納事業では，一部，一括償還事案を導くことができた。その他については前年度並みの収納率を確保することができた。(事業3)

③総合教育相談支援センターを中心とした「笠岡市長期欠席・不登校総合対策」の推進し，「新たな不登校を生まない」「居場所を中心とした支援の充実による状態の好転」を目標とした総合対策を展開した。特に中学校で，長期欠席者数は80名（R5）から68名（R7）に減少し，新規不登校者数は13名（R6）から8名（R7）に改善するなど顕著な改善が見られた。また，笠岡市総合教育相談支援センターの移設に伴う，学校支援・訪問支援・通室支援の機能強化を行うことにより，教育相談・支援対応総数は1,134名（R5）から2,193名（R7）に倍増し，通室児童数も5名に増加した。(事業4)

④「第４次かさおかウイズプラン」を基に，てらすセンターの市民向け啓発事業として，男女共同参画，女性活躍の推進，DVの根絶について目的別に参加者やテーマを選定した講座や研修会に取り組んだ。高校生対象での「アンコンシャス・バイアス」「デートDV」出前講座，小・中・高校生対象とした理工系分野への男女間での進路選択の課題解消の一助とした「理工系人材ロールモデルによる出前授業」を展開し，いずれも次年度以降も継続実施希望の評価を得た。DV相談窓口件数は，センターＲ７年度実績61件中，約３分の１の21件となった。その大半は，緊急の初動対応が奏功するケースや，他組織等の支援につながったり，解決に向けての対策が導けたりするケースとなり，庁内・行政機関との連携に加え，NPO法人等民間の関係機関とのますますの連携や重層的支援体制のさらなる強化を図る必要性を感じている。

また，市職員の女性管理職（係長相当職以上）の割合を，笠岡市特定事業主行動計画の目標の一つとして掲げており，Ｒ７年度は女性割合が課長補佐以上が25.9％で係長級が38.4％となった。引き続き，女性職員の意識啓発等（女性キャリア形成支援研修の実施・キャリア形成に向けた働き方の実現）の取組を実施して個人の意識の高揚を図ることに加え，必要と考える制度的な外的要因からのサポートについて検討していきたい。(事業5)

⑤戦後80年の令和７年度は，過年度実施の戦没者追悼式と原爆死没者鎮魂式として実施してきた２つの式典の合同開催を試み，笠岡市遺族連合会と笠岡市非核平和都市宣言実行委員会の協力を得て，「平和祈念・笠岡市戦没者追悼式」として開催することができた。式典を通じ，高齢者から小学生までの幅広い世代に対し，非核平和や生命の尊さ，平和の重要性について効果的な啓発の機会となった。特に，小中高校生の参列は，若い世代への戦争の悲惨さと平和の尊さの継承に繋がり，将来の平和意識醸成に大きく貢献した。今回の連携事業は，次年度以降，「笠岡市平和祈念式」として完全合同開催を実現するための重要な布石となり，中学校等の式典参加により，より多くの若い世代への啓発が期待される。

吉田文化会館を会場として実施の「人権文化祭」の機会を捉え，特別企画による戦後80年パネル展示と非核平和等のDVD視聴コーナーを設定し，平和継承活動の一助とすることができた。(事業6)

指標の実績：

・KGI「自分にはよいところがあると思いますか」の指標に対する達成率は, 小学校で106.9%，中学校で110.3%と目標を大きく上回った。これは, 小・中学校人権教育担当者会やPTA研修会等を通じた多様性尊重の人権教育の充実, 地域全体での啓発活動が寄与したと考えられる。

・KPIである長期欠席・不登校の出現率では，総合教育相談支援センターを中心とした対策により，中学校で顕著な改善が見られ，長期欠席者・新規不登校者数が大きく減少した。

・KPIである審議会等委員に占める女性の割合では，庁内関係課や関係団体・推薦母体に対し，審議会等の委員改選前の早い時期に男女共同参画の重要性についての周知や，構成団体等の見直しを働きかけることで，目標値を見据えた男女比率を維持できた。

・KPIである市職員の女性管理職（係長相当職以上）の割合では，Ｒ７年度は女性割合が課長補佐以上が25.9％で係長級が38.4％となっており，今後は数値が上がっていくことが予想される。

自己評価理由：

・KGI，KPIのすべての達成状況がおおむね順調であること

・笠岡市総合教育相談支援センターのＲ７移設に伴う，学校支援・訪問支援・通室支援の機能強化の効果

・笠岡市財政健全化での各種事業の見直しや廃止を受けて後の初年度の事業展開において，他部署・他団体組織と連携協力した取組につなげ，人権課題解決に向けての市民の理解促進を図ることができた

以上の点を評価したもの。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題：
対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
全体評価： 指標の増減はあるが，全体的に職員の頑張りを評価。今後も期待。	多様化・複雑化する人権課題や，新たな人権問題，社会情勢や市民意識の変化など，実情に適応した取組につなげられるよう，引き続き課題を共有し，研鑽を積んでまいります。
女性委員の割合： 審議会等委員に占める女性の割合がR4から年々減少。市民意識調査でも同傾向で対応を要望。	笠岡市男女共同参画推進条例では，「積極的改善措置」（社会のあらゆる分野における活動に参画する機会についての男女間の格差を改善するため，必要な範囲において男女のいずれか一方に対し，当該機会を積極的に提供する）を規定しているところです。 条例の施行時（平成15年）には女性の審議会参画率の割合が低かったため積極的改善措置に取り組むことにより，女性の割合は向上し，近年40％超を維持できているところです。ご指摘のとおりここ数年若干微減傾向にあります。審議会によっては構成組織団体や専門職等の特殊事情がある場合もありますが，引き続き，各種審議会が，男女間の偏りによる弊害がない中で，積極的なご意見やさまざまな合意形成がしっかりできる場・組織体となるよう，推薦母体や審議会事務局へ，働きかけてまいります。
平和の取組： 満足度が年々減少。戦後80年で戦争体験の継承が困難に。子ども・若者が考える機会の創出を要望。身近な平和から戦争まで継続的に語り継ぐ支援を期待。	今後も市内全中学２年生が取り組む「平和学習」の機会の継続とともに，戦没者追悼式や原爆死没者鎮魂式を，戦後81年目の令和８年度から「笠岡市平和祈念式」として，ご遺族や被爆者の皆様，また関係組織と子ども・若者がともに平和な未来に思いつなぐ場や機会となるよう進めてまいります。加えて，笠岡市民の皆様とともに継続できるかたちを模索していきたいと考えています。
まち協の女性役員： 役員は3割と少ないが実際の関わりは女性が多い印象。当て職での継続ケースがあり，各団体での見直しを提案。	まちづくり協議会組織の役員は，各種団体の長で構成されているところが多く，ご指摘のように固定継続のケースも散見されます。 一方で，活動別の部会の代表が役員として所属できるようなまち協では女性役員も一定数おられるケースもあります。 このたびご提案いただきました視点や，団体の中でも好事例の団体運営を実施しているまちづくり協議会の組織体制についても今後の業務の参考とさせていただきます。

テラスセンターの周知： HPでは検索可能だが市のLINEでは見つからない。相談者が相談しやすい方法の検討を要望。	DVなど緊急性を要する案件をはじめ，離婚・夫婦間トラブル，養育問題，生活困窮等，困難を抱える女性からの幅広い相談事案を市内外，県外からもお受けしています。当センターをはじめの入口として相談されるケースばかりでなく，他部署や民間関係機関などから関連事案として照会があり，連携して重層的支援体制で取り組む相談のケースなど多様です。ご指摘のとおり，相談窓口の周知及び相談支援体制が十分でなく，今後の強化が一層重要であるものと認識しております。あわせて，相談業務に関わる職員の資質の向上も重要なポイントだと考えます。 一例ですが，近隣市町と広域連携で取り組む「倉敷市DV相談専用ダイヤル」（令和８年７月１日から笠岡市民も電話相談可能）が開設されることから，当センターの周知とあわせ，より相談しやすい方法の一つとしてもお知らせしていきたいと考えます。
啓発の強化： 「人権尊重・男女共同参画の推進」「平和の取組」の満足度達成率が悪く，市民への啓発方法の工夫を要望。人権はあらゆる施策に関わる重要な取組として可能な限りの啓発を期待。	人権施策やその啓発については，継続実施の取組の必要性を大いに感じております。人権はさまざまな施策に関わることから，庁内に人権施策推進チームを設置し，各課に人権・男女共同参画担当職員を配置，あわせて，外部有識者等で構成する人権施策推進や男女共同参画推進の委員会にて幅広いご意見を頂戴し行政施策に反映させてきております。しかしながら，ご指摘のとおり啓発の課題や新たな人権課題への対応など十分とは言えず，市民への浸透，満足度向上にはまだまだ課題はあります。 一部署の取組だけでなく，他部署，他団体・組織と連携する中で，市民ニーズにあった取組やその啓発の方法，啓発の対象者に伝わる内容等の工夫を意識しておこなっていきたいと考えます。
人権を考える集い： 毎年思考を凝らした面白い内容で評価。違いを認め合えない風土が子どもの世界にも残る中，継続的な取組を要望。	多様性を認め合い，互いに支え合う共生社会の実現に向けて，人権を正しく理解し，身近な日常生活の中で活かせる人権感覚を身につけられるような啓発が求められています。人権講演会や研修会事業は過年度若年層の参加が少ない傾向があることから，対象やテーマ，講師の選定，周知方法など引き続き工夫や配慮をもって取り組む必要があると考えます。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・長期欠席・不登校の出現率が中学校では低くなっています。これは昨年と比べて少なくなっていますが，目標と比べて高いです。回答にも中学校で顕著な改善が見られたとあります。
・ＫＰＩの審議会等委員に占める女性の割合と市職員の女性管理職の割合が未達ですので，遅延とします。
・それぞれの事業を通して，前年度までの課題に対して真摯に取り組まれていることが年度評価・進行管理から読み取ることができました。人権教育については連携事業を通して対象としたい層へ提供することができたようです。LGBTQや不登校についての理解は年代によって様々かと思います。誰もが住みやすい社会となるよう理解促進に繋がるサポートを引き続きお願いします。
パートナーシップ宣誓制度については最近あまり耳にしませんが，制度内容など見直しは必要なくスムーズなのでしょうか。高齢期まで生きやすい笠岡市であることを願います。
・戦後80年が経過し，戦争の悲惨さや平和の大切さを次世代へ継承することが難しくなっています。ウクライナ・ロシア間の戦争や中東情勢の緊迫化など，世界では今なお紛争が続く中，平和への意識を風化させることなく，引き続き平和啓発施策の推進に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	3-⑵-③	楽しさや喜びにつながるスポーツの推進
目指すまちの姿	いつでも，どこでも，だれでも，スポーツが楽しめるまち	

主担当課
スポーツ推進課

主な施策
①いつでも，どこでも手軽にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む。 ②高齢化が進む中で，健康寿命の延伸にスポーツが重要であることの啓発を推進する。 ④競技スポーツを推進するため，指導者の育成を図る。 ⑤プロスポーツの試合観戦や，トップアスリートとふれあう機会の確保に努める。

関係課
健康推進課
学校教育課

ＫＧＩ　幼児期・児童期にスポーツ教室に参加する割合（６種目）　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	6.3	6.7	7.0	7.4	7.7 #	□順調☑遅延 □要修正
実績	6.0	5.1					
達成率	－	81.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　市内スポーツ施設の利用人数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	304,081	310,561	317,041	323,521	330,000 #	□順調☑遅延 □要修正
実績	297,601	300,241					
達成率	－	98.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　各種スポーツ大会・教室の参加者数（市民スポーツ大会・ 教室）　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	1,527	1,557	1,587	1,617	1,650 #	☑順調□遅延 □要修正
実績	1,497	1,806					
達成率	－	118.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　スポーツ推進委員の派遣による地域スポーツの実施　（回）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	70	71	72	73	75	□順調☑遅延 □要修正
実績	69	54					
達成率	－	77.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	99,694	109,656	109,656	109,656	109,656	438,624
	実績	99,694	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	61,764	75,369	75,369	75,369	75,369	301,476
	実績	61,764	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　スポーツ教室実施事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11	左欄の事業内容
事業費	計画	290	319	319	319	319	スポーツ教室の実施
	実績	290					
うち一般財源	計画	168	167	167	167	167	
	実績	168					
・スポーツ教室実施事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

2 スポーツ推進委員派遣事業【該当施策No①②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11	左欄の事業内容
事業費	計画	1,232	1,087	1,087	1,087	1,087	スポーツ推進委員派遣を通じた，スポーツの普及推進
	実績	1,232					
うち一般財源	計画	1,232	1,087	1,087	1,087	1,087	
	実績	1,232					
・スポーツ推進委員派遣事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

3　市民スポーツ振興事業【該当施策No②③④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11	左欄の事業内容
事業費	計画	4,584	5,669	5,669	5,669	5,669	スポーツ大会等の実施を通じた市民のスポーツへの参加機会創出・スポーツ振興
	実績	4,584					
うち一般財源	計画	4,362	5,195	5,195	5,195	5,195	
	実績	4,362					
・市民スポーツ振興事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

4　体育施設管理事業【該当施策No①④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11	左欄の事業内容
事業費	計画	50,875	51,708	51,708	51,708	51,708	体育施設の管理を通じた，いつでも手軽にスポーツを楽しめる環境づくり
	実績	50,875					
うち一般財源	計画	49,349	51,447	51,447	51,447	51,447	
	実績	49,349					
・体育施設管理事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

5　総合スポーツ公園体育施設管理運営事業【該当施策No①④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11	左欄の事業内容
事業費	計画	41,461	49,391	49,391	49,391	49,391	総合スポーツ公園体育施設の管理を通じた，いつでも手軽にスポーツを楽しめる環境づくり
	実績	41,461					
うち一般財源	計画	5,489	16,088	16,088	16,088	16,088	
	実績	5,489					
・総合スポーツ公園体育施設管理運営事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	

6 海洋センター管理運営事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,252	1,482	1,482	1,482	1,482
	実績	1,252				
うち一般財源	計画	1,164	1,385	1,385	1,385	1,385
	実績	1,164				
・海洋センター管理運営事業		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容
海洋センターの管理運営を通じた，いつでもスポーツを楽しめる環境づくり （海洋センターについては，廃止に向けて公有財産管理課と協議中。）

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果	自己評価 達成状況 R7年度
スポーツ教室を通じて，市民にスポーツに親しみを持ってもらい，競技をするきっかけづくり，また，健康づくりになるよう努めることができた。 また，スポーツ推進委員を派遣して，幼児から高齢者，障がいがある方も一緒にスポーツを楽しめるニュースポーツの普及振興に努めることができた。 市民スポーツ大会をはじめ，べいふぁーむ笠岡マラソン大会等を通じて，スポーツ，レクリエーションに参加する機会を通して相互の親睦を図り，健康で明るい市民性を養った。 体育施設については，利用者が快適に施設を利用できるよう適切な管理運営に努めるとともに，市民の運動への参加機会を増やすことができた。 令和８年度から，第４期 笠岡市教育振興基本計画が始まっており，基本方針の一つである，楽しさや喜びにつながるスポーツ等の推進に基づき，引き続き，誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境の整備や，スポーツレベルの向上を目指した競技スポーツの推進，生涯スポーツの推進を図りたい。	
指標の実績： 各種スポーツ大会等の参加者数は増加傾向で目標を上回っており，順調に推移している。 市内スポーツ施設の利用人数についても増加傾向にある。	
自己評価理由： 各種スポーツ大会等の参加者数は増加傾向で目標を上回っており，順調に推移しているため。また，市内スポーツ施設の利用人数についても増加傾向にあり，市民の運動への参加機会やスポーツの普及振興を図れているため。	△遅延

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題： 幼児期・児童期にスポーツ教室に参加する割合の目標達成 スポーツ推進委員の派遣による地域スポーツの実施
対応： スポーツ教室は，対象者への開催案内の周知をより一層推進する。また，ニュースポーツの普及振興のため，スポーツ推進委員の派遣制度の周知を推進する。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
全国・世界大会出場者数： 大幅増で大変喜ばしい。選手への支援活動充実の表れと評価。継続を期待。	前年度の全国・世界大会出場者数に関する温かい評価と，選手への支援活動への継続のご期待をいただき，市といたしましても大変光栄に存じます。 今後とも競技者の資質・能力を最大限引き出せるよう，アスリート競技の育成を図ります。 選手の皆様の日頃からのたゆまぬ努力はもちろんのこと，指導者の皆様，保護者の皆様，そして関係団体の皆様の多大なご尽力の賜物であると深く認識しております。 市といたしましては，今後も引き続き現行の支援策の維持・充実を図ってまいります。
スポーツ推進委員の市内派遣： ニーズ増加によるものと思われ，ニュースポーツは手軽な運動のきっかけとして今後需要増が予想される。一方，財政健全化で1/3カットの中，継続可能性を懸念。部活動地域展開の指導者としての活用も提案。	市民の皆様の健康増進や生涯スポーツの推進において，スポーツ推進委員の皆様が担う役割の重要性は年々高まっており，特に手軽に始められるニュースポーツに対する需要が増加していることは，市といたしましても強く認識しております。委員の皆様のご尽力により，市内各地域で多様なスポーツ活動が展開され，市民の皆様の健康づくりに大きく貢献いただいていることに心より感謝申し上げます。 ご指摘のとおり，本市は財政健全化に取り組んでおり，限られた予算の中で効率的な運営に努めてまいります。 部活動の地域展開は，国の動きも踏まえ，本市においても喫緊かつ重要な課題であると認識しております。部活動の地域展開は指導員の資格が必要となります。笠岡方式の多様で魅力的な地域部活動の場の確保に努めてまいります。ご提案いただきました活用方法については，教育委員会とも協議し，実現可能性を含め具体的な検討を前向きに進めてまいります。
市内体育施設：利用者数増加の中，市民の割合を確認したい。市民・市外利用者の料金差別化の有無(井原市は市外2倍)，物価高騰を踏まえた料金改定の考えを確認したい。	施設予約システムの登録者数から算出した割合は，市民の割合が５割，市外の方の割合も５割と，ほぼ同じ割合となっていることから，利用人数についても同じ割合で，広くご利用いただいているものと認識しております。 市内体育施設の使用料金は，市民と市外の方で料金の差別化を図っています。 公共施設の利用について，特定のサービスは，利益を受ける方（受益者）と利益を受けない方の不公平が生じないよう，受益者に相応の使用料を負担していただくことが基本的な考えとなります。使用料が過小の場合，本来受益者が負担すべき費用を市民全体の負担（税金など）により賄うこととなり，公平性に欠けることとなります。 昨今の物価高騰を踏まえ，昨今の労務単価の上昇や物価の高騰により維持管理経費は増加傾向にあることから，経費を基にコスト計算等を行った上で，使用料について平均で約１．２５倍の改正となりました。

スポーツ普及： 　各種大会・教室の参加者目標達成を評価。今後は各公民館でのニュースポーツ体験を通じた新規講座開設・参加者増を要望。	スポーツ推進委員は，公民館協議会でニュースポーツの派遣の説明をし，派遣依頼に基づき公民館における市民のニュースポーツの体験や指導，普及活動を行っております。 　ニュースポーツは幼児から高齢者，障がいのある方まで，年齢や運動能力を問わず誰でも気軽に楽しめる特性があり，生涯スポーツの推進に寄与するものと考えております。
部活動地域展開： 　今後のスポーツ振興に大きく影響する重要施策として継続推進を要望。	部活動の地域展開は，国の方針で，令和１３年度までの移行期間の中で取り組んでおります。令和８年度は，地域部活動推進コーディネーターの配置，部活動指導員の確保（アンケートの実施）等を実施することとしております。
小学生陸上記録会： 　廃止予定との情報あり。タイム計測が苦手な教員に学校単位での計測が委ねられる現状に懸念。財政事情は理解するも，子どもたちの体験機会を切り捨てず，各種団体・保護者への呼びかけ等代替策の検討を要望。	委員さんのご指摘のとおり，令和７年度から小学生陸上記録会は中止となっておりますが，市のスポーツ教室は毎年実施しているとともに，地域クラブ（笠岡陸上クラブとアスリートジャパン）においてこどもたちが陸上競技をする機会を提供しており，こどもたちの体験機会の充実により，全国・世界へ羽ばたき活躍しています。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント

・生涯健康であるために各地区（公民館・集会所等）で１００歳体操のみならずニュースポーツ（ボッチャ等）を定期的に実施すべきと思います。
・他の課に比べて自己評価が厳しすぎるのではないかと感じました。
スポーツ推進員については経費削減されており派遣の回数を減らすことで調整していると説明されましたが，KPIでは目標は増加とあり矛盾しているようです。笠岡市民の運動習慣率は低いので見直す必要はないのでしょうか。健康，福祉，地域での繋がり，様々な面でもプラスになるかと思います。
スポーツ教室については，送迎などの保護者負担が以前より課題となっている声を耳にします。
海洋センターは廃止の方向とのことで安心しました。
事業費カットの中，各大会の形を変えながらの実施には頭が下がりました。
体育施設の利用料金値上げが利用頻度に悪影響がないか心配です。
部活動の地域展開に期待しています。
・部活動の地域展開については，各種競技団体との調整など難しい面もあるかと思いますが，子どもたちのスポーツ活動の場を確保するため，引き続き推進に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	(1)-①	安定した財政基盤の確立
目指すまちの姿		将来にわたって持続可能な財政基盤の確立

主担当課
財政課

関係課
税務課
ふるさと寄附課

主な施策

①財政調整基金や公共施設整備費引当基金等への積立を行う。
②市債の発行を抑制する。
③新たな自主財源の確保に努める。(適正な課税客体の把握，収納率の向上，使用料手数料の見直し等)
④ふるさと納税の推進による安定的な基金積立を行う。(パートナー事業者の獲得，新たな返礼品の創出，企業版ふるさと納税，ガバメントクラウドファンディング等)

ＫＧＩ　財政調整基金残高　（億円）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	9.2	9.8	10.8	12.3	13.8 #	☑順調☐遅延 ☐要修正
実績	6.8	12.7					
達成率	－	138.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　将来負担比率　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	68.2	66.8	67.2	61.9	52.9 #	☑順調☐遅延 ☐要修正
実績	57.6	53.8					
達成率	－	126.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

ＫＰＩ　課税客体の的確な把握及び企業誘致等による新たな税財源の確保　（百万円）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	15.0	30.0	45.0	53.0	53 #	☐順調☑遅延 ☐要修正
実績	－	9.0					
達成率	－	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　ふるさと納税の推進による基金積立額　（百万円）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	355	355	355	355	355	☑順調 ☐遅延 ☐要修正
実績	283	352					
達成率	－	99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	956,600	892,400	927,400	925,400	935,400	3,680,600
	実績	906,679	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	85,000	140,000	175,000	173,000	183,000	671,000
	実績	139,739	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　公共施設整備費引当基金の積み増し【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	70,000	80,000	100,000	90,000	100,000
	実績	130,327				
うち一般財源	計画	70,000	80,000	100,000	90,000	100,000
	実績	130,327				
・未利用地及び施設の売却・貸付等による基金積み増し		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

大規模ハード事業や公共施設の更新・長寿命化事業における多額の
単年度負担に対応するため，年次的な積み増しを行う。

2 使用料・手数料の見直し【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費（歳入）	計画	-	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績	-				
うち一般財源	計画	-	30,000	30,000	30,000	30,000
	実績	-				
・使用料・手数料の見直し		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

財政健全化の取り組みの一環として，4年に1度使用料・手数料の見直しを実施する。

3　適正な課税客体の把握，収納率の向上【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費（歳入）	計画	15,000	30,000	45,000	53,000	53,000
	実績	9,400				
うち一般財源	計画	15,000	30,000	45,000	53,000	53,000
	実績	9,400				
・課税客体の的確な把握 ・収納率の向上 ・企業誘致等による新たな税財源の確保		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

課税客体の的確な把握による市税の増，収納率の向上による市税等の増，企業誘致等による新たな税財源の確保を図る。

4　ふるさと納税推進事業【該当施策No④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	871,600	752,400	752,400	752,400	752,400
	実績	766,952				
うち一般財源	計画	0	0	0	0	0
	実績	12				
・新たな返礼品の開発 ・ガバメントクラウドファンディングの推進 ・企業版ふるさと納税の推進		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

寄附による財源（積立金）を確保するとともに，返礼品の開発，登録，販路拡大等による地場産業の育成等の事業者支援を実施する。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

令和5年度からの急速な物価・人件費高騰の影響により，財政調整基金は2年連続で大幅に減少することとなり，令和7年2月に事業見直しや人件費カット・歳入確保策等を盛り込んだ財政健全化プランを策定しました。

健全化プランの初年度である令和7年度は，プランの着実な実施や行革推進債の借入などにより財政調整基金残高について令和7年度末に12.7億円を確保し，令和6年度末の6.8億円から増加しました。

市税の課税客体の的確な把握及び企業誘致等による新たな税財源の確保については，未申告者や有害鳥獣駆除班捕獲活動に係る報酬の申告勧奨，太陽光発電設備設置者の把握及び滞納者の捜索や公売会の実施により，940万円の税財源を確保しました。

ふるさと笠岡思民基金寄附金については前年比134％となる約７億２千万円を確保しました。また，ガバメントクラウドファンディング寄附額は総額262万円，企業版ふるさと納税については物納含め約２千万円の寄附を受け入れるなど，財源確保に寄与しました。

また，パートナー事業者の登録については100事業者，1,000品目を超え，返礼品提供のみならず，事業者相談会，イベント実施などによる販路拡大等の支援も行いました。

世界経済の先行きの不透明感が増す中，本市の財政状況は，物価や労務単価の急速な上昇等による歳出の増大により，依然として非常に厳しい状況にあります。引き続きプランの着実な実施により，災害等の緊急の財政需要に対応できるよう残高の確保に努めてまいります。

指標の実績：

財政調整基金残高は，令和6年度末の6.8億円から令和7年度末見込みで12.7億円となり，健全化プランの目標値である令和11年度末の13.8億円に向けて順調に推移しています。

また，公共施設整備費引当基金の残高も令和6年度末の2.3億円から令和7年度末見込みで3.6億円となり，プラン(プラン値：3.0億)と比較し順調に推移しています。

市税の課税客体の的確な把握及び企業誘致等による新たな税財源の確保については，令和7年度の1,500万円の目標に対して940万円の実績で未達となりました。

ふるさと笠岡思民基金寄附金については上記取組の結果，基金積立金の実績は目標の99％を超えており，順調に推移しています。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

自己評価理由：

健全化プランに掲げた各種取組が着実に効果を発揮しており，将来にわたって持続可能な財政基盤の確立に向けて前進しています。

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

市税の未申告者については，納税額が少ない傾向にあり費用対効果が低いと感じています。収納対策については，前年度までの徴収が進んでいたこともあり，所在不明や電話不通など，滞納者とのコンタクトが困難であったり，財産調査をしても換価可能な財産が見つからないなど，困難な案件が増加しており，所在確認や状況把握に多大な時間を要しています。また，滞納繰越総額が年々減少してきているため，滞納整理も進みにくくなっている状況にあります。

対応：

令和8年度は健全化プランの重点取組期間の中間年度となります。

市税につきましては，引き続き償却資産など新たな課税客体の把握，滞納者への積極的な働きかけ，差押物品の売却等による回収を実施するとともに，新たな立地企業に対する令和8年度からの課税により目標達成に努めてまいります。

また，その他につきましても，引き続き着実なプランの実施に努めてまいります。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
ふるさと納税： 無洗米が総合1位・高評価。以前の笠岡産米の扱いを確認し，地元事業所が潤う仕組みを期待。	無洗米については多くの方に寄附をいただくとともに，本市の主力の返礼品となっております。米を取り巻く情勢の変化等により大変困難な状況となっておりますが，引き続き農家からの直接買取や市内米卸売業者への製品化委託等により，支援を行ってまいります。
財政調整基金の減少： 残高が前回の約6割となり10億円を切る水準に。目標20億円には程遠く危機感あり。物価・人件費高騰の中での結果と理解しつつ，現状把握と道筋を示した点は功績と評価。	令和7年度末12.7億円は，令和6年度末6.8億円から大幅に増加しており，基金枯渇の危機的状況から脱却しましたが，物価や労務単価の急速な上昇等による歳出の増大により，予断を許さない状況が続いております。目標20億円に向けて，今後も健全化プランに基づき着実に積み増しを進めてまいります。
財政指標の悪化： 「実質公債費比率」「将来負担比率」が上昇，「普通会計建設地方債残高」「市全体の建設地方債残高」が毎年増加しており気がかり。	実質公債費比率や将来負担比率の悪化，建設地方債残高の増加は重要な課題です。これらは，公共施設の老朽化対応や防災・減災事業の推進に伴うものですが，プランどおり事業に優先順位を付けるとともに，市債発行の抑制と計画的な償還等に取り組んでまいります。
財政健全化プラン： 策定により道筋が示され，今後は着実な実行が求められる段階。	健全化プランの策定により，今後の財政運営の方向性が明確になりました。ご指摘の通り，今は実行段階です。各部局が一丸となり，計画に掲げた施策を着実に推進し，令和11年度末の目標達成に向けて取り組んでまいります。
市民への配慮： 事業見直しで活動に皺寄せ・不満を抱える団体もあり，声を聞いた上での見直しを要望。誰もが安心して暮らせる市政を期待。	事業見直しに伴う市民や団体の皆様の不安や不満について，真摯に受け止めています。引き続き，市民全員が安心して暮らすことができる市政運営に努めてまいります。
情報発信のあり方： 不安を煽る発信や前任者批判と受け取られかねない伝え方は，笠岡市の印象悪化や子どもの郷土愛を損なう懸念。理解を強制するのではなく，行事等維持できる事項は事前に市民相談・アンケートを行うなど，決定前にできる工夫を要望。	情報発信においては，不安を煽るのではなく，前向きで分かりやすい説明に心がけ，市民の郷土愛と信頼の醸成に努めてまいります。また，直接各地域において市長自ら市民と話をする座談会などを通じ，市民の声を今後の市政にしっかりと活かしていきたいと考えております。
土地売払収入： 前回より大幅減。R7年度は積極的売却が見込まれるとのことで期待。	令和7年度は積極的な土地売却により，約1億2千万円の収入がありました。引き続き，未利用市有地の活用方針を検討し，計画的かつ効率的な活用を推進してまいります。
財源確保： 他の収入源確保への努力を要望。	ふるさと納税の推進，使用料手数料の見直し，企業誘致による新たな税財源の確保，企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングの他，国・県に対しても積極的に財源の要望するなど，多角的な自主財源確保に取り組んでまいります。）
税収確保： 償却資産の未申告者・市税滞納者への督促等，コンスタントな対応で改善を要望。	償却資産の未申告者を把握し申告を促すことで，税収の確保に努めるとともに，催告や臨戸訪問等を積極的に行い，滞納者とコンタクトをとって納付交渉を進め，また，コンタクトのとれない者等に対しては，速やかに財産調査等を実施し，差押や捜索等の滞納処分を適切に進めていくことで，収納率の向上に努めてまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・財政調整基金残高は138％と増えており，良くなっていますが，新たな税財源の確保が難しいようです。ただし土地売払収入はなかなか難しいのではないかと考えます。 ・財政健全化プランに掲げた各種取り組みが着実に効果が出ています。順調と思います。 ・財政健全化の途中経過の成果を知ることができ安心しました。まだまだゴールには程遠いようですが明るい兆しが見えました。また職員の皆様が限られた事業費の中でも市民のために工夫されたことにより，これまでの生活と比べても不足を感じることなく生活できたことに感謝しています。また逆に，減らされた事業費でもできる形があるのだと発見されたこともあるのかと思います。 ふるさと納税については前年比134％と素晴らしい成果を挙げられ市民としても嬉しい限りです。 今後も事業の見直しをしていただきながら，職員の皆さんの負担になりすぎることなく持続可能な行政経営をお願いいたします。クラウドファンディングやネイミングライツ，公有財産の売却オークションなどにも期待しています。 ・順調。笠岡市では人口6万人だった時代の公共施設・インフラを維持管理している。2050年には25000人になる予測のもと，従来と同じ規模の行政サービスや，施設を維持することは難しい。人口規模に見合った，持続可能な行政運営を行って頂きたい。将来の税収や，雇用につながる企業誘致や土地活用など，投資効果の高い施策に重点的に取り組んで頂きたいと思います。 ・各指標から，持続可能な財政運営の道筋が整いつつあると評価できます。引き続き，健全な財政運営に努めてください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	(1)-②	DXを活用した市民サービスの向上
目指すまちの姿		デジタル技術を活用した，だれもが快適で便利な生活ができる環境の実現

主担当課

デジタル推進課

関係課

主な施策
①AIやRPA※などの先端技術の導入を推進する。 ②行かない・書かない窓口を拡充するとともに，来庁された方に対しては窓口での丁寧な対応を行う。 ③市民生活に必要な情報を分かりやすく適切な時期に発信する。 ④申請手続きのオンライン化 ⑤高齢者のスマホ教室を実施する。

ＫＧＩ　行かない・書かない窓口の業務数　（業務）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	124	128	132	136	140 #	☑順調□遅延 □要修正
実績	121	141					
達成率	－	113.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ◎ 笠岡市公式LINE登録者数　（人）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	12,924	14,693	16,462	18,231	20,000 #	☑順調□遅延 □要修正
実績	11,155	12,719					
達成率	－	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　収納のキャッシュレス導入割合　（%）

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	39.7	47.6	52.4	60.3	63.5 #	□順調☑遅延 □要修正
実績	28.6	33.3					
達成率	－	83.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　（千円）

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	7,242	9,056	11,536	11,536	11,536	43,664
	実績	6,224	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	7,242	9,056	8,815	8,815	8,815	35,501
	実績	6,224	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1 LINE申請システム事業【該当施策No②・③・④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,487	2,223	4,203	4,203	4,203
	実績	2,223				
うち一般財源	計画	2,487	2,223	4,203	4,203	4,203
	実績	2,223				
・LINE申請システム利用料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

LINE公式アカウントを行政情報入手の窓口とし，各種手続きのオンライン化やキャッシュレス化を進め，「行かない窓口」の実現を図る。

2 ホームページ作成・管理事業【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,250	2,241	2,241	2,241	2,241
	実績	2,186				
うち一般財源	計画	2,250	2,241			
	実績	2,186				
・HPシステム保守委託料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

職員が各種情報掲載ページを容易に作成・更新が可能となるよう管理システムの導入を行うとともに，安定的な情報発信に必要なサーバ環境の保守を行う。

3 事務効率化システム導入事業【該当施策No①】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	946	3,033	3,533	3,533	3,533
	実績	256				
うち一般財源	計画	946	3,033	3,053	3,053	3,053
	実績	256				
・導入支援委託料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・システム利用料				⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

AI-OCRやRPA等のデジタル技術の導入により，定型業務の自動化等事務の効率化を図るための環境構築を行う。

4 行政手続きオンライン化対応事業【該当施策No②・④】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,559	1,559	1,559	1,559	1,559
	実績	1,559				
うち一般財源	計画	1,559	1,559	1,559	1,559	1,559
	実績	1,559				
・システム保守委託料		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

マイナポータルの申請データを基幹系システムに取り込むために必要となる環境構築を行い，既存システムとの連携を行う。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

AIやRPA等の先端技術の導入推進については，希望する職員に対して行政として求められるセキュリティ基準を満たした生成AIシステムのアカウント付与を行い，実業務における生成AIの利活用を開始することができた。

行かない・書かない窓口については市民課窓口への書かない窓口端末を一台増設し，対象業務における市民の記載負担及び職員の確認負担の更なる軽減に繋げることができた。市民生活に必要な情報については，市ホームページでの配信に加え，市公式LINEを活用した行事等の配信を増やすことにより，広報等紙媒体等では従来案内しきれなかったタイムリーな情報を提供できる機会の増加につながった。行政手続きのオンライン化については，マイナンバーカードを活用したぴったりサービスにおける対象手続きの増加に加え，LINEを活用した申請対象に新たにボランティア登録を追加することにより，対象業務を拡充することが可能となった。(事業1.2.3.4)

高齢者のスマホ教室の実施については，令和７年度においては高梁川流域連携推進事業を活用し，必要な行政情報にアクセスしやすい環境づくりを実施することができた。

指標の実績：

行かない・書かない窓口の業務数及び笠岡市公式LINE登録者数については，概ね順調に数を伸ばすことができている。収納のキャッシュレス導入割合については，ハード・ソフト双方の面で環境整備等に費用や時間を要することから，導入数が伸び悩んだ。

自己評価理由：

生成AIの活用開始，書かない窓口端末の増設，LINEによる情報発信の充実，オンライン手続の拡充など，各施策で成果が見られました。指標でも窓口業務数やLINE登録者数が概ね順調に増加しており，着実に前進していることから，順調と評価した。

自己評価

達成状況 R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

キャッシュレス化の推進には，担当課における収納方法の見直しのみに留まらず，キャッシュレスに対応した納入通知書への様式変更や各種キャッシュレス環境の整備など，ハード面の整備も必要となるため，進捗に遅れが出ている。

対応：

公金については，国が推進する地方税統一QRコード等の活用によるキャッシュレス化の推進を行うとともに，市独自の使用料等についても，担当課との調整を密に行い，手続きのオンライン化と一体的に既存のキャッシュレスシステムの活用を含めた見直しを進めていく。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
公式ウェブサイトアクセス数： 大幅減少が気がかり。LINE利用への移行が要因と推測されるが，原因確認と次回の増加に期待。	前年との差は，関心の高い記事の動向等によるものが大きく，加えて検索エンジンの動向変化も重なった結果であると考える。今後は，SEOなどの傾向を踏まえて掲載内容等の検討を進めていく。
電子化の評価： 行政事務の簡素化・実用化に電子化は便利なツール。施策評価会議でも職員のパソコン情報共有が浸透し，情報・プロモーション推進の進展を実感。	市役所内の電子化は一定程度進みつつあるため，市民向けの手続きなどにおける電子化の推進に向けた取組を進めている。
マイナンバーカード： 多くの方に普及し病院等で必要に。継続的取組を要望。	マイナンバーカードによる利便性向上を図れる仕組みづくりについて，引き続き検討を進めていく。
電子会議： 利用減少傾向だが，移動時間・旅費の節約に有効で市主催会議での更なる活用を要望。	大型モニターの導入による庁内環境の整備を行い，庁内における電子会議の実施環境を向上させた。
自治会等LINE配信機能： 便利だが利用状況の確認を要望。広報かさおかでの紹介だけでは知られにくく，各団体への直接紹介を提案。	現在利用している自治会等に使用状況や使い勝手等の確認を行い，利用拡大の阻害要因を確認し，対応策を講じた上で，各団体への紹介に繋げていきたい。
LINE申請システム： 拡充が進んでおり，引き続き電子申請の充実を要望。	ボランティアに関する機能を実装するなど，段階的にLINEで申請可能な手続きの増加に努める。
総括： セキュリティ強化を継続しつつ，オンライン・対面会議の推進，LINEでの市民への情報提供が進み，職員・市民双方にフィットした活動を評価。今後も期待。	引き続き，自治体に求められるセキュリティ基準を確保したうえで，市民，職員双方にとってより利便性が高い環境の構築を進める。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・概ね順調です。しかし収納のキャッシュレス導入割合は33.3％と低いですが，今後導入を進めて欲しいです。 ・市民の携帯電話がガラケーからスマホに代わっていますので，ＬＩＮＥの活用で市民サービスが出来ることはとても良いと感じました。行政手続きの簡素化がこれからも進化させてください。 ・行かない・書かない窓口については，市民と市職員双方の負担減につながったこと，市職員がシステム開発をされ導入費用も格安になったということは素晴らしいことだと思います。ただ私自身まだ使い方やメリットなど理解できていないので詳しく知りたいです。外国人の方にも便利なものなのでしょうか。 住民票などコンビニでいつでも簡単に安く出せるようになりとても助かっています。マイナンバーカードが日常のものになってきました。ただ自動車免許証の更新の際，窓口でマイナ免許証を勧めらなかったのが意外でした。手数料も安く便利かと思いきや困る点を紹介され，まだ改善点などあるのかと思った次第です。 イベントへの申し込みや情報入手に市のLINEが便利です。 ・AIの急速な普及を踏まえ，AIを活用したDXの一層の推進に取り組んでください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	(1)-③	公共施設の適正な管理集約
目指すまちの姿	公共施設のストック適正化	

主担当課
公有財産管理課

主な施策
①施設の現状把握と優先順位づけを行う。 ②適切な維持管理と計画的な予防保全を推進する。 ③施設の統廃合・集約化を進める。 ④不要な施設の売却・譲渡等を進める

関係課
施設所管課

ＫＧＩ　ハコモノ施設総量の縮減(年度ごと)　**(m²/年)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)		達成状況　R7年現在
目標	－	△ 2,016	△ 2,016	△ 2,016	△ 2,016	△ 2,016	#	□順調☑遅延 □要修正
実績	79	4,365						
達成率	－	-216.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

ＫＰＩ　施設の統廃合・集約数(累計)　**(施設)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)		達成状況　R7年現在
目標	－	1	1	2	2	3	#	☑順調□遅延 □要修正
実績	－	1						
達成率	－	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

ＫＰＩ　施設の売却・譲渡数(累計)　**(施設)**

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)		達成状況　R7年現在
目標	－	0.0	1.0	1.0	2.0	3.0	#	☑順調□遅延 □要修正
実績	－	0.0						
達成率	－	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	4,542	2,800	9,150	79,800	2,800	94,550
	実績	7,491	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	4,542	2,800	9,150	10,500	2,800	25,250
	実績	7,491	0	0	0	0	0

主な事業・取組

１不要な施設の売却・譲渡【該当施策No④】　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	1,000	2,800	2,800	2,800	2,800
	実績	2,046				
うち一般財源	計画	1,000	2,800	2,800	2,800	2,800
	実績	2,046				
・鑑定評価		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

左欄の事業内容

処分可能財産の掘り起こしを行うとともに，公有財産利活用検討委員会を中心に処分に向けた検討を進め，民間等への売却処分につなげる。

2市有施設の除却【該当施策No②】　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	3,542	0	6,350	77,000	0
	実績	5,445				
うち一般財源	計画	3,542	0	6,350	7,700	0
	実績	5,445				
・解体設計				⇒		
・解体工事		⇒		⇒	⇒	

左欄の事業内容

不要となった市有施設を解体・撤去し，施設総量の縮減につなげる。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果	自己評価
全庁的な公共施設の見直しを行い，炉端の家，認知症介護研修センター，ふれあいハウスなど30施設について，譲渡や廃止などの方針を決定した。	
指標の実績： ハコモノ施設総量の縮減については，県から県営住宅の移管を受けたため，目標を大きく下回った。 施設の統廃合・集約化については，令和７年度で炉端の家・認知症介護研修センターを廃止した。 施設の売却・譲渡については，令和７年度での実績はなかったが，令和８年度において，炉端の家・認知症介護研修センターの譲渡を行う。	達成状況 R7年度
自己評価理由： KGIに設定している指標が大きく目標を下回ったが，KPIに設定している指標は順調と判断したため。	△遅延

課題と次年度への対応（リカバリー）※「**遅延**」「**要修正**」**は必須**
課題： ハコモノ施設の総量縮減を目標としているが，ここ２年は総量が増加している状況にある。 また，学校統廃合などにより，廃園・廃校となった施設があり，今後も統廃合が見込まれている。
対応： 施設の統廃合等によって，今後使用する見込のない施設について，他市の取り組みや民間事業者からの提案などを積極的に検討し，地域の意見も伺いながら，早期の処分につなげられるように取り組む。 また，継続的に公共施設の見直しを行う。

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
ハコモノ施設： R6に79㎡増えた理由について説明を求める。地域が運営しやすく共存できる手立ての検討を要望。長い目で地域力をつけるなど，目先でなく共に歩む姿勢を期待。	R6において，ハコモノ施設が79㎡増加した理由については，消防機庫の建替（統合）によるものです。ハコモノ施設の総量縮減に向けて，公共施設の見直しにより施設譲渡などの方針が決定した施設については，所在する地域と協議等を行いながら，進めてまいります。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度	達成状況　R11年度
順調	順調	順調	順調	順調
遅延　△	遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正	要修正

当年度の委員からのコメント
・担当課も遅延となっていますが，ハコモノ施設総量の縮減はなかなか難しいと考えます。全国的にもここは大変であり，さらに国の方向性の問題もあるのではないでしょうか。 ・ハコモノ施設総量の縮減は県から県営住宅の移管があったため，目標を大きく下回っていますので，遅延とする。 ・30施設もの譲渡や廃止の方針を出され，8年度以降で譲渡を行われるとのこと来年度の達成率が楽しみです。 また学校規模適正化により使用されなくなる施設については地域，企業，団体などからの要望がある場合などどのように対応されるのでしょうか。 ・新庁舎の建設については，市民からの関心が高まっています。引き続き，計画的な整備を推進してください。

第８次笠岡市総合計画・実施計画シート（兼施策評価シート）

施策名	⑴-④	行政改革と人材育成の推進
目指すまちの姿		市民ニーズに対応した持続可能で効果的な行政サービスの提供

主担当課
総務課

関係課
人事課

主な施策
①業務改善，アウトソーシング及び指定管理者制度の効果的な運用を推進する。 ②行政改革大綱に基づく実施計画を推進する。 ③意欲を引き出す人事管理・職場環境づくり・職員研修の充実を図る。

ＫＧＩ　行政改革大綱に基づく実施計画進捗結果がＡ・Ｂ(予定どおり進行している)の割合　(%)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	76	77	78	79	80 #	□順調□遅延 □要修正
実績	75						
達成率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

ＫＰＩ　行財政改革年間効果額　(億円)

	現状(R6)	(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	達成状況　R7年現在
目標	－	9.2	9.4	9.6	9.8	10 #	□順調□遅延 □要修正
実績	9						
達成率	－	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

主な事業・取組の事業費合計　(千円)

		(R7)	R8	R9	R10	目標(R11)	R８～11計
事業費	計画	2,935	2,355	2,355	2,355	2,652	9,717
	実績	2,018	0	0	0	0	0
うち一般財源	計画	1,928	1,399	1,399	1,399	1,696	5,893
	実績	1,225	0	0	0	0	0

主な事業・取組

1　行政改革大綱【該当施策No①②】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	297	0	0	0	297
	実績	284				
うち一般財源	計画	297	0	0	0	297
	実績	284				
行政改革大綱		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

行政改革大綱の着実な実施

2　職員研修事業【該当施策No③】

（千円）

		（R7）	R8	R9	R10	R11
事業費	計画	2,638	2,355	2,355	2,355	2,355
	実績	1,734				
うち一般財源	計画	1,631	1,399	1,399	1,399	1,399
	実績	941				
・職員研修実施		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨
・自治大学校派遣		⇨	⇨	⇨	⇨	⇨

左欄の事業内容

各種研修（自治大学校を含む。）の受講を促進し，あわせて助成金を活用して研修事業を委託して実施する。

【年度評価・進行管理】

本年度の実績と成果

職員へ研修受講を促し，能力開発や資質の向上につなげた。

レジリエンス研修を新規に導入し，日々様々なストレスやプレッシャーを感じる職員が，ストレスと上手に付き合い，困難を乗り越え成長することができるよう，その方法の習得を図った。

あわせて，思考力（考え方やモラルなど）や精神力を養うことに主眼をおいた研修を実施し，職員のメンタルの安定を図った。

行政改革大綱の実施結果及び効果額については，今後調査する予定。

指標の実績：

＜委託研修の内訳＞

・OJT研修	12人（主にメンターを対象）
・レジリエンス研修	31人
・人事評価（評価者）研修	23人（主に新任評価者を対象）
・公務員倫理研修	18人
・ハラスメント防止研修	38人（管理職対象）

自己評価理由：本市主催研修においては，安定的な受講者数を確保している。また，階級別研修についても，岡山県市町村振興協会研修センターが計画的に実施するものをプッシュ型で案内しており，必修研修と位置付け，必然的にスキルアップができている。

自己評価

達成状況
R7年度
○順調

課題と次年度への対応（リカバリー）※**「遅延」「要修正」は必須**

課題：

対応：

【外部委員による評価】

前年度まで委員からのコメント要旨	コメントへの対応状況
事務事業見直しの成果： 見直しによる効果額が目標の544.3%で大きな成果。R7年度の更なる効果を期待。	引き続き見直しを進め，持続的かつ安定的な行政サービスを提供できる仕組みづくりを目指します。
市民意識調査の低下： 「市民の意見や提案が市政に反映されている」と感じる市民の割合が低下し気がかり。	市民の意見や提案が市政に適切に反映されるよう，引き続きパブリックコメントやアンケート調査等を通じた意見や提案の吸い上げに務めます。
行財政改革年間効果額： 調査中で結果が分からないのが残念。	行政改革年間効果額については，調査が終わり次第，ホームページ等で公表しています。なるべく早期に公表できるよう調査時期について検討します。
人材育成： 「笠岡市人材育成基本方針」の「挑戦する職員」「挑戦を応援する職場」が実現すれば市が大きく変わると評価。地域担当職員は共に地域を考える姿勢が市民の心の支えになっており継続を要望。職員研修によるレベルUP，適材適所と異動による幅広い知識習得，異動時の確実な引継ぎを要望。	職場におけるスキルアップとして，メンター・アドバイザーを配置し，新規採用職員のフォローに努めている。また，研修においては，職員に対して，庁内庶務研修をはじめ，岡山県市町村職員振興協会による階層別研修，スキルアップ研修に積極的な受講を促している。人事異動では，管理職にあっては経験の有無を，若手職員にあってはおおむね３年を目安に異動を発令している。

達成状況　R7年度	達成状況　R8年度	達成状況　R9年度	達成状況　R10年度
順調　○	順調	順調	順調
遅延	遅延	遅延	遅延
要修正	要修正	要修正	要修正

達成状況　R11年度
順調
遅延
要修正

当年度の委員からのコメント
・概ね順調です。 ・職員のスキルアップの為，様々な研修を計画実施してください。 ・市役所の業務はストレスを抱えられることも多いのだと思います。ストレスなどにより休職される方など多いのでしょうか。必要な研修を加えられたのだと理解しました。 窓口業務でお世話になる職員の対応が年々良くなっていると感じています。引き続き，様々な分野でのスキルアップをお願いします。 ・行政改革と人材育成は，持続可能な行政運営の基盤となる重要な施策であり，継続的な推進が求められます。社会情勢の変化にも対応しながら，引き続き積極的に取り組んでください。